

関西大学北陽高等学校・北陽中学校 2025年度学校評価報告書



2026 年3月

目 次

1 本校の概要	1
(1) 沿革	
(2) 建学の精神、教育目標	
2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
重点目標①	2
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標②	3
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標③	5
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
重点目標④	6
・取組計画及び評価指標	
・自己評価	
3 アンケートの実施状況について	8
4 アンケート結果の分析について	8
・中高教員対象（組織・個人）学校評価	
・高校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
・中学校（保護者・生徒対象）学校評価	
5 学校関係者評価委員会からの評価結果	13
(1) 自己評価の結果を受けて	
(2) アンケート結果について	
関西大学副学長 経済学部 教授 北原 聡	
6 校長の意見書	15
7 アンケート結果	17

1 本校の概要

(1) 沿革

- ① 1922 年 6 月 5 日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の^{じっげ}実化（学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。
- ② それから 3 年後の 1925 年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身で北陽を設立するにあたって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。
- ③ 1944 年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。
- ④ 2008 年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010 年には北陽中学校を開設。2025 年に関西大学北陽高等学校は創立 100 周年を迎えた。2026 年 4 月には関西大学北陽高等学校第 19 期生、関西大学北陽中学校第 17 期生の入学式が行われる。

(2) 建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「徳育」「体育」を次のような観点で捉えている。

① 知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。

② 徳育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者とともに生きるために必要な高い徳性を養う。

③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動がで

きるよう、体力・気力・判断力を育てる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
ア スローラーナーに対し、高等教育に必要な学力を身に付けさせるために学力の向上を図る。 【評価指標】 ・「学力向上」項目で保護者対象アンケート肯定率 75%、生徒対象アンケート肯定率 80%以上 ・「スローラーナーへの対応」項目で保護者対象アンケート肯定率 70%、生徒対象アンケート肯定率 75%以上	【取組状況(Do)】 スローラーナーに対して、中学校では、火曜日～金曜日の7時間目を使って、個別指導や課題学習を行い、また、期末テスト後、成績不振者を対象に補習を行うことで学習内容の定着を図った。さらに、中学3年で英語、数学において、習熟度別授業を実施し、スローラーナーだけでなく、成績上位者の学力の伸長に努めた。高校では、各教科が、小テストや単元テストを中心に学力定着を図り、その後、個別指導を行った。 【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) <学力向上> ・(高校)保護者対象：82% (◎) 生徒対象：86% (◎) ・(中学校)保護者対象：78% (○) 生徒対象：86% (◎) <スローラーナー> ・(高校)保護者対象：72% (○) 生徒対象：77% (○) ・(中学校)保護者対象：68% (×) 生徒対象：82% (◎) 【今後の改善方策(Action)】 今まで取り組んできた学力向上の取り組みにより、2024年度から、中学校のスローラーナーは減少傾向となっている。2025年度に高校に内部進学した生徒は、模試の結果から、高校入学生と同等の学力レベルとなっている。中学校においては、今までの取り組みを継続していきたい。しかし、高校全体をみると、一定数のスローラーナーがおり、アンケートの目標率を達成するためにも、小テストや単元テスト、個別指導を充実していく必要がある。
イ 基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出す。 【評価指標】 ・関西大学への内部推薦の合格率 90%以上 ・国公立大学に10名の合格	自己評価 【取組状況(Do)】 2022年度から4年間、関西大学への内部推薦の合格率が90%以上と目標を達成した。高校3年生で実施される内部進学に必要な独自テスト(文系・国語、理系・数学)に向けて、理解、定着を高める授業を展開した。特進アドバンスコースでは高い進路目標を実現するために、週39時間、長期休暇中の特別授業、学習合宿を実施するだけでなく、高校1年生で進路指導部による国公立大学説明会、高校2年生で、河合塾の進学セミナーを実施し、学力向上につながる取り組みを行った。

	【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ・ 関西大学への内部進学率 98% (◎) 希望者296名中 290名合格 ・ 大阪大学 2名 京都工芸繊維大学 2名 岡山大学 1名 筑波大学 2名 神戸市外国語大学 1名 横浜国立大学 1名 大阪教育大学 1名 三重県立看護大学 1名 奈良県立大学 1名 富山県立大学 1名 13名合格 (○)
	【今後の改善方策(Action)】 関西大学の内部進学に必要な独自テストの結果、英検のスコアから、関西大学進学に必要な学力は着実についてきている。今後も、今までの取り組みを継続していきたい。また、同時に、大学説明会、学部説明会、学部連携セミナー、「関大の知にふれる」などのプログラムを実施し、大学進学へのモチベーションを高め、学部選択で、「ミスマッチ」が起これないようにしていく。特進アドバンスコースでも、国公立大学受験に向けての動機付けに活かせるようなキャリア教育を検討したい。

(2) 重点目標②：多様な学びを身に付けた生徒の育成

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
ア 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、質の高い学びを実現する。 【評価指標】 ・ 授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生、中学生アンケート肯定率 90%	【取組状況(Do)】 多様な学びを身に付けた生徒の育成を目的に、ICT を活用して、一人ひとりの個性や能力を発揮できる「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を、各教科で取り入れている。iPad を有効利用し、授業支援アプリ「ロイロノート」を用い、生徒参加型、対話型の授業をテーマに、5教科と実技教科で公開授業を実施し、関西大学の先生方からもアドバイスを受け、授業改善を行った。
	【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) <授業評価「生徒参加・対話型の授業」> ・ 高校生アンケート：96% (◎) ・ 中学生アンケート：94% (○)
	【今後の改善方策(Action)】 授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生、中学生アンケートとも肯定率が2024年度同様、前年度より高くなった。今後も、「何を学ぶか」ではなく、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を重視した授業を展開し、2016年度から実施している公開授業を継続し、質の高い学びを各教科で実現できるように取り組んでいく。

イ 探究学習を推進し、生徒の思考力や判断力、表現力を育成する。 【評価指標】 ・「総合的な探求の時間」生徒アンケート 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の項目で年度末3月の値が、7月の値を上回っている	自己評価 【取組状況(Do)】 中学3年の「総合的な学習の時間」において、探究学習を行い、高校1年の企業・団体との協働プロジェクトでは、27の企業・団体との取り組みをととして社会の課題解決に取り組んだ。 そして、高校1年の＜企×学協働プロジェクト「刀」＞の取り組みを、大阪・関西万博で、5回のイベントで発表した。活動実績では、①(株)らくたび：オリジナルツアーを企画し、生徒が観光ガイドとして参加 ②合同食品(株)：無添加・味噌ライスコロッケを文化祭で販売 ③ソリッドソニック(株)・(株)マテックス：聴覚障がい者のコミュニケーションカード(SOSカード)を製品化し、東淀川区役所や東京デフリンピックで配布。その取り組みが、NHK「ホット関西」「NEWS関西」「列島ニュース」で放送された。 【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) 「前に踏み出す力」 5.45→5.51 プラス 0.06 (○) 「考え抜く力」 5.53→5.56 プラス 0.03 (○) 「チームで働く力」 5.40→5.43 プラス 0.03 (○) 【今後の改善方策(Action)】 中学校では、SDGsの17の目標について、グループで調べ、校内でアンケートを実施するなど、課題解決のためのリサーチを行い、仮説を検証し、課題解決につなげる取り組みにしていきたい。 2025年度は、高校1年で社会課題に挑戦する協働プロジェクトで生まれた社会実装を目指せる提案や成果物を、様々な機会で見ることができた。 今後は、社会実装支援募金を優れた成果物に向けた資金として有効に活用し、生徒たちが社会のリアルな課題に触れ、社会活動への興味、関心を高めていきたい。
---	---

(3) 重点目標③:「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
ア 英語教育による基礎・基本を徹底し、コミュニケーションツールとしての英語力向上を図る。 【評価指標】 ・ 中学3年の合格目標を英検準2級以上40%、3級以上85% ・ 関西大学内部進学者の英検 CSE スコア平均 2000 ・ 高3 グローバルクラス IELTS 平均 5.0 以上	【取組状況 (Do)】 中学生の英語力向上に伴い、今年度も、評価指標の目標値を英検準2級以上 40%、3級以上 85%とした。また、文理コースの目標値を廃止し、関西大学内部進学の評価項目となる英検 CSE スコアを評価指標とし、目標値を平均 2000 とした。 近年、生徒の英語力向上が見られることから、英語科では、今までの指導を継続し、検定教科書の習得と4技能の向上を図り、英検対策として、ネイティブ講師との TT 授業やオンライン英会話を充実させた。 【達成状況 (Check)】 (◎or○or△or×) ・ 中学3年 (1次試験合格) - 準2級以上 32% (×) 3級以上 78% (×) ・ 関西大学内部進学者の英検 CSE スコア 平均 2069 (○) ・ 高3 グローバルクラス IELTS 平均 5.2 (○) 【今後の改善方策 (Action)】 中学校においては、2025年度、準2級、3級とも、取得率が目標に達しなかった。今後は、検定教科書の習得を第一に、基礎基本を徹底するとともに、英検対策を取り入れ、英語力向上を図っていきたい。 関西大学内部進学者の英検 CSE スコア平均 2000 という目標を示したが、クリアし、その中で B1 以上が 90%となっている。 また、進学アスリートコースでも、準2級以上の合格者が増加しており、引き続き英語4技能の向上を目指していく。
イ 国際的な視野と問題意識を持ち、国際化が進む社会で活躍できるグローバル・リーダーを育成する。 【評価指標】 ・ 教員対象<組織面>アンケートの「国際化」項目で肯定率80%以上	自己評価 【取組状況 (Do)】 ◆希望者対象 中学1年：イングリッシュキャンプ 中学2年・3年：オーストラリア・ケアンズ研修 高校：Global Studies Program、オンライン留学 オーストラリア・アデレード研修 ◆グローバルクラス対象 高校2年：ベトナム・シンガポール研修 長期留学生の受け入れ、関西大学の留学生との交流

・生徒対象アンケートの「国際化」項目で肯定率80%以上	高校3年：オーストラリア・アデレード研修 中国語必修、IELTS 対策と受験 大学進学後の交換派遣留学説明会 大阪・関西万博でビジネスプランを英語で発表 2025. 6. 8. A グループ「Vroom Vroom Delivery Man」 2025. 9. 6. B グループ「Hokuyo Express Logistics」 【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) ・教員対象＜組織面＞アンケート 「国際化」項目 肯定率 85% (○) ・生徒対象アンケート 「国際化」項目 高校 肯定率 90% (◎) 中学 肯定率 83% (○) 【今後の改善方策(Action)】 国際理解教育は浸透しつつあることから、教員対象アンケート、生徒対象アンケートの「国際化」項目とも高い肯定率を示し、目標を達成した。今後も、中高全体で国際理解教育を進めながら、グローバルクラスでさらに高いレベルで教育を行っていきたい。今年度は、大阪・関西万博でグローバルクラスの生徒が英語で自分の考えや意見を発表し、それを伝える機会があり、生徒の成長につながった。今後も、発表の機会があれば積極的に参加したい。
------------------------------------	--

(4) 重点目標④：大学とともに取り組む「次世代の人材育成」

取組計画及び評価指標 (Plan)	自己評価
ア 大学との連携で、学問の一端にいち早く触れ、知的好奇心を高め、大学での「幅広い学び」を体験する 【評価指標】 ・「中高大連携事業の実践」項目で保護者対象アンケート肯定率85%以上、生徒対象アンケート肯定率90%以上	【取組状況(Do)】 ① 中大連携プログラム 中1 → 社会安全学部（防災教育）：社会科 中2 → 理工系3学部（研究室体験）：理科 中3 → 法科大学院（模擬裁判）：社会科 ② 高大連携プログラム ・高2進学アスリート → 人間健康学部 アドベンチャー施設を利用した体験学習 ・学部との連携セミナー（高校1年・2年） ・「関大の知にふれる」（高校2年） ・「キャンパスライフ直前講座」（高校3年） ③ 京都大学による出前授業 高校1年生では、大学の学びにふれるために、京都大学大学院生が行っている研究内容を聴講し、学術研究に対する関心と理解を深め、主体的な学びと志を涵養した。

	【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) <中高大連携事業の実践> ・(高校)保護者対象アンケート:92%(◎) 生徒対象アンケート:91%(○) ・(中学校)保護者対象アンケート:88%(○) 生徒対象アンケート:90%(○) 【今後の改善方策(Action)】 「中高大連携事業の実践」の項目におけるアンケートの肯定率は、昨年同様、高い数値となっている。 今まで各学部との連携プログラムが中心であったが、グローバルクラスと国際部との連携、ポスター発表や論文作成に必要なスキルの習得のため、教育推進部との連携強化も図っていききたい。 さらに、今年度を実施した京都大学の出前授業など、関西大学以外の大学との連携も模索していききたい。
イ 関西大学への進学をはじめ、一人ひとりの進路実現のためのキャリア教育を実践する。 【評価指標】 ・「進路指導」項目で高校保護者対象アンケート肯定率80%以上 高校生徒対象アンケート肯定率85%以上	自己評価 【取組状況(Do)】 高校1年生の三者懇談(2回)、高校2年生の三者懇談(2回)において、プレゼンテーション面談を行った。生徒自身が自らの学習状況や進路希望を客観的に認識し、他者に説明することによって、主体的な学びと進路選択につなげた。 高校3年生には、志望理由の明確化を第一に、大学進学後、進学した学部とのミスマッチが起らないように、進路指導を行った。また、進学アスリートコースの高校3年生には、コースの特性と生徒の進路希望を考慮し、大学進学相談会を実施した。 【達成状況(Check)】 (◎or○or△or×) <進路指導> ・(高校)保護者対象アンケート:81%(○) 生徒対象アンケート:90%(○) 【今後の改善方策(Action)】 「進路指導」の項目で、今年度は、高校保護者の評価指標の目標を80%に引き上げたが、目標を達成した。 高校においては、連携プログラムや連携授業、連携セミナーなど、今までの取り組みを継続して実施し、また、今後も関西大学や国公立大学に進学した卒業生の講話を行っていききたい。 今年度、中学3年生を対象にキャリア教育を実施したが、高校生だけでなく、今後、中学生に対しても、自らの将来について深く考え、今をどう過ごすべきか、これからの進路や職業について向き合える時間を作っていきたい。

3 アンケートの実施状況

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の①～⑤の観点で併設校が共通に学校評価を行うこととした。

- ① 「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。共通項目を 14 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ② 「保護者対象」及び「生徒対象」とともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ 13 項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ③ 上記の 3 種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクさせた。
- ④ 「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、ステークホルダーへ建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

⑤ 実施日程

I 教員対象学校評価

「個人」及び「組織」 2025 年 12 月 15 日（月）～12 月 22 日（月）

II 保護者対象学校評価

全学年 2026 年 1 月 8 日（木）

III 生徒対象

全学年 2026 年 1 月 8 日（木）

⑥ 本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それを基に、評価委員がそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見をまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

4 アンケート結果の分析

アンケートの評価については、「4：そう思う 3：どちらかといえばそう思う 2：どちらかといえばそう思わない 1：そう思わない」の中から選択するように設定をした。

◆中高教員対象 学校評価＜組織面、個人面＞

・組織面の自己評価項目の平均

2023 年度：2.99 2024 年度：2.96 2025 年度：2.99

・個人面の自己評価項目の平均

2023 年度：3.14 2024 年度：3.14 2025 年度：3.18

組織面の自己評価項目の平均が 0.03 ポイント、個人面においても、0.04 ポイント上昇した。組織面で特徴的なのは、「関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している」というアンケート項目の評価点が 3.13 と、2025 年度は、過去 4 年間で最も高くなった。これは、2025 年に創立 100 周年を迎え、記念式典を開催したことも影響していると考えられる。また、個人面で特徴的なのは、「教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行っている」という学習指導要領と年間指導計画の項目で肯定率が 95%、評価点も 3.52 と高くなっている。これは、教科会議において、教育目標に沿った授業内容を検討し、年度末の総括会議でブラッシュアップするという PDCA サイクルが機能している結果だと考えられる。

(1) 学校運営について

①ミドルマネジメントによる組織運営 <組織面>

「主任（学年・分掌・教科）がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。」

2023 年度：2.92 2024 年度：2.77 2025 年度：2.98

②会議の有効性 <組織面>

「職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。」

2023 年度：2.93 2024 年度：2.81 2025 年度：3.00

ミドルマネジメントによる組織運営、会議の有効性については、2024 年度に評価点が下がったが、2025 年度は、過去 4 年間で最も高くなった。主任がリーダーシップを発揮し、会議において、新たな取り組みや改善点などに関して、積極的に、かつ建設的な議論をし、教員間の連携を深めた結果である。また、主任は、現場の意見も拾いつつ、管理職の考えや意向をうまく伝えており、主任が機能していると思われる。これらの項目は、組織が活性化しているかを評価しており、学校運営において重要である。

(2) 教育内容について

・学力向上における組織的な取組スローラーナーへの対応

学力向上への組織的な取組では、評価ポイントは組織面で 2.86 と上昇し、個人面でも、3.23 と高く、組織としては協調して取り組んでいることがうかがわれる。スローラーナーへの対応については、2024 年度は、評価ポイントは組織面で 2.43、個人面で 2.47 と両面とも低かったが、2025 年度は、組織面で 2.67、個人面で 2.66 と上昇した。しかし、十分に組み立てられていると評価される 3.00 には届いていない。その中で、個人面の D 評価の割合が減少していることは、スローラーナーへの対応について教員自身が工夫していることが受けられる。

(3) 生徒指導について

・指導方針の一貫性、家庭との連携状況

指導方針の一貫性では、評価ポイントは組織面で 3.00、家庭との連絡、組織的な指導体制で

は、2.98 と高い。また、指導方針の一貫性において、個人面で 3.19、家庭との連絡、組織的な指導体制においては、3.25 とさらに高くなっている。生徒指導については、組織的にも確立され、教員によって一貫した指導が行われており家庭への連絡も定着し、家庭との連携体制は整いつつある。

(4) 生徒支援について

・進路指導体制、部活動支援状況、学校行事体制

上記 3 項目については、2025 年度も、組織面、個人面の自己評価とも、3.0 ポイントを上回り、高い評価が続いている。その中で、部活動支援状況の組織面 3.33、個人面 3.31、学校行事については、組織面 3.18、個人面 3.31 という評価ポイントが「この学校に入学してよかったか」「本校に入学させて良かったか」という生徒、保護者アンケートの評価に反映し、高い満足度につながっていると考えられる。

◆高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

(1) 「学校評価重要 8 項目」の推移グラフより

(2023 年度→2024 年度→2025 年度)

①学園生活の満足度（学園生活）

保護者：2021 年度以降 A 評価が 50%以上、2022 年度以降は A,B 評価で 90%以上を占め、依然上昇傾向である。
(3.45→3.48→3.51)

生徒：2022 年度の下降後、上昇傾向に戻った。2021 年度以降は A,B 評価で 80%以上を占めている。
(3.19→3.27→3.35)

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：多少の増減はあるが、3.10 前後で安定して推移している。
(3.10→3.11→3.14)

生徒：隔年で微増傾向にある。A,B 評価で 70%以上を維持している。
(2.97→2.91→3.02)

③知育（学力向上における組織的な取組）

保護者：A,B 評価で 80%前後を維持しながら、2022 年度以降は 3.00 以上で推移している。
(3.06→3.05→3.13)

生徒：2022 年度に落ち込んだが、以降は上昇傾向で、A 評価とともに高い年と同水準に戻った。
(3.07→3.15→3.23)

④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2021 年度から微減が続いていたが、持ち直した。A 評価の割合が低めで推移している。
(2.83→2.78→2.89)

生徒：2022 年度の下降から少しずつ上昇し、ピーク時の水準まで戻った。
(2.96→2.98→3.07)

⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：A,B 評価で 90%前後を維持しながら、高い水準で推移している。
(3.28→3.26→3.28)

生徒：下降気味から上昇し、A, B 評価で 90%を占めた。(3. 24→3. 34→3. 41)

⑥進路指導（進路指導体制）

保護者：2021 年度以降は、3. 00 以上で推移している。(3. 07→3. 08→3. 13)

生徒：3. 20 以上で推移していたが 3. 30 を上回り、A, B 評価が占める割合も大きい。
(3. 24→3. 31→3. 37)

⑦クラブ活動（部活動支援）

保護者：大きな変化はなく、全体は 3. 20 以上、A, B 評価では 85%前後で推移している。
(3. 26→3. 26→3. 27)

生徒：3. 30 以上で推移していたが、全体は 3. 50、A, B 評価では 90%を上回った。
(3. 36→3. 43→3. 50)

⑧学校行事（学校行事支援体制）

保護者：2021 年度以降、特に過去 3 年は全体および A, B 評価ともに大きく上昇した。
(3. 22→3. 27→3. 25)

生徒：継続して高い水準あり、A, B 評価では過去 3 カ年 90%を上回っている。
(3. 43→3. 49→3. 46)

(2) 分析

「学校評価重要 8 項目」における昨年度からの推移について、保護者・生徒による評価の両方で 7 項目上昇・1 項目下降となっている。保護者・生徒ともに「8 学校行事」の項目で微減しているが、2023 年度以降の高い水準は保ったままである。

保護者の評価で着目する項目は「4 補習授業の取組」についてである。2022-2024 まで微減傾向にあったが、今年度は増加となった。15 カ年の調査において 3. 00 を上回ったことがない唯一の調査項目であり、本校のウィークポイントと言える。その反面、本校で強制的な補習授業を多く設定することは、本校のストロングポイントである「生徒が主体的に扱える時間の減少」にもつながる恐れがある。そのため、組織的な補習授業としては、現状がベターと考えており、2. 80 前後に評価があるということが逆に本校らしさとも考えられる。なお、同項目では生徒評価も本年度は上昇している。取り立てて新しい取組が始まったわけではないため、原因は不明である。

生徒の評価で着目する項目は「2 教育方針の理解度」である。隔年で増減を繰り返しているが、他の評価項目に比べて例年数値が低くなっている項目である。しかしながら、コロナ禍以前は 2. 70 弱で推移していたため、直近 5 年は 0. 2-0. 3 ポイント増加している。今後も、本校の教育方針や目標についてより具体的に触れる機会を増やすことが重要である。

「8 学校行事」についての評価は、保護者・生徒ともに本調査で唯一の減少となった。減少幅も小さく高水準のままであるため、保護者・生徒ともに満足度は高いと思われる。他の評価項目に比べて、生徒の A 評価の割合が大きいことから、行事について主体的に取り組める生徒が育成できているのではないかと考えている。

「学校評価重要 8 項目」について、2025 年度は全ての項目で過去 15 カ年平均を上回ることとなった。直近 5 年間で見ると多くの項目で上昇傾向となっており、コース改編による様々な領域での教育計画の充実が、保護者・生徒から適切に評価をうけているのではないだろうか。

課題として、生徒の部活動や学校行事での A 評価の割合に比べると、「知育」面での A 評価の

割合が低くなっていることがあげられる。「楽しく充実した学校生活」だけでなく、基礎学力の定着といった面でも生徒がさらなる満足感を得られるよう組織的に努力を続ける必要がある。また、生徒に比べると保護者のポイントが全体的に低い点についても、今後の改善の余地がある。在校生保護者に対する教育活動の発信(見えやすさ・わかりやすさ)が、広報的にも有効である点を認識し、情報発信に努めたい。

◆中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

（１）「学校評価重要８項目」の推移グラフより

①学校生活の満足度

保護者：2021 年度から 2024 年度にかけてほぼ横ばいで推移してきたが、本年度は微増し 3.41 ポイントとなった。A,B 評価も 90%近い水準で推移している。

生 徒：本年度は 2024 年度から微減し、3.43 ポイントとなったが、A,B 評価は過去 5 年で最も高い 92%であった。

②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：2021～2023 年度にかけて減少していたが、2024 年度に上昇し、本年度は横ばいの 3.22 ポイントとなった。

生 徒：2023 年度から 2 年連続で減少し、今年度は 2.98 ポイントとなった。

④ 知育（学力向上における組織的な取組み）

保護者：2023 年度から横ばいが続き、本年度は 3.11 ポイントであった。

生 徒：ほぼ横ばいで推移してきたが、本年度は微減し 3.25 ポイントとなった。ただ、A,B 評価は 86%と高い水準となっている。

⑤ 知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2022 年度から横ばいが続き、本年度は 2.87 ポイントであった。

生 徒：2023 年度から連続で減少し、3.22 ポイントとなったが、A,B 評価は 80%を超えている。

⑥ 徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2021 年度から減少傾向にあったが、本年度は少し改善し 3.23 ポイントとなった。A,B 評価は 86%と高い水準である。

生 徒：本年度は 2024 年度から微減し、3.36 ポイントとなったが、A,B 評価は 88%と高い水準である。

⑦ 進路指導

保護者：2023 年度を底に 2 年連続で上昇し、今年度は 2.97 ポイントとなった。

生 徒：2023 年度から連続で減少し、3.21 ポイントとなったが、A,B 評価は 84%と高い水準である。

⑧ 部活動支援

保護者：2023 年度を底に 2 年連続で上昇し、今年度は 3.20 ポイントとなった。A,B 評価は 83%と高い水準である。

生徒：2023 年度から減少が続く、本年度は 3.37 ポイントとなったが、A,B 評価は 88%と高い水準である。

⑨ 学校行事指導体制

保護者：2022 年度を底に上昇し、本年度は 2024 年度から横ばいの 3.27 ポイントとなった。AB 評価は 87%と高い水準である。

生徒：本年度は 2024 年度から微減し、3.42 ポイントとなったが、A,B 評価は 89%と高い水準である。

(2) 分析

「学校評価重要 8 項目」の①学校生活の満足度については、高いポイントを維持しており、A,B 評価は保護者、生徒とも 90%近い水準となっている。保護者、生徒とも本校への入学についての満足度は非常に高い。

②私学の独自性(教育方針・教育目標)については、A,B 評価が保護者 87%、生徒 76%、③の知育(学力向上における組織的な取組)については、保護者 78%、生徒 86%、④の知育(スローラーナーへの対応)については、保護者 68%、生徒 82%と、保護者と生徒の間で大きな差が見られる。特に④では、生徒が 3.22 ポイントに対して、保護者は 2.87 ポイントで、生徒の満足度は高いのに対して、保護者の満足度は低い結果となっている。こうした傾向は、⑥の進路指導でも見られる。

⑦の部活動支援、⑧の学校行事指導体制については、A,B 評価は保護者で約 80~90%、生徒で約 90%の水準となっている。特に、生徒は⑦で 3.37 ポイント、⑧で 3.42 ポイントとなっており、クラブ活動や学校行事での支援について、非常に高い満足度を持っていることがわかる。

全体を通して、保護者は昨年度から微増または横ばいの評価であったのに対し、生徒はすべての項目で微減となった。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

(1) 自己評価の結果を受けて

学校関係者評価委員会では、教員の自己評価と重要 8 項目、続いて 2025 年度の重点目標について、保護者、生徒対象アンケートの分析を行い、意見交換を行った。

教員対象アンケートでは、生徒指導については、指導方針の一貫性が 3.00 であり、組織的な指導体制・家庭との連携が 2.88 から 2.98 で上がっており、教員の意識が高まっている。特に保護者対応については、生徒指導部中心に慎重に行っている。事案によっては委員会を立ち上げ、情報共有を行いながら検討していると報告があった。委員からは、生徒指導案件については、事案ごとに委員会を立ち上げているのは過去の経験に基づいてか、また、事故が起こった際の対応スピードが非常に速いと感じている、と質問と意見があった。委員会では、大阪府や文部科学省の指導が厳しくなっており、経験もあるが行政指導が大きな要因である。特に、マスコミ報道さ

れる可能性がある事案では、マスコミ報道から保護者が知ることがないように対応しているとコメントがあった。

保護者、生徒対象アンケートの重要８項目では、「学力向上における組織的な取組」「スローラーナーへの対応」について、委員から知育面においては、保護者が家庭でできない部分は学校に期待していることもあり、評価が下がっているのではないかと感じる、と指摘があった。委員会では、本校は基礎学力の定着を目標にしており、テストの難易度も、それに準じている。課題提出、日常の小テストをきちんとこなす生徒が増えれば、この項目は上昇すると考えられるとコメントがあった。

重点目標①「基礎的・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」について、委員から、併設校ゆえに学力が向上しないことを保護者は懸念していると思うが、内部生の学力も向上しており不安は解消されていると思う。また、関西大学への内部進学率が上がっていることは、中学入試を考えている保護者にとっても関心は高い。これらのことは、中学入試の競争率が上がっていることにも関係していると思う、と意見があった。委員会からは、特進アドバンスコースでは、上位者に内部生が多いことから内部生がリードしてくれる存在になってくれているとコメントがあった。

重点目標②「多様な学びを身に付けた生徒の育成」では、探究授業については企業も人材不足なので早くから生徒と関わりを持つことを期待している企業もあると思うので今後参加企業の選定も重要になってくると、指摘があった。

重点目標③取組計画の英語力の向上については、委員から、英検のスコアが非常に伸びている。内部進学に際し、以前は、どうしても英語の学力に不安があったが、そこも解消されているのではないかと意見があった。

最後に、委員から、全般的にしっかりと教育されていて、アンケート結果については若干の変動はあるが概ね高水準で推移していると判断している。ここで歩みを止めるのではなく、継続し、また、状況に応じて様々な対策を講じ、これからもよい生徒を大学に送っていただきたい、と感想があった。

(2) アンケート結果について

2025 年度の中高教員対象学校評価アンケート、高等学校保護者・生徒対象学校評価アンケート及び中学校保護者・生徒対象学校評価アンケートの結果について、重点目標に焦点を絞り、学校関係者評価委員会での議論も参考にしつつ、関西大学教育職員の立場から意見を述べる。

重点目標①「基礎的・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」については、評価指標である「学力向上」に関する保護者アンケートの結果が、肯定率の基準 75%に対して高等学校 82%、中学校 78%と基準を上回っており評価できる。生徒対象のアンケートでも肯定率の基準 80%に対して高等学校 86%、中学校 86%となっており、とくに高等学校の数値が上昇傾向にあることは評価できよう。評価指標である「スローラーナーへの対応」に関する保護者対象アンケートの結果は、肯定率の基準 70%に対して高等学校 72%、中学校 68%、生徒対象アンケートの結果は、肯定率の基準 75%に対して高等学校 77%、中学校 82%となっている。高等学校の数値が昨年度より上昇していることは評価できるが、保護者と生徒で数値に開きがあることに关しては、教育内容の保護者との共有をさらに深める必要があるだろう。関西大学への内部進学率

98%で90%以上という目標を大幅に上回り、国公立大学合格者13名も目標である10名を超えており、それぞれ成果を出している。

重点目標②「多様な学びを身に付けた生徒の育成」については、評価指標である「生徒参加・対話型の授業」に関するアンケート結果が、肯定率の基準90%に対して高等学校96%、中学校94%といずれも基準を上回っており評価できる。また、評価指標「総合的な探究の時間」については、大阪・関西万博への参加も含めて「刀」プロジェクトの活発な活動が成果をあげていることが特筆されよう。

重点目標③「『コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する』力を養う教育」における英語教育は、中学3年生の英検合格目標が準2級32%、3級以上78%で、目標(それぞれ40%、85%)をやや下回ったものの、高校では関西大学内部進学者の英検CSE平均スコア2069は、目標の2000および関西大学併設校平均の2026を大きく上回り、またグローバルクラス2期生の平均スコアは2188に達していることから、国際化への多角的な対応が進んでいるといえるだろう。

重点目標④「大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」については、評価指標「中高大連携授業の実践」に関する保護者・生徒対象アンケートの結果が、保護者の肯定率の基準85%に対して高等学校92%、中学校88%、生徒の肯定率の基準90%に対して高等学校91%、中学校90%といずれも基準を達成しており評価できる。また、評価指標「進路指導」に関する高等学校保護者・生徒へのアンケートでは、保護者の肯定率の基準80%に対して81%、生徒の肯定率の基準85%に対して90%となっている。それぞれの生徒に即した適切な進路実現のために今後も丁寧な指導をお願いしたい。

(関西大学副学長／経済学部 教授 北原 聡)

6 校長の意見書

関西大学北陽高等学校・北陽中学校
校長 田中 敦夫

重点目標 ①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」については、既に述べている。ここでは、前年度の外部評価委員からの指摘のあった点を中心に記載することとする。

2022年に高校の学習指導要領が改訂され、それに伴いコース改編を行い、2024年度にコース改編1期生が卒業した。2025年度は、3年間の取り組みの成果と課題を検証し、PDCAサイクルを機能させ、新たなスタートを切る1年となった。

重点目標①の「スローラーナーの対応」については、学力の二極化への対応が不十分であり、個別最適な学びの実現に向けた支援体制の強化が必要であったが、保護者アンケートでは評価ポイントが昨年より上昇しており、生徒アンケートにおいては、高校生で3.07、中学生で3.22と高いポイントとなった。教員アンケートにおいても、学力向上への取り組み、スローラーナーへの対応の項目で、組織面、個人面とも上昇しており、組織として協調して取り組み、教員自身も

工夫しており、徐々に成果が上がっている。特に、中学校のスローラーナーは、模試の結果からも減少傾向である。

重点目標②の「多様な学び」の一つである高校1年の企業、団体と社会課題に挑戦する協働プロジェクトの取り組みを、大阪・関西万博で、5回のイベントで発表し、活動実績を積み重ねている。また、成果物もでき、社会実装も実現している。その中で、生徒主導で、その活動をサポートするファシリテーション力の向上が教員に求められている。2025年度からは、学年末のグループでのプレゼンテーションの回数を増やし、教員のファシリテーション力の向上に努めた。

重点目標③の「コミュニケーション能力」において、英語教育の基礎・基本の徹底と実践的能力の育成、国際的に活躍できるグローバル・リーダー育成への取り組みについては、教員対象アンケート、生徒対象アンケートの「国際化」項目とも、評価指標を引き上げたが、両項目とも高い肯定率を示し、目標を達成した。2020年度から本格的にスタートした国際理解教育は、英語科と国際教育部との連携により、順調に進んでおり、今後も、時代に即応した魅力あるプログラムを推し進めていきたい。また、高校3年生のグローバルクラスでは、中国語検定（HSK）2級取得を目標に、必修で中国語を開講している。2025年度は、受験者17名中、15名が合格し、大学の第2外国語における1回生後期履修程度の中国語力を身に付けた。

重点目標④の「大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」において、大学連携と進路実現のためのキャリア教育実践を目指し、設定している評価指標の全てで達成した。2025年度は、今までの取り組みに加えて、高校1年生が、大学の学びに触れるために、京都大学大学院生が行っている研究内容を聴講し、学術研究に対する関心と理解を深めた。今後も、現状維持ではなく、大学との新たな連携やキャリア教育として新たに学ぶ機会を提供していきたい。

関西大学は、2026年度に創立140周年を迎えるとともに、長期（20年）ビジョン「Kandai Vision150」の前半最終年を迎える。併設校として、選ばれる学校としての発展を目指し、引き続き取り組んでいく。

7 アンケート結果

図表（2021 年度～2025 年度）

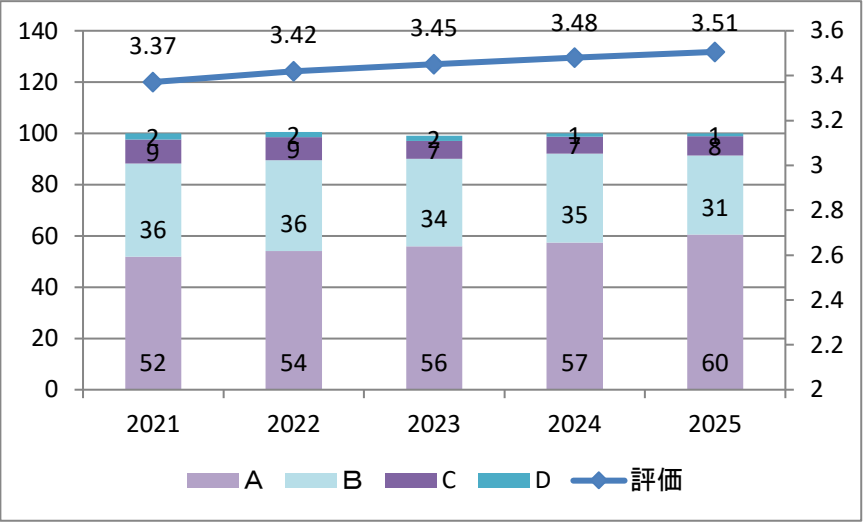
- 【グラフ①】 保護者（高校）対象 「学校評価重要 8 項目」の推移
- 【グラフ②】 高校生対象 「学校評価重要 8 項目」の推移
- 【グラフ③】 保護者（中学校）対象 「学校評価重要 8 項目」の推移
- 【グラフ④】 中学生対象 「学校評価重要 8 項目」の推移
- 【グラフ⑤】 「学校生活の満足度」の推移
- 【グラフ⑥】 「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移
- 【グラフ⑦】 「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移
- 【グラフ⑧】 「保護者との連携」（学習と生徒指導）の推移
- 【グラフ⑨】 「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移
- 【グラフ⑩】 「進路指導体制」の推移
- 【グラフ⑪】 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移

数表（2025 年度）

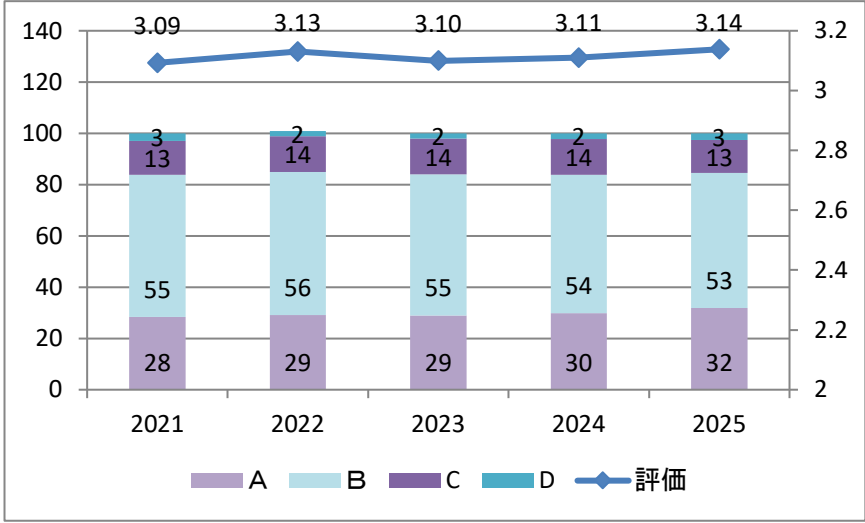
- 資料 1—1 学校評価 教員対象アンケート 〈組織〉
- 資料 1—2 学校評価 教員対象アンケート 〈個人〉
- 資料 1—3 学校評価 教員対象アンケート —「組織」の過去 4 ヶ年比較—
- 資料 1—4 学校評価 教員対象アンケート —「個人」の過去 4 ヶ年比較—
- 資料 2 ① 学校評価 保護者アンケート結果 —高中別—
- 資料 2—1 学校評価 保護者対象アンケート結果（高校） —過去 4 ヶ年比較—
- 資料 2—2 学校評価 保護者対象アンケート結果（中学校） —過去 4 ヶ年比較—
- 資料 2 ② 学校評価 生徒対象アンケート結果 —高中別—
- 資料 2—3 学校評価 生徒対象アンケート結果（高校） —過去 3 ヶ年比較—
- 資料 2—4 学校評価 生徒対象アンケート結果（中学校） —過去 3 ヶ年比較—
- 資料 3—1 授業評価分析資料（教科別）
- 資料 3—2 授業評価分析資料（高校・中学校別）
- 資料 3—3 「総合的な探究の時間」生徒対象アンケート結果

保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2021年～2025年) 【グラフ ①】

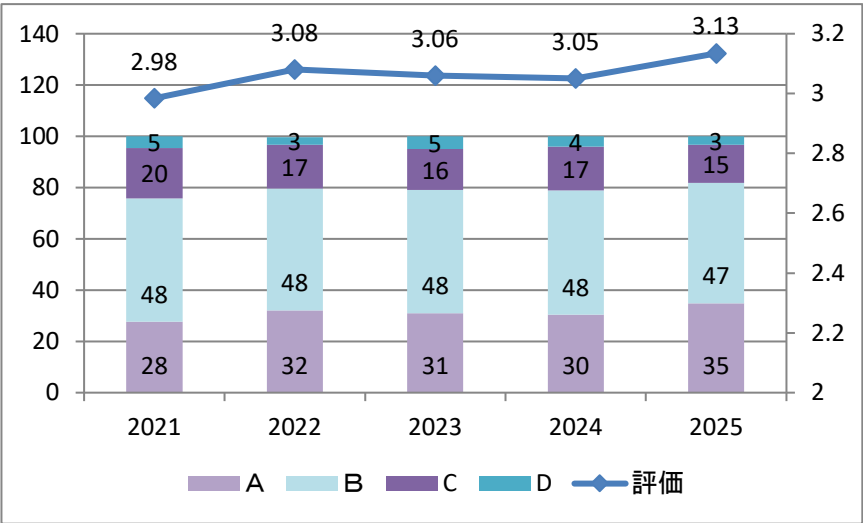
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか



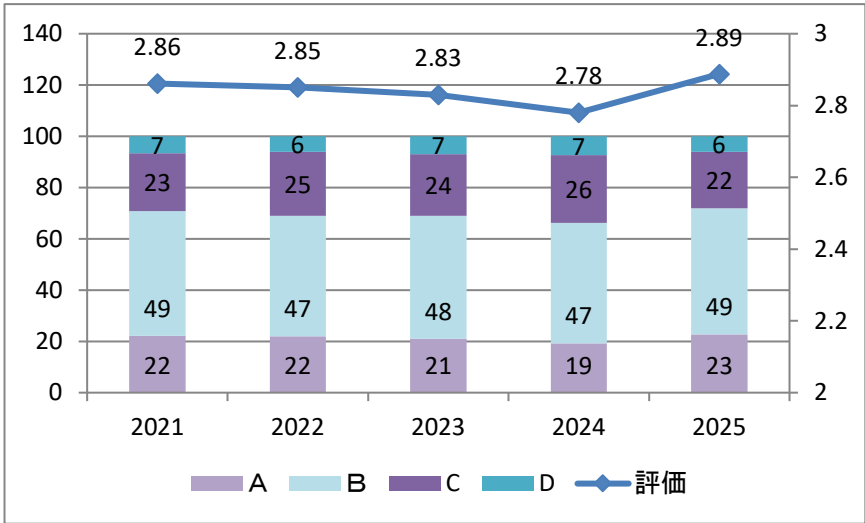
2 本校の教育方針を理解されていますか



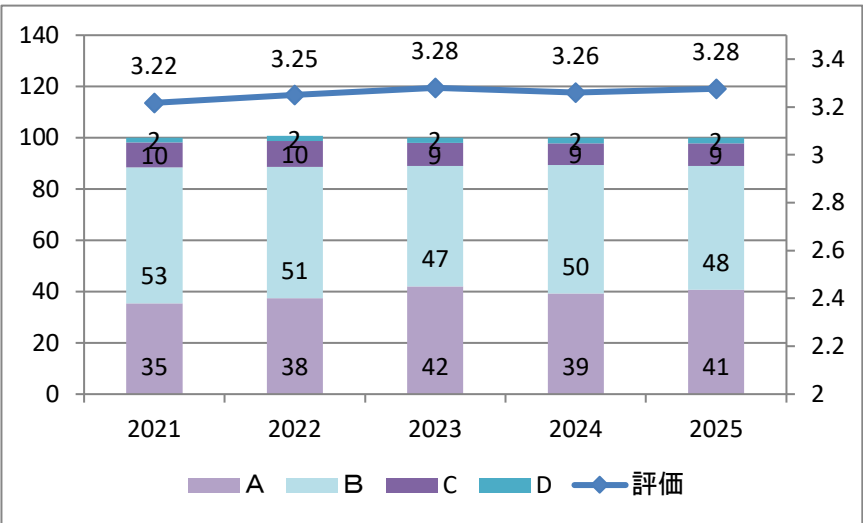
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか



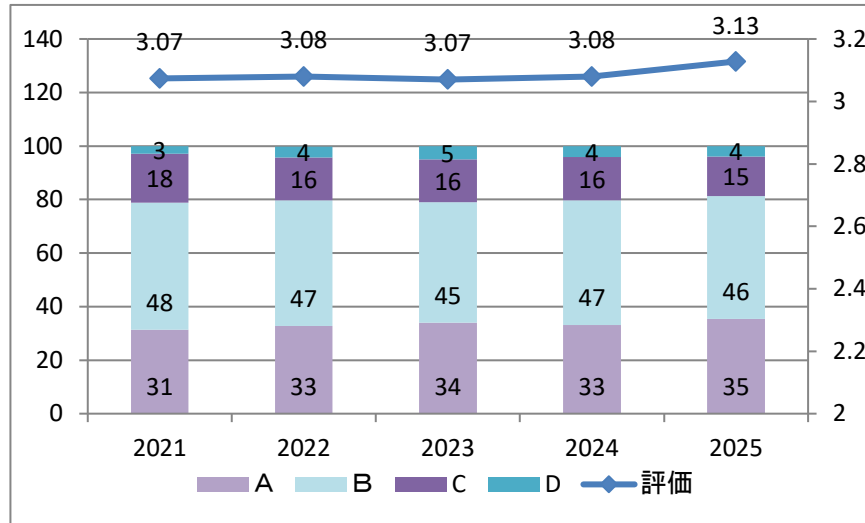
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか



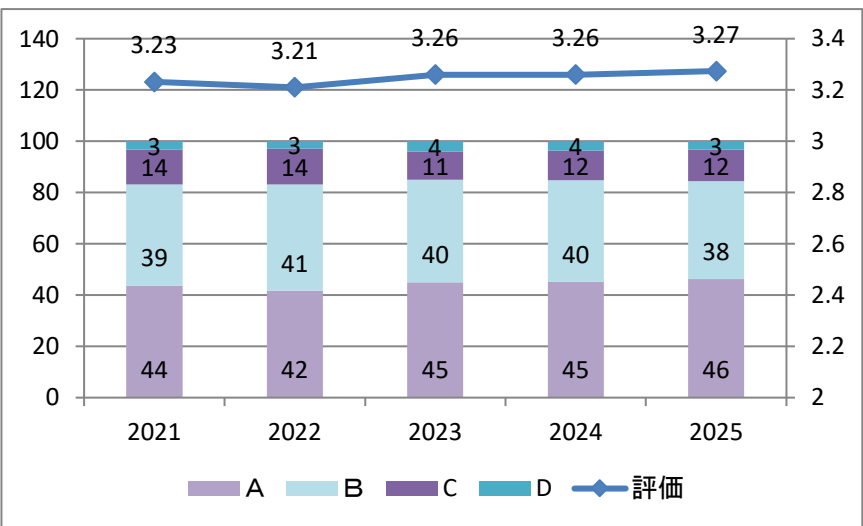
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われませんか



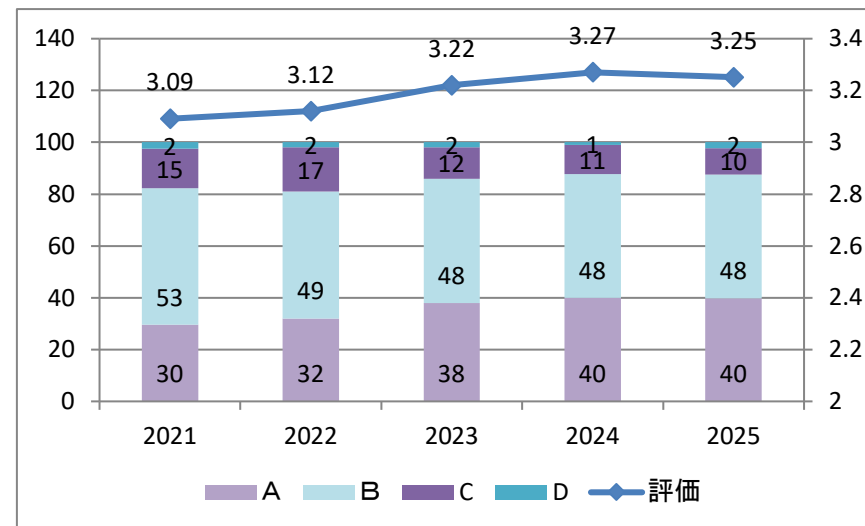
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われませんか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われませんか

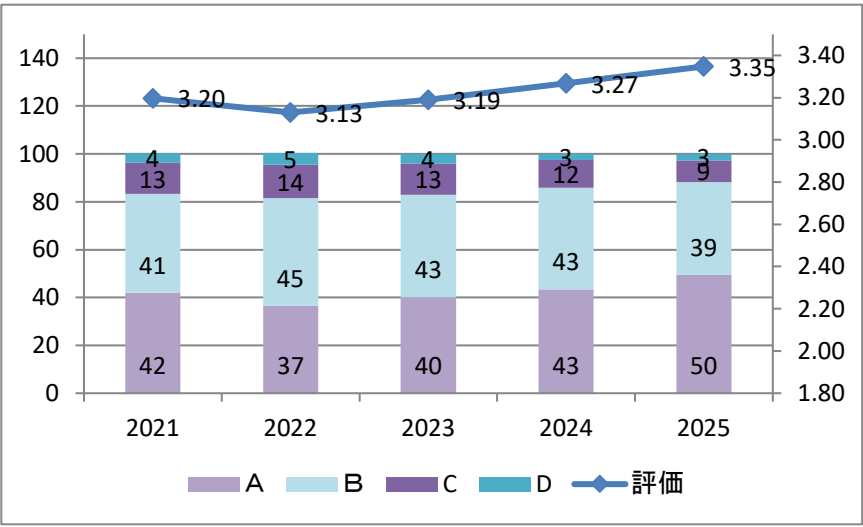


※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

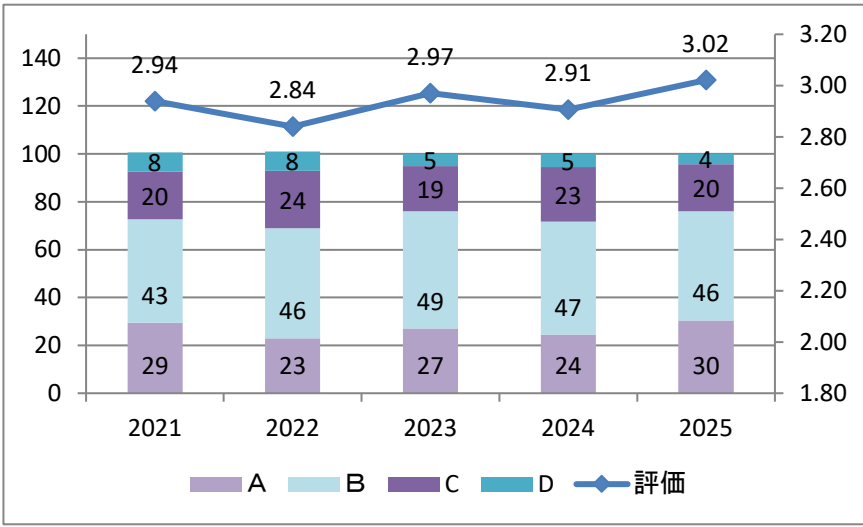
高校生対象「学校評価重要8項目」の推移（2021年～2025年）

【グラフ ②】

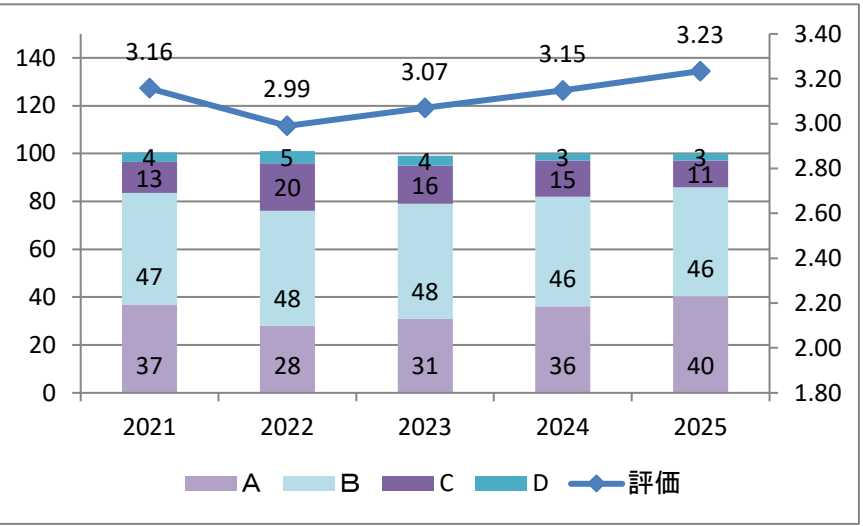
1 この学校に入学して良かったですか



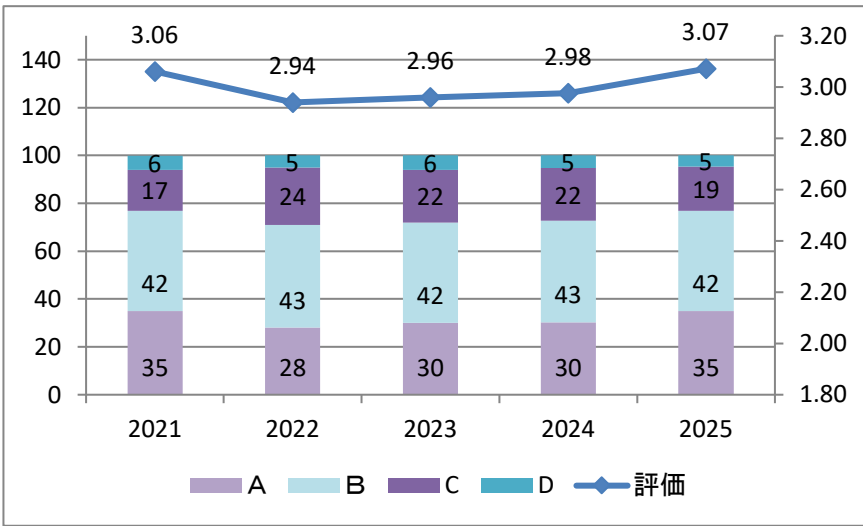
2 学校の教育方針を理解していますか



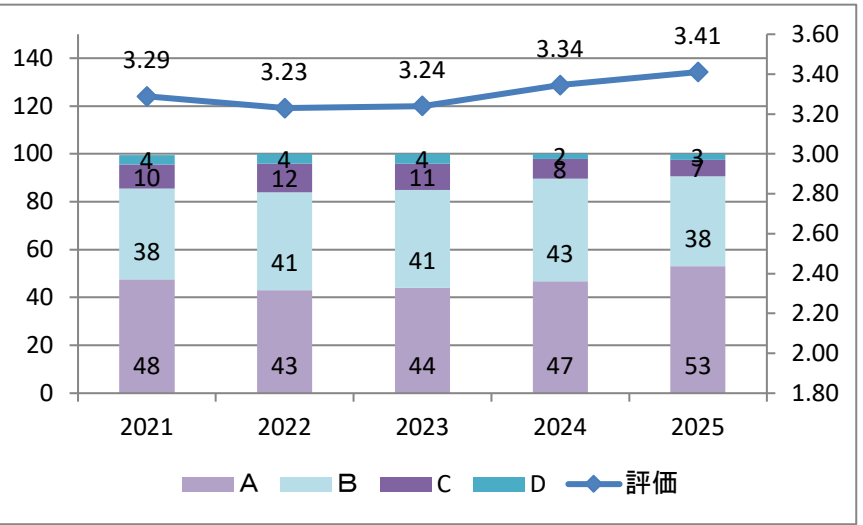
3 自分の学力は向上していると思いますか



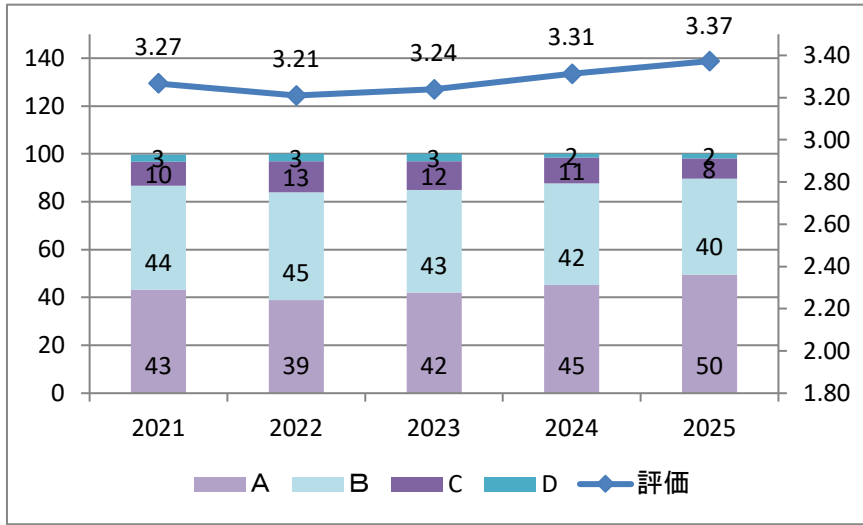
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



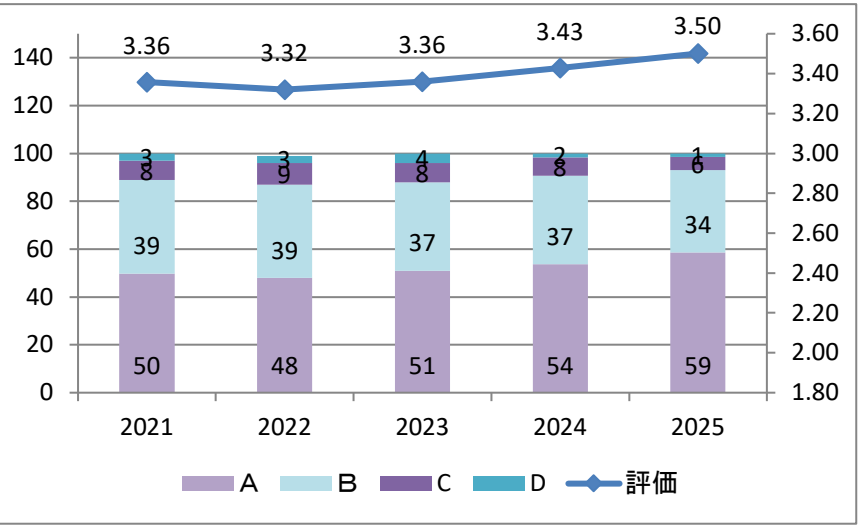
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



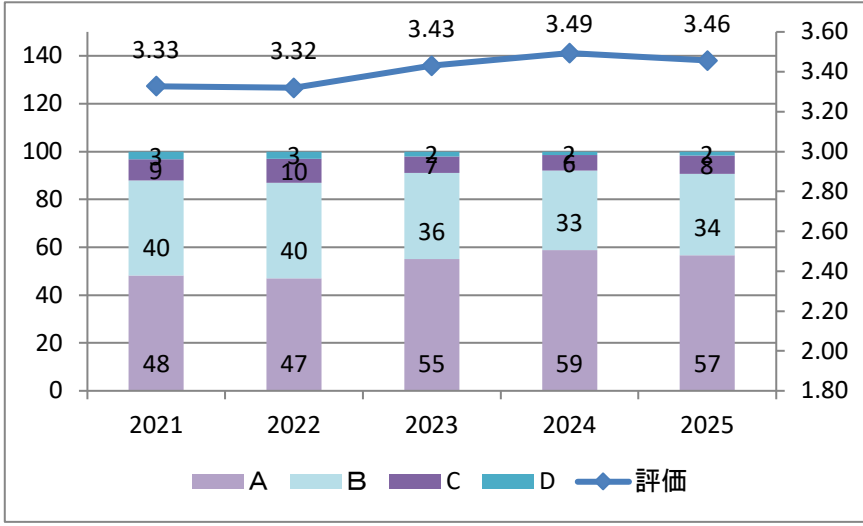
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



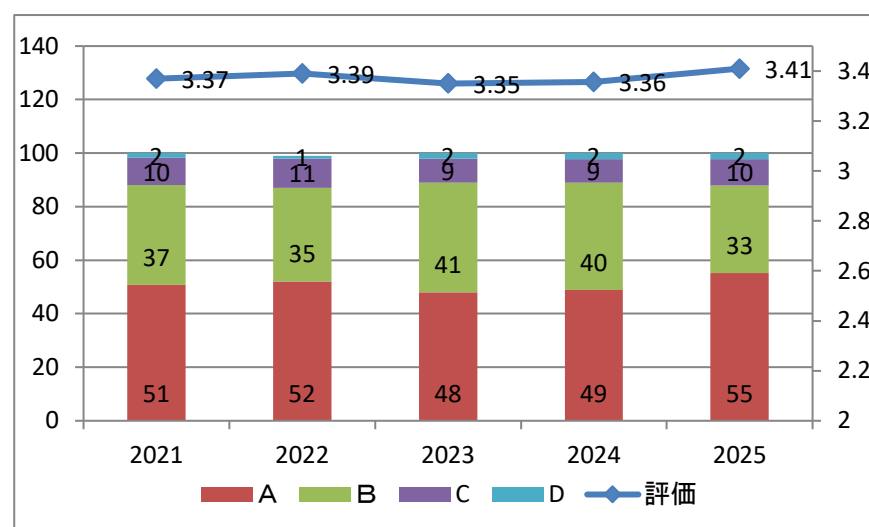
8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



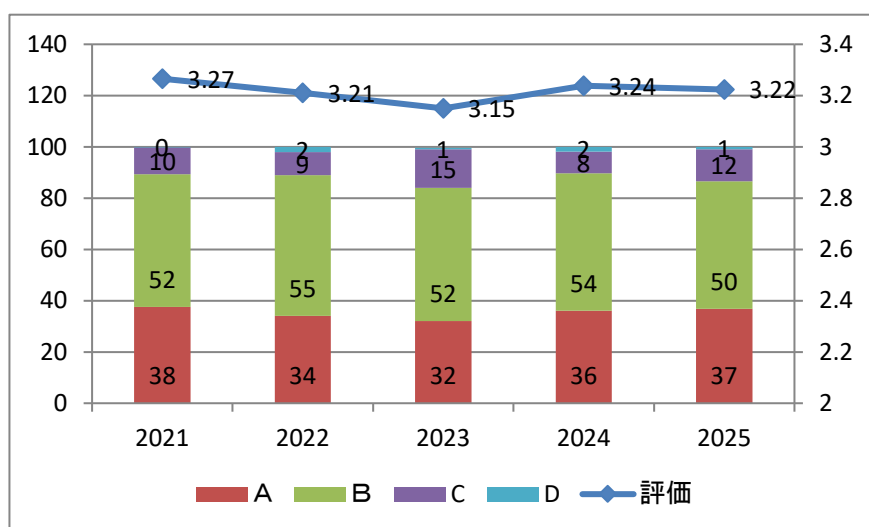
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

保護者(中学)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2021年～2025年) 【グラフ ③】

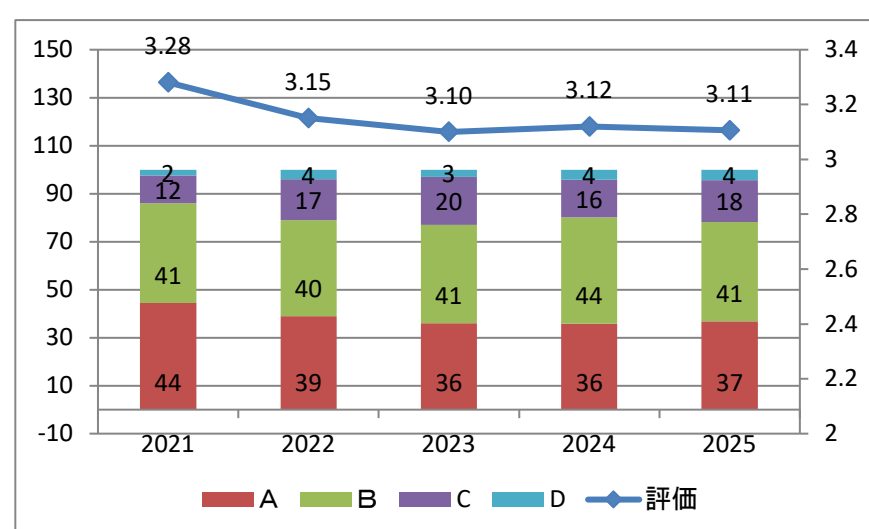
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思われませんか



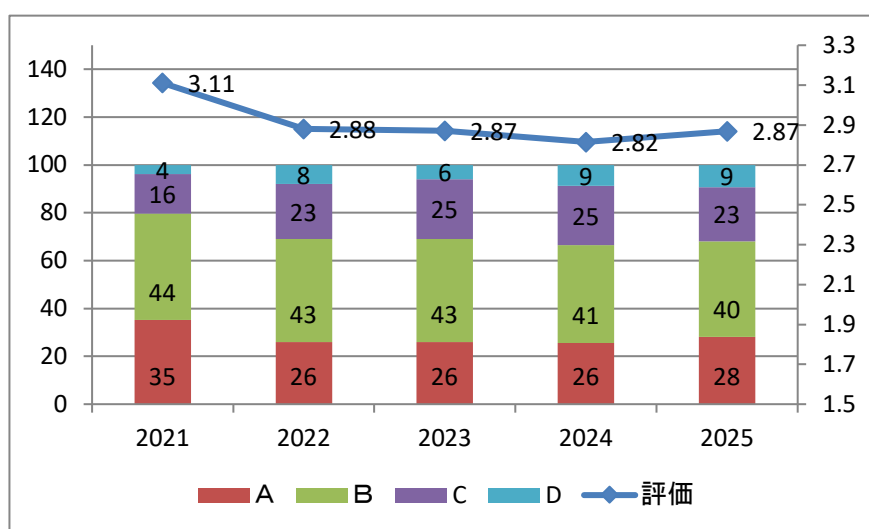
2 本校の教育方針を理解されていますか



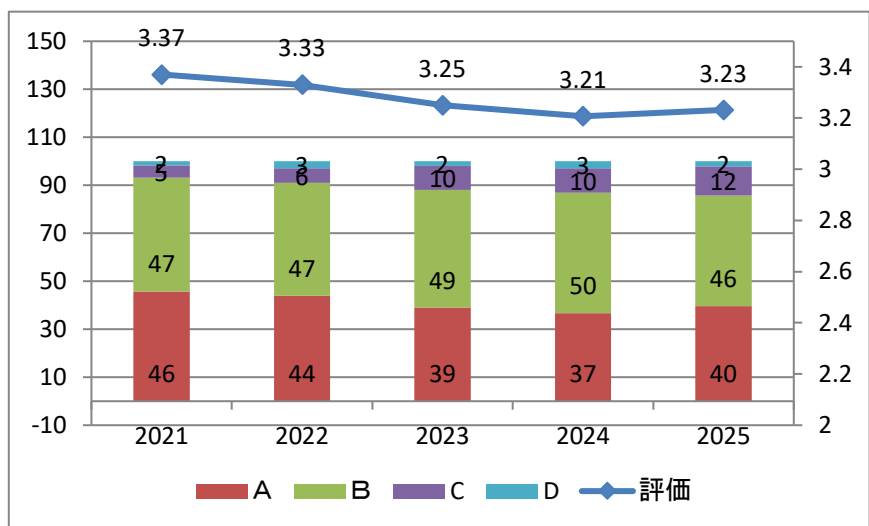
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか



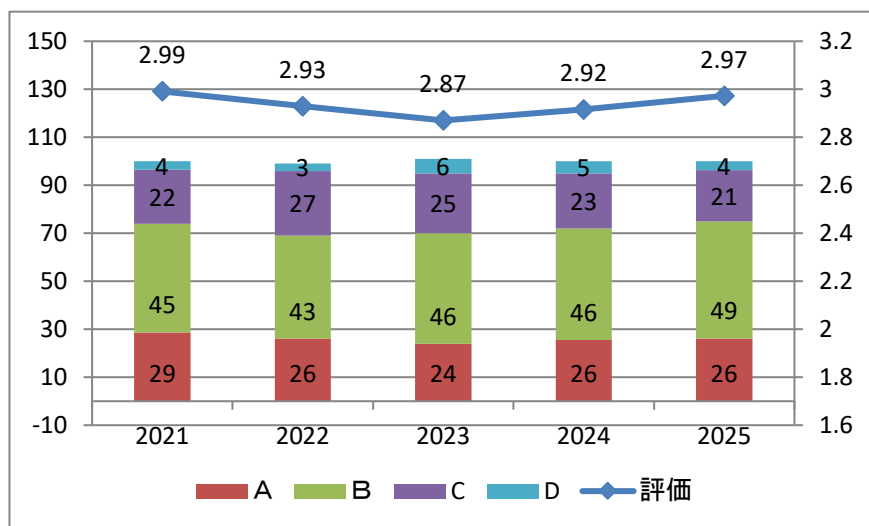
4 補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか



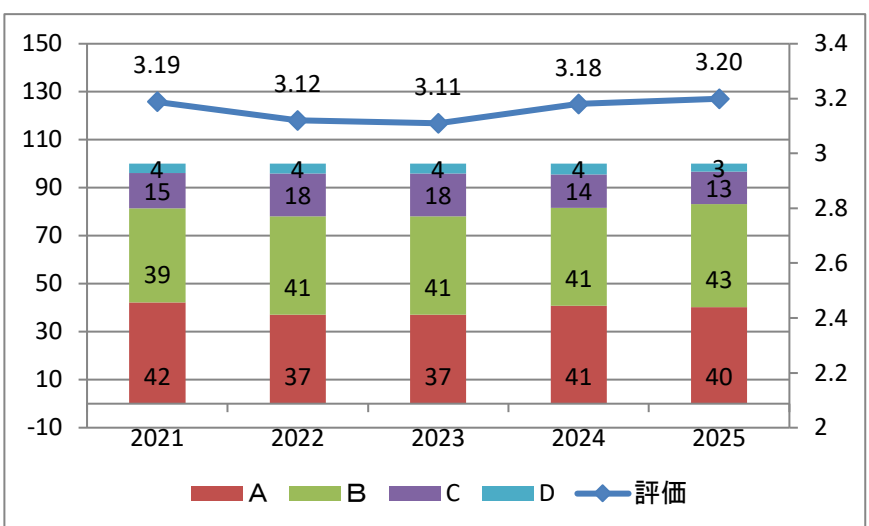
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思われませんか



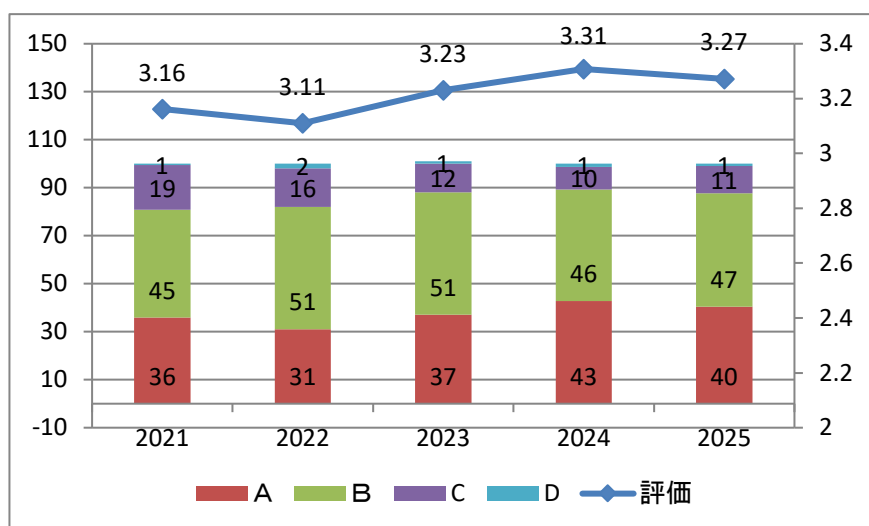
6 きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思われませんか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思われませんか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

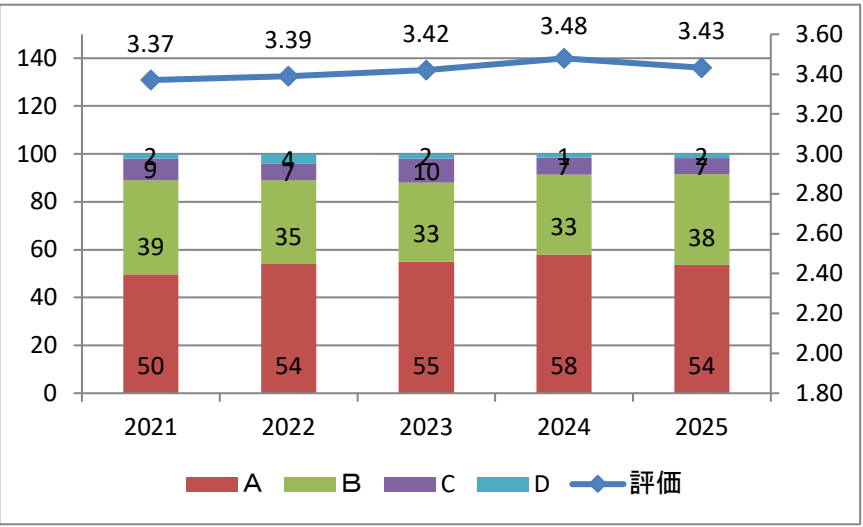
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

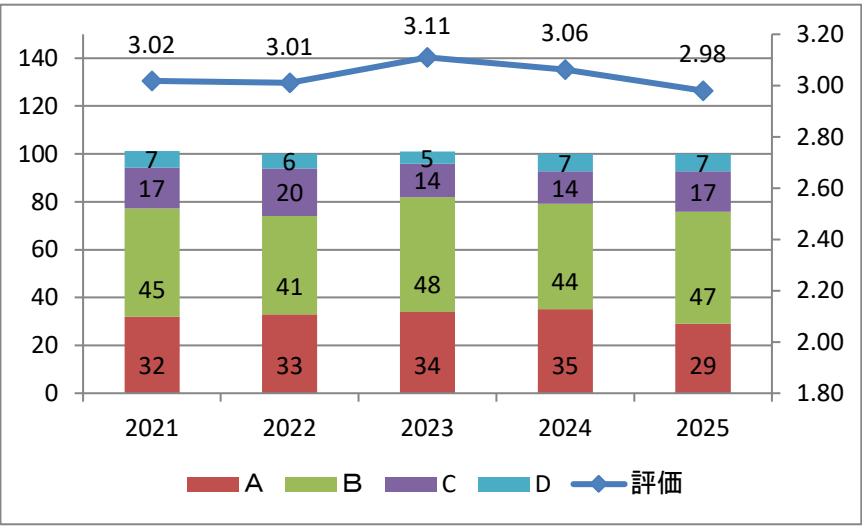
中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2021年～2025年）

【グラフ ④】

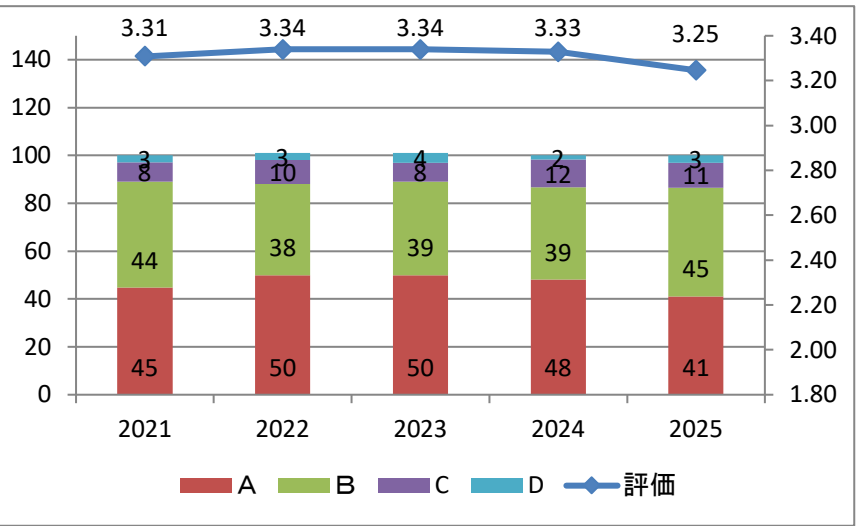
1 この学校に入学して良かったですか



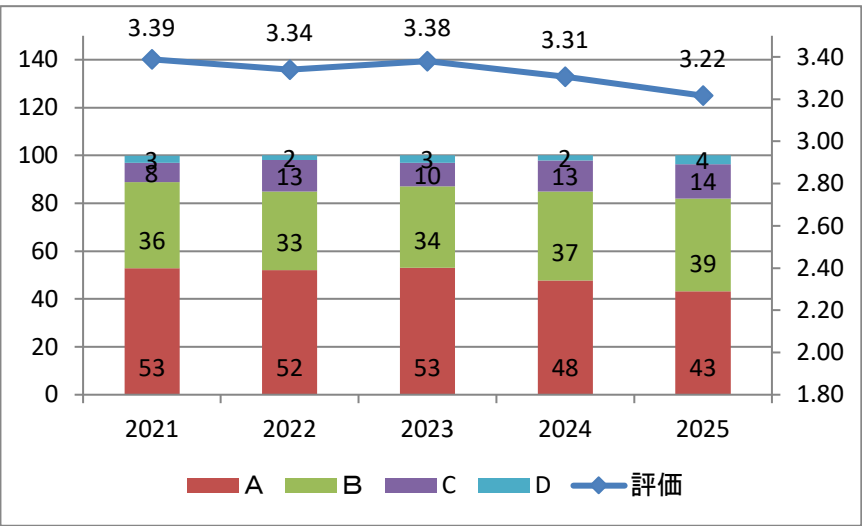
2 学校の教育方針を理解していますか



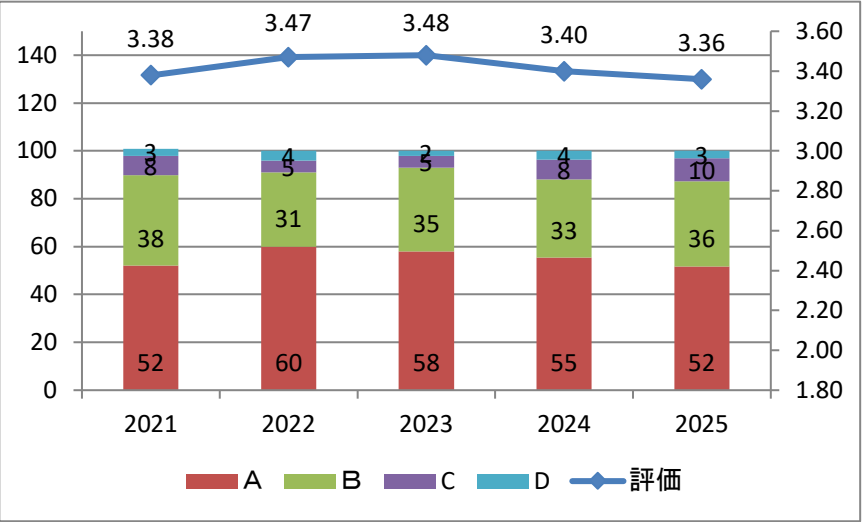
3 自分の学力は向上していると思いますか



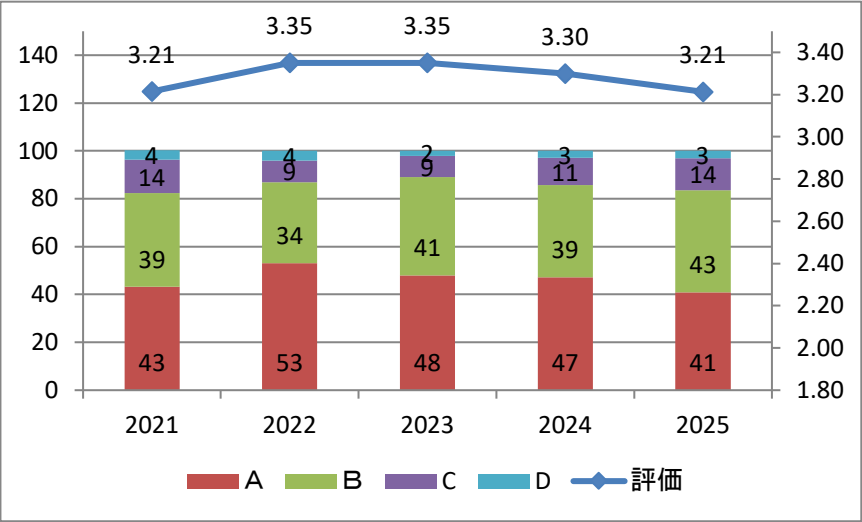
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



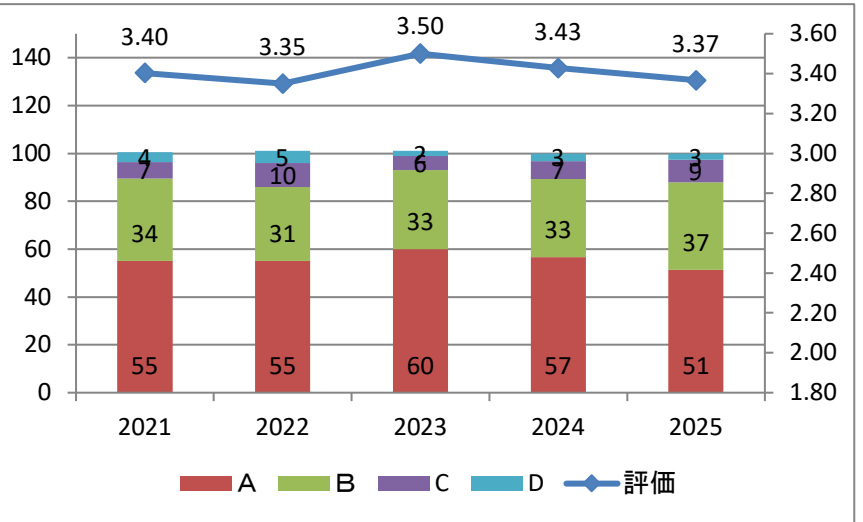
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



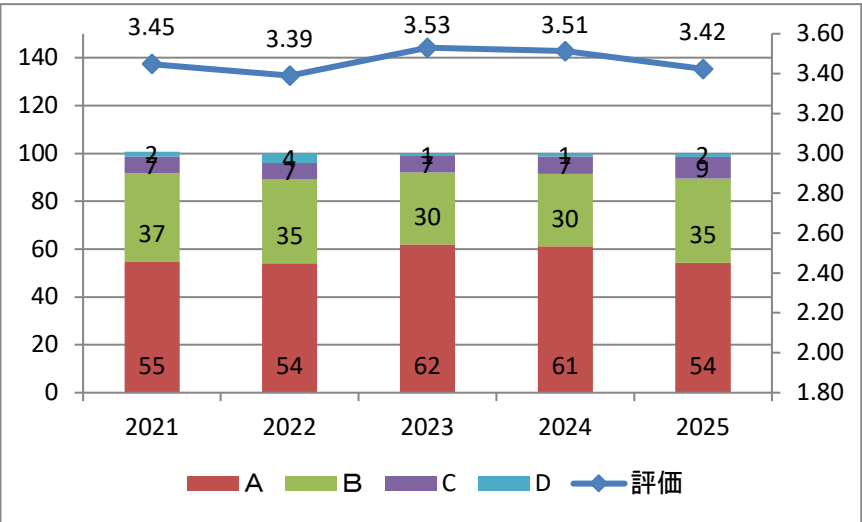
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか

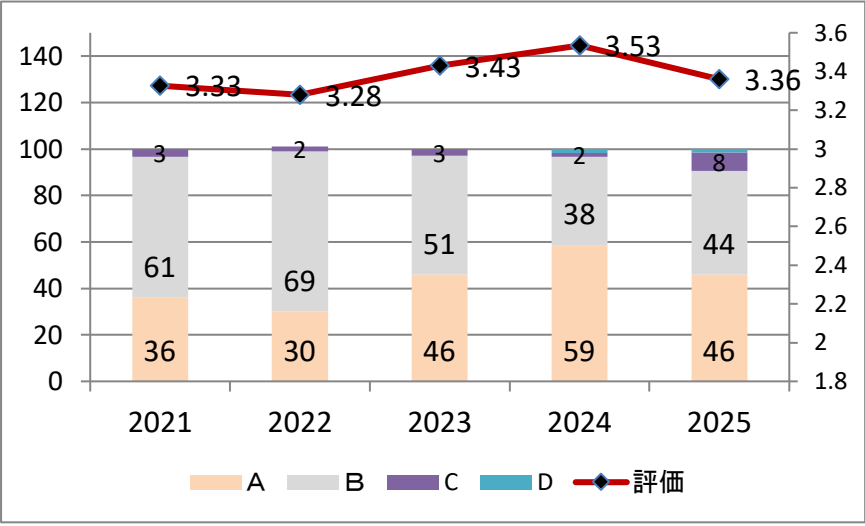


※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

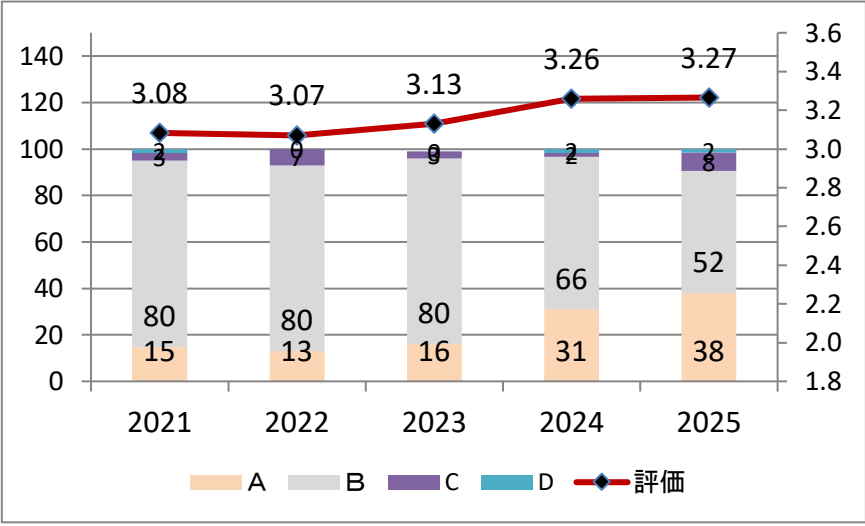
「学校生活の満足度」の推移（2021年～2025年）

【グラフ ⑤】

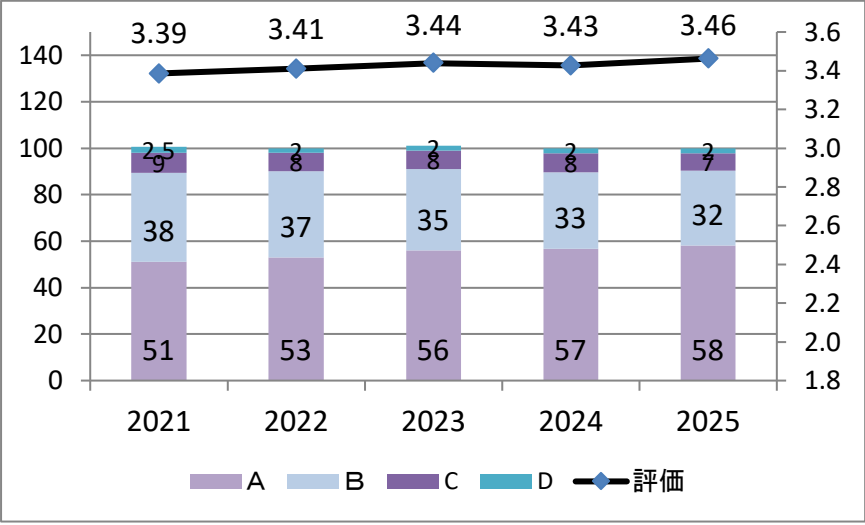
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる(教員組織)



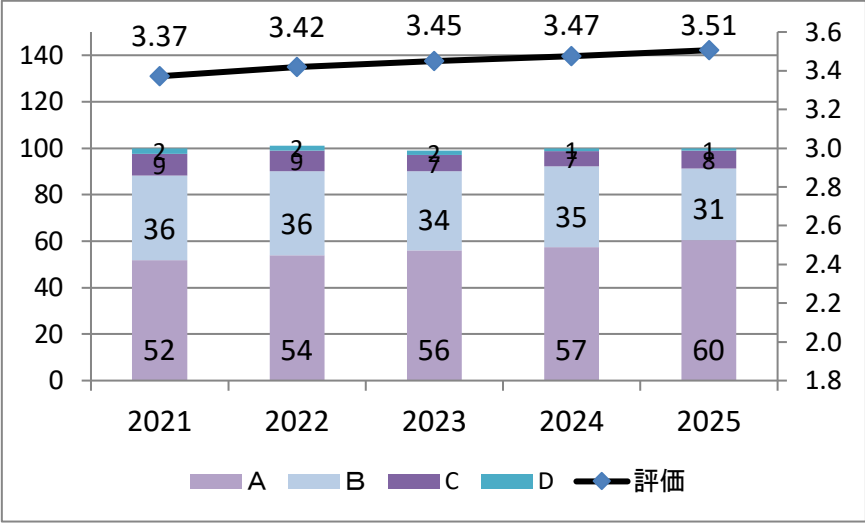
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い(教員組織)



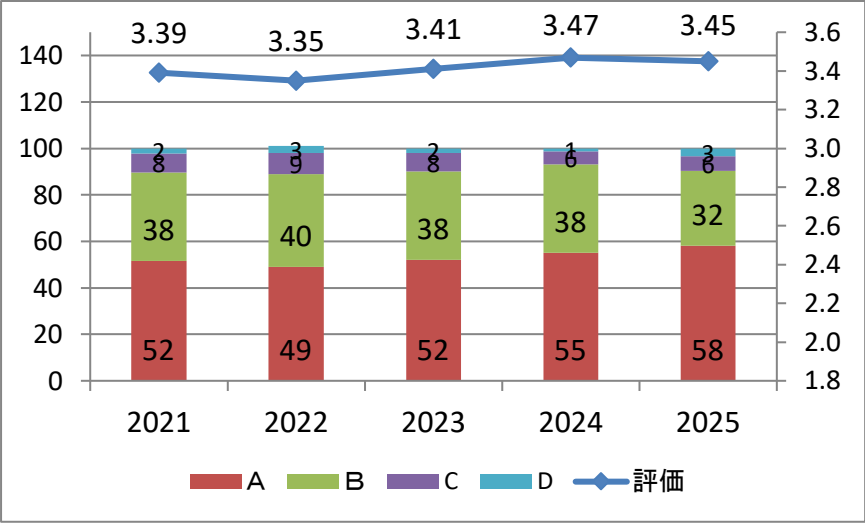
3 生き生きとした学校生活を送っているか(高校保護者対象)



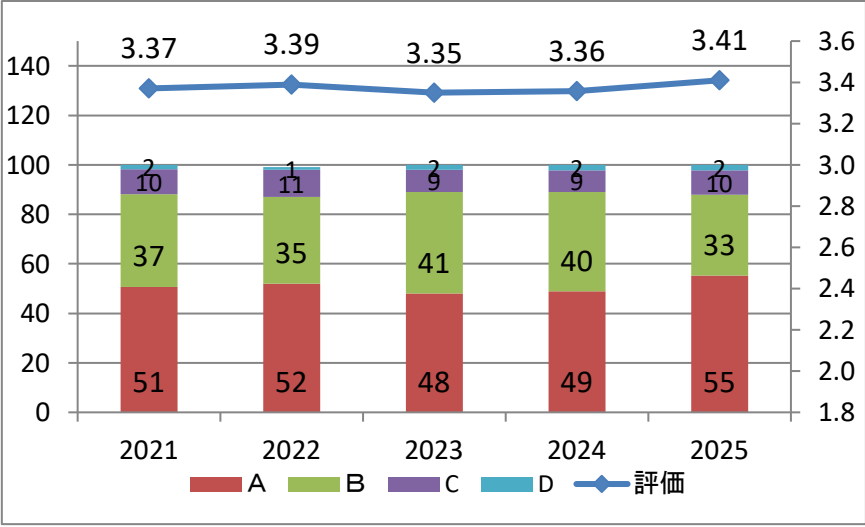
4 本校に入学させて良かったと思われるか(高校保護者対象)



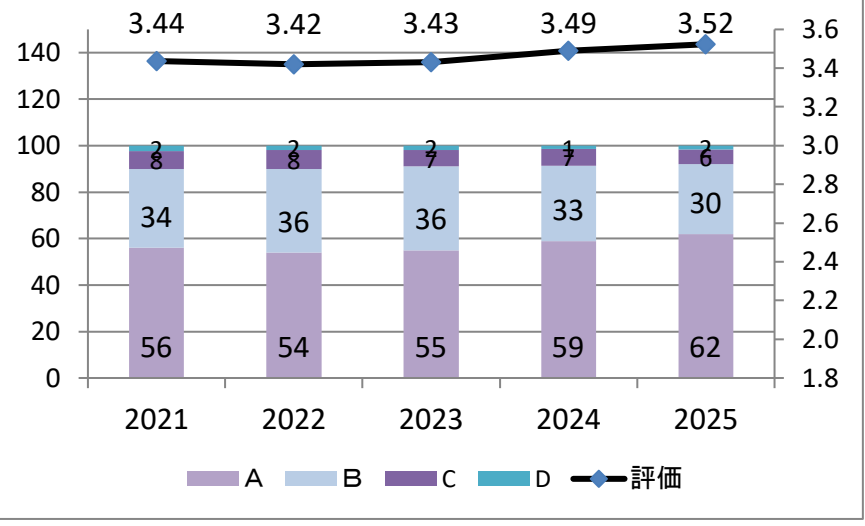
5 生き生きとした学校生活を送っているか(中学校保護者対象)



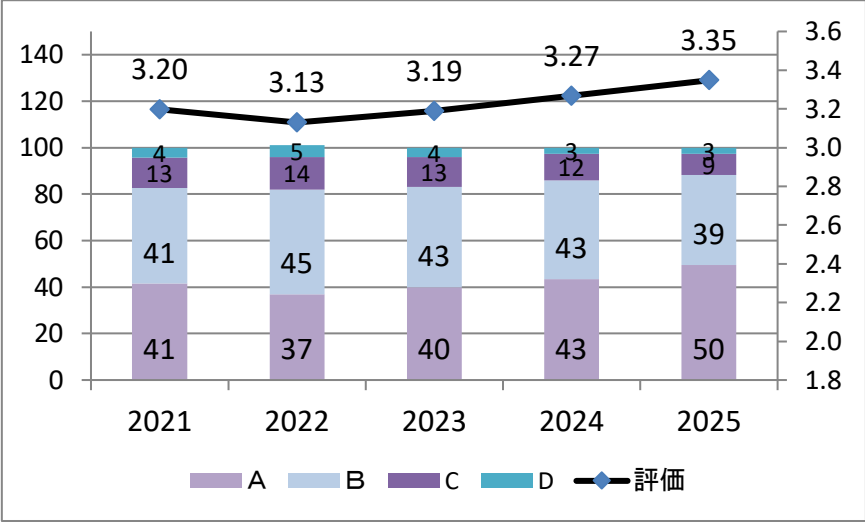
6 本校に入学させてよかったと思われるか(中学校保護者対象)



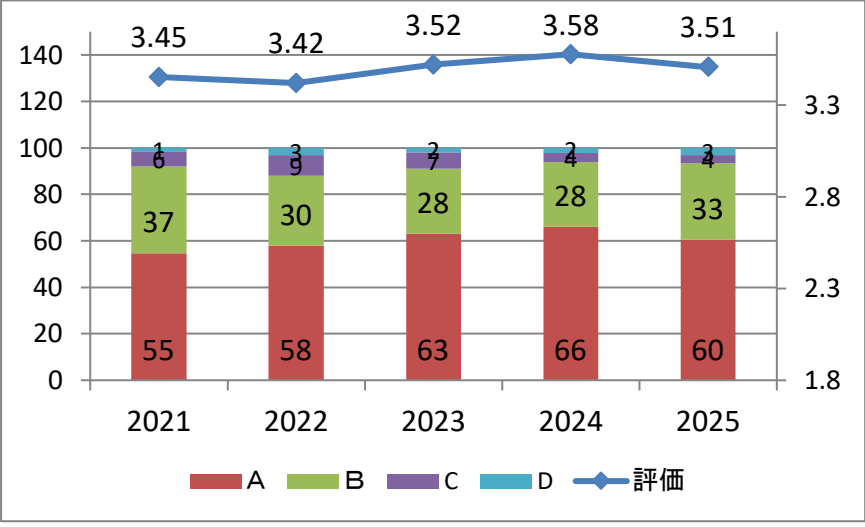
7 学校生活は楽しいと感じているか(高校生対象)



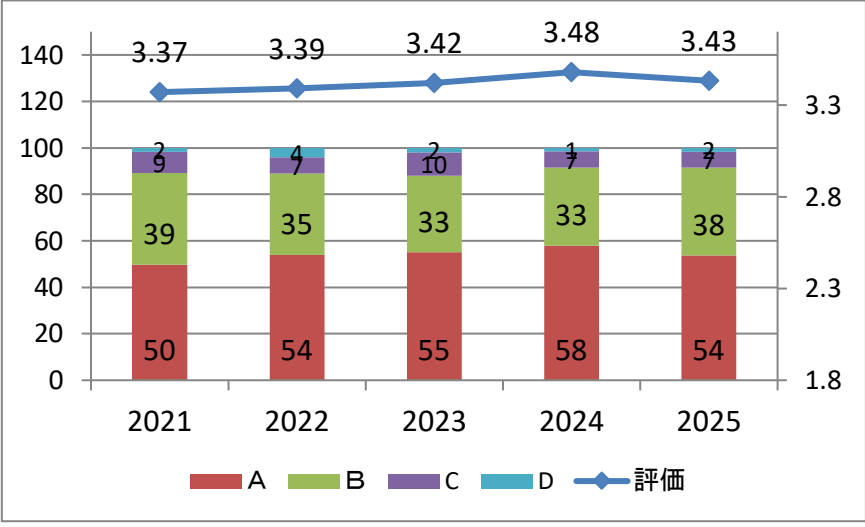
8 本校に入学してよかったと感じているか(高校生対象)



9 学校生活は楽しいと感じているか(中学生対象)



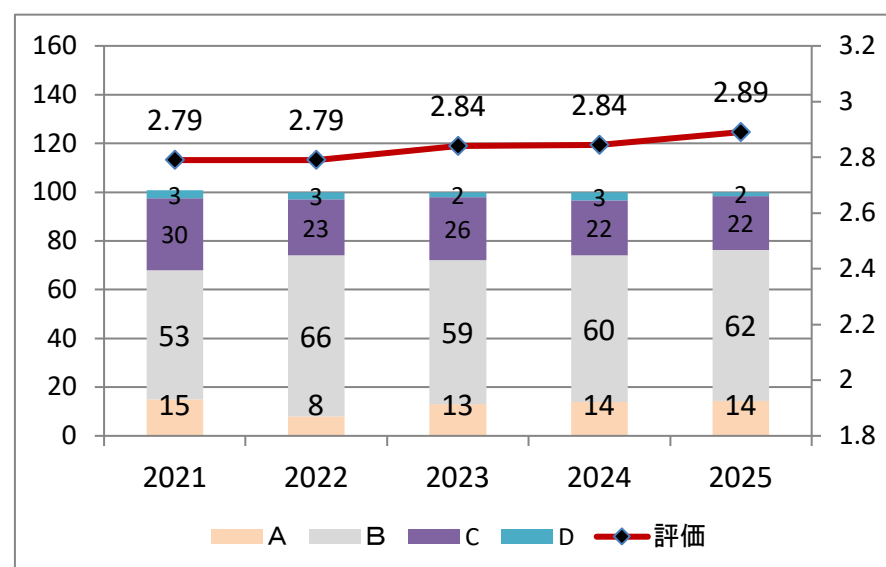
10 本校に入学してよかったと感じているか(中学生対象)



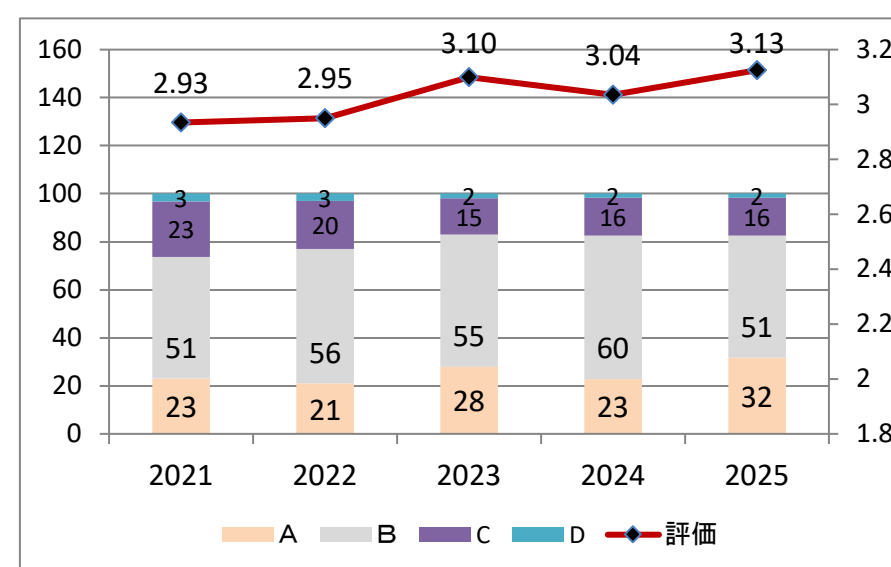
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移（2021年～2025年） 【グラフ⑥】

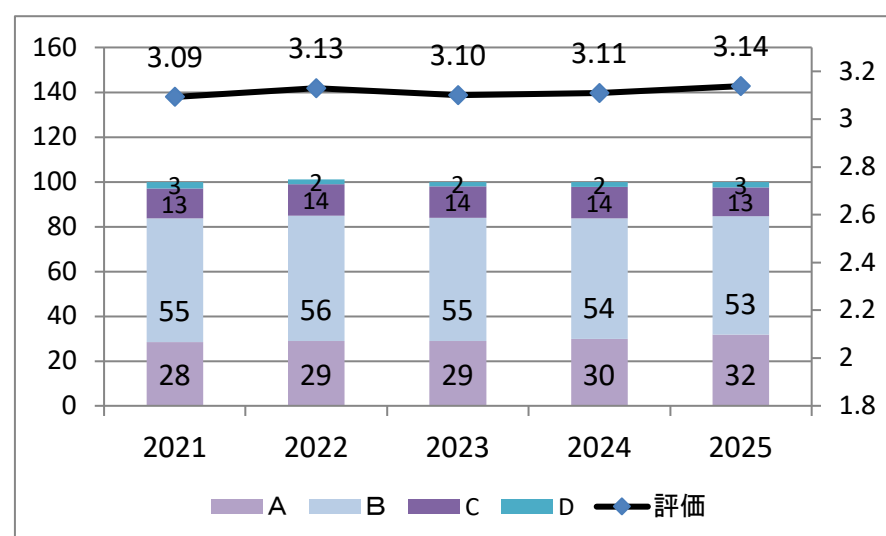
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透していると思うか。（教員組織）



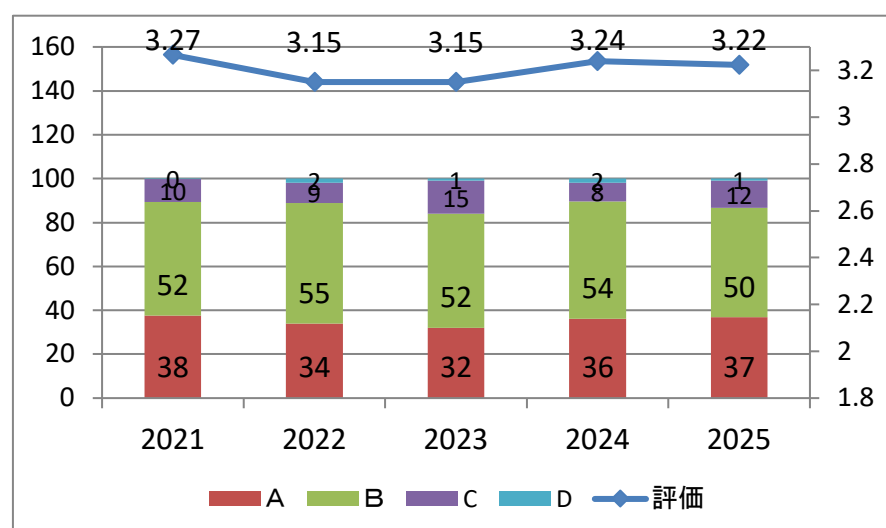
2. 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。（教員組織）



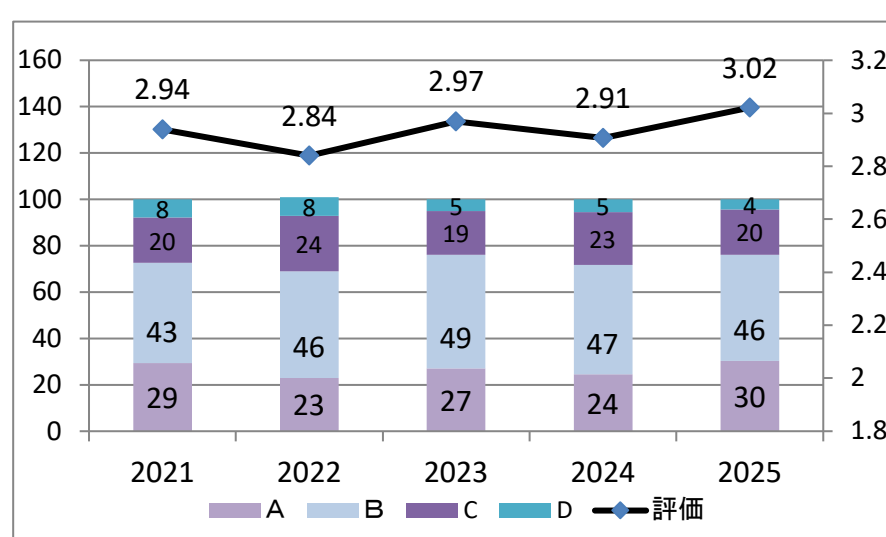
3. 本校の教育方針を理解していますか。（高校保護者対象）



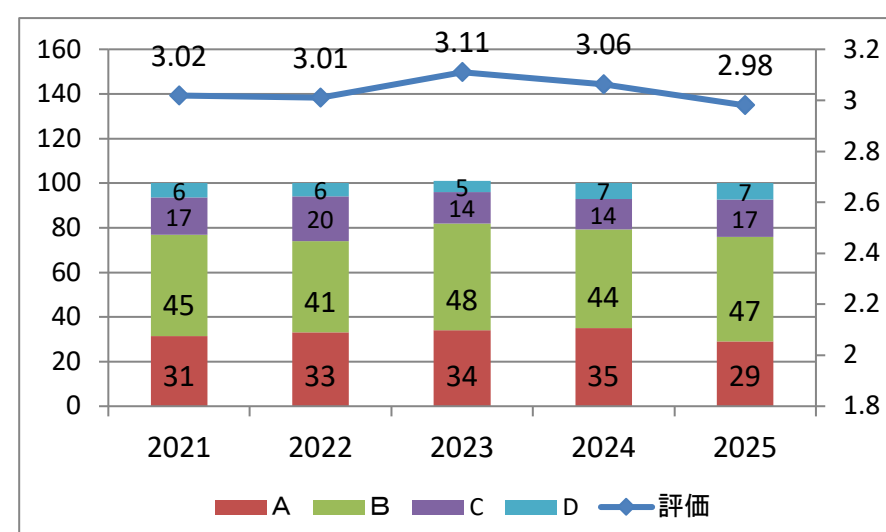
4. 本校の教育方針を理解していますか。（中学校保護者対象）



5. 本校の教育方針を理解していますか。（高校生対象）



6. 本校の教育方針を理解していますか。（中学生対象）



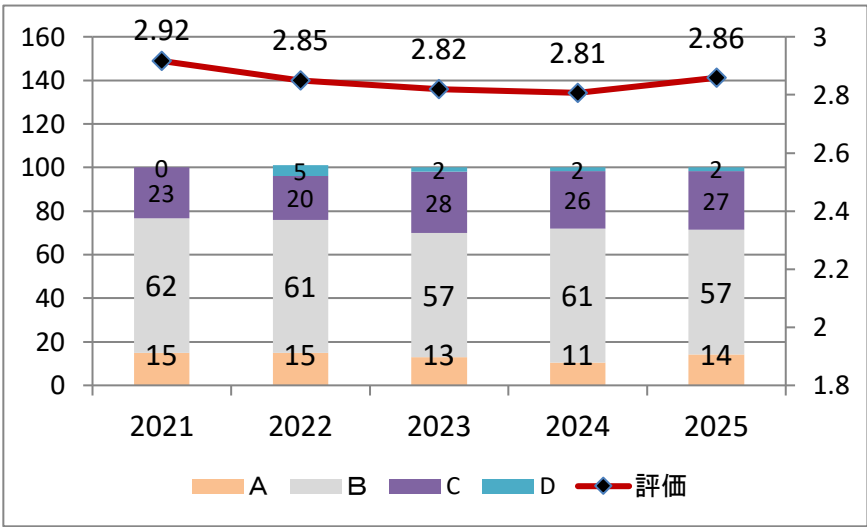
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

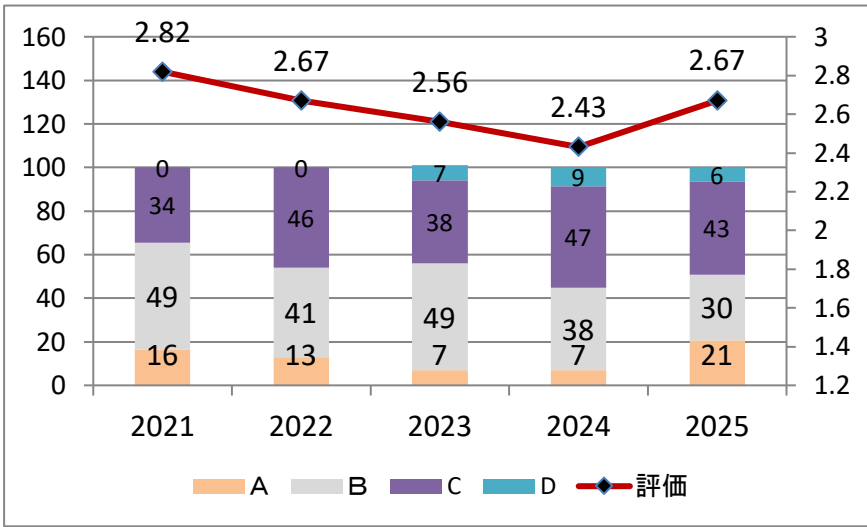
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2021年～2025年）【グラフ ⑦】

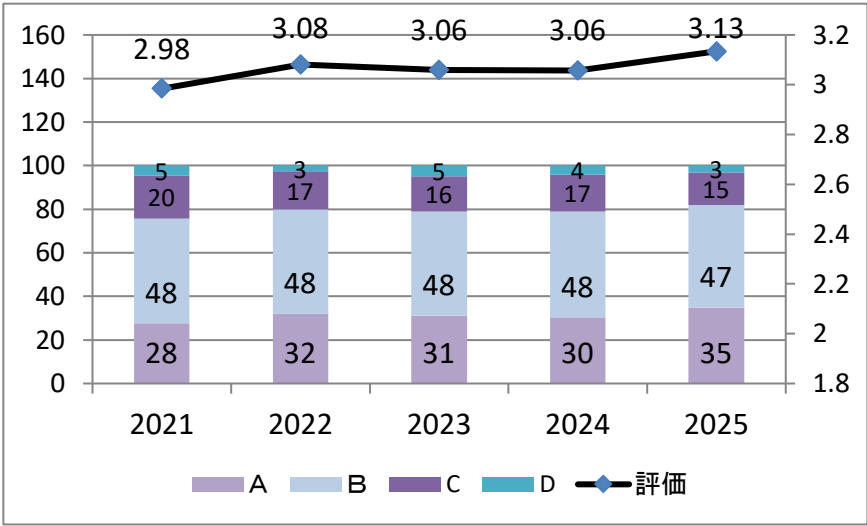
1 学力向上における組織的な取組（教員組織）



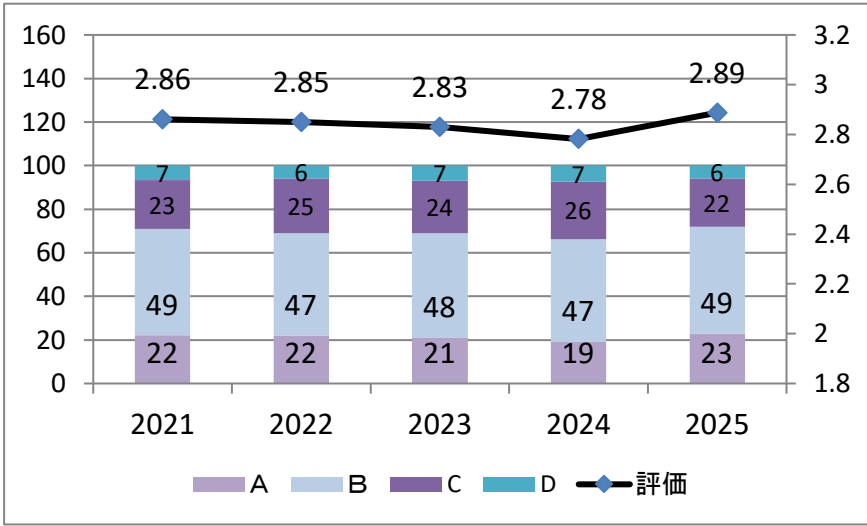
2 スローラーナーへの対応（教員組織）



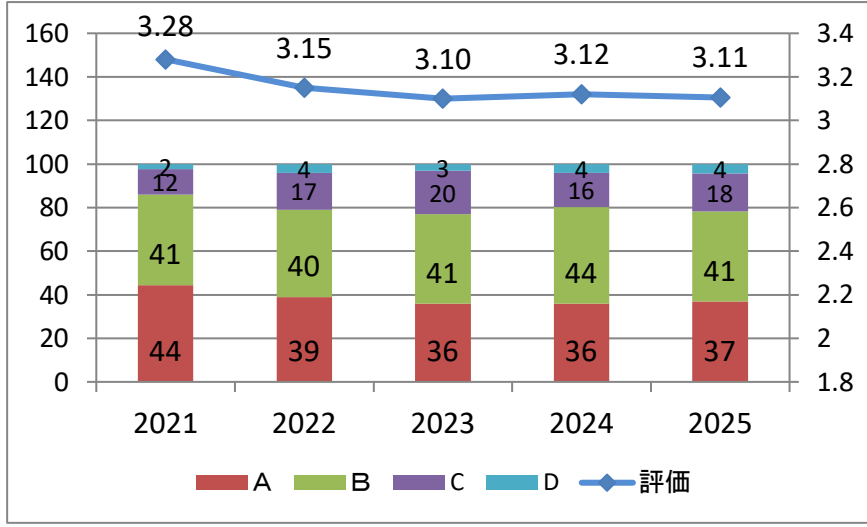
3 学力向上における組織的な取組（高校保護者対象）



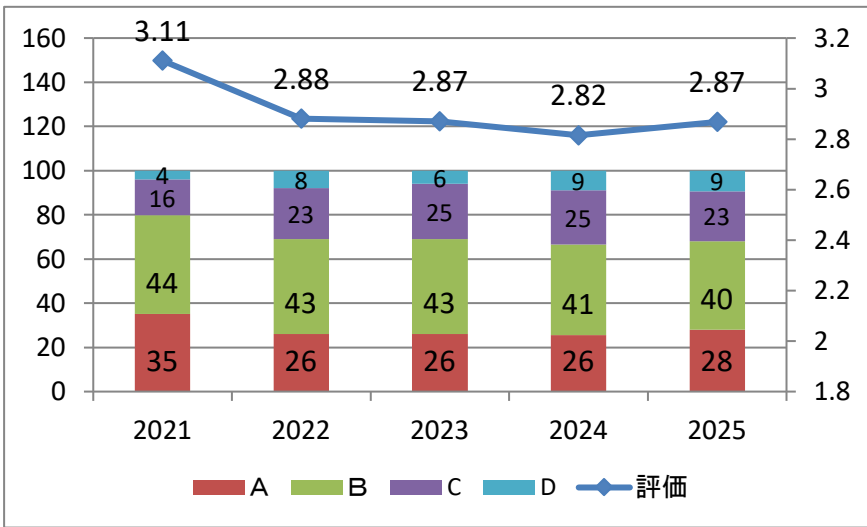
4 スローラーナーへの対応（高校保護者対象）



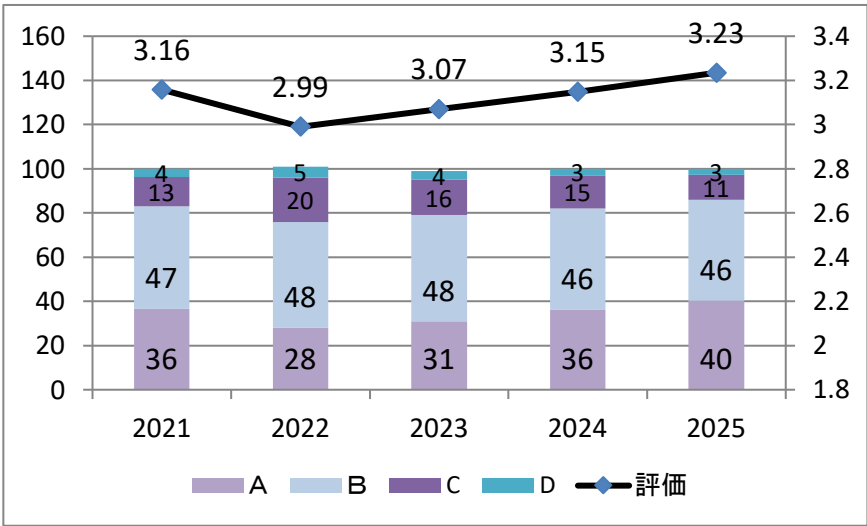
5 学力向上における組織的な取組（中学校保護者対象）



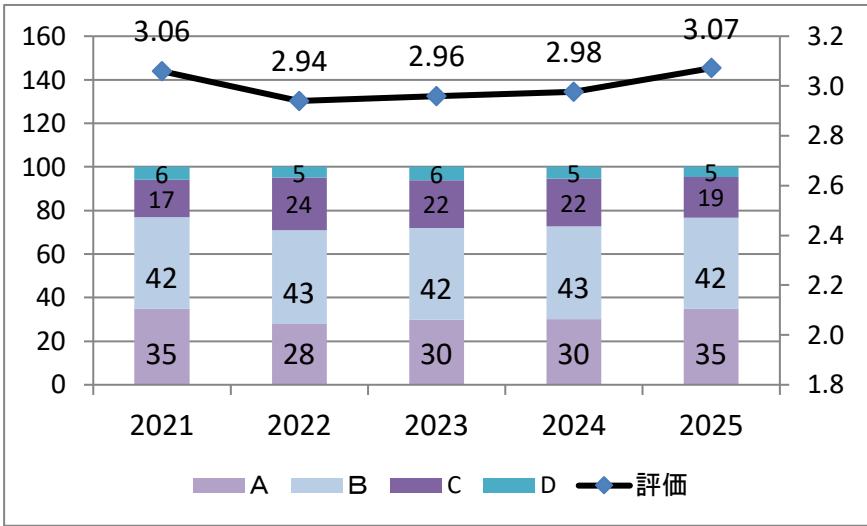
6 スローラーナーへの対応（中学校保護者対象）



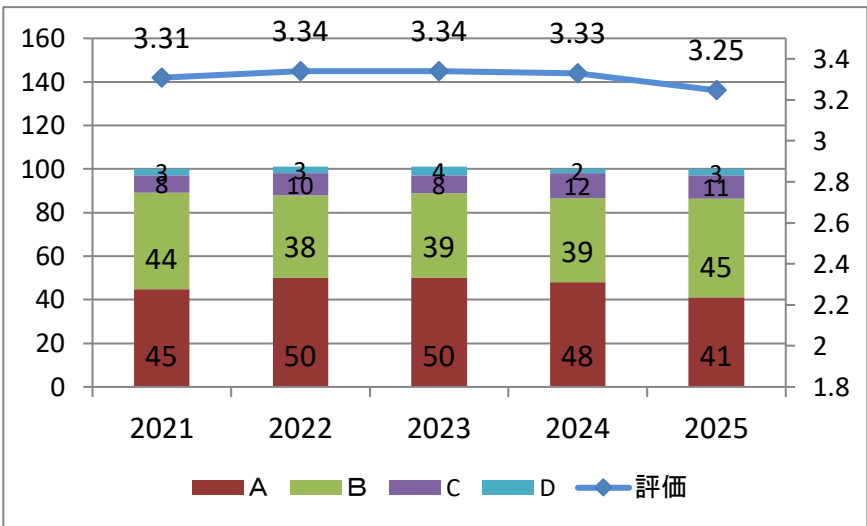
7 自分の学力は向上していると感じているか（高校生対象）



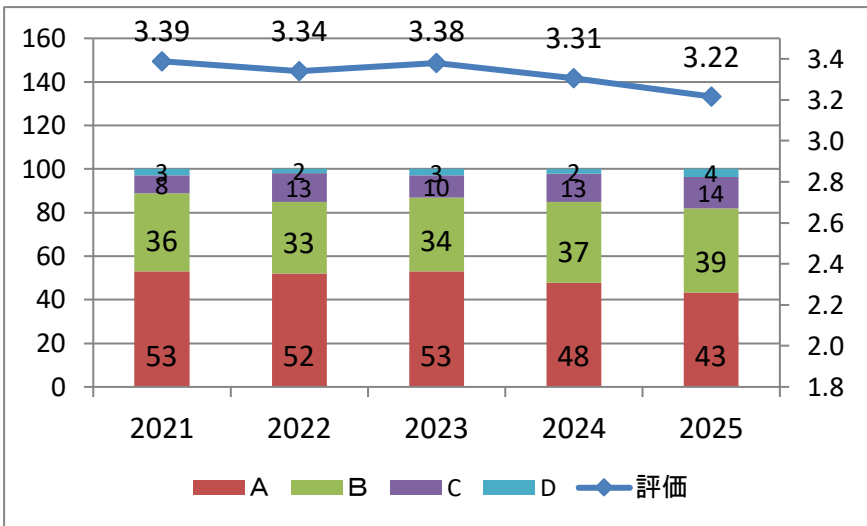
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか（高校生対象）



9 自分の学力は向上していると感じているか（中学生対象）



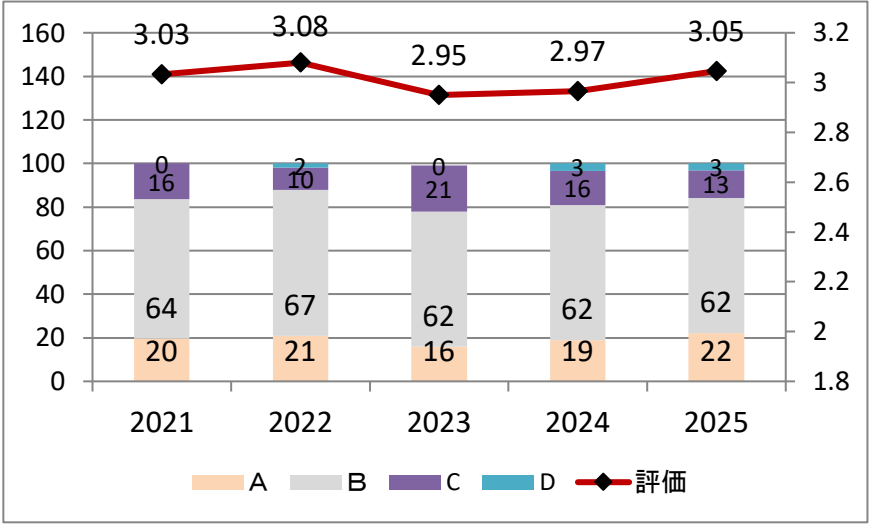
10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか（中学生対象）



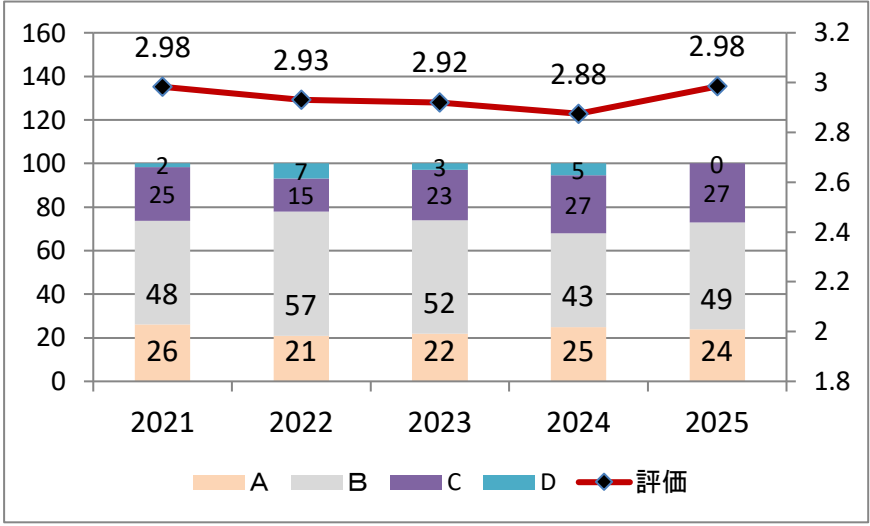
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2021年～2025年) 【グラフ ⑧】

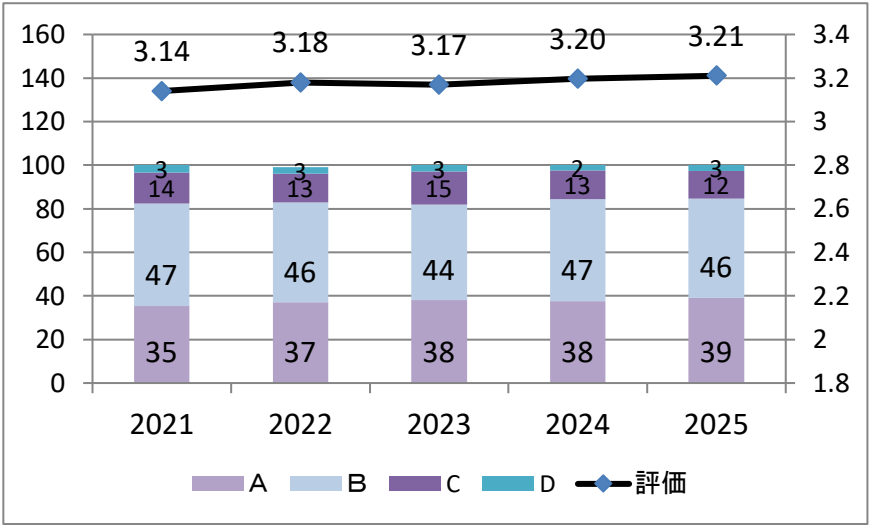
1 学習に関する保護者との連携(教員組織)



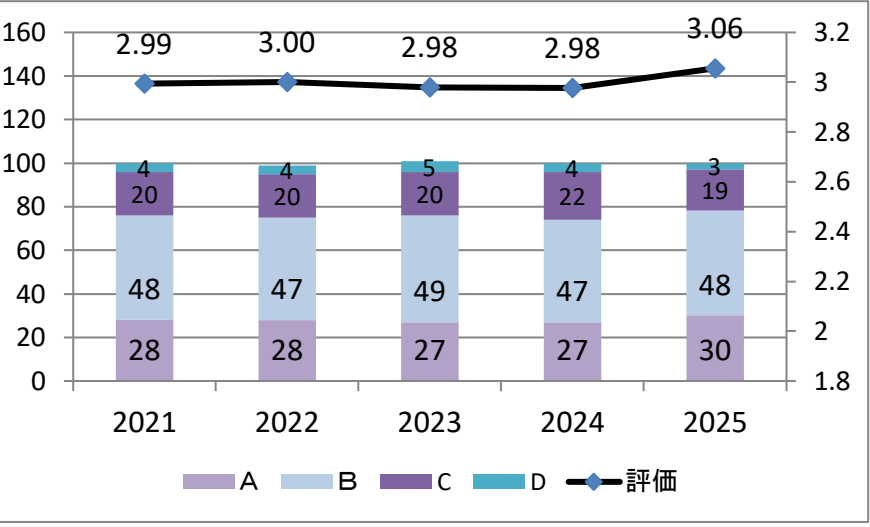
2 生徒指導における保護者との連携(教員組織)



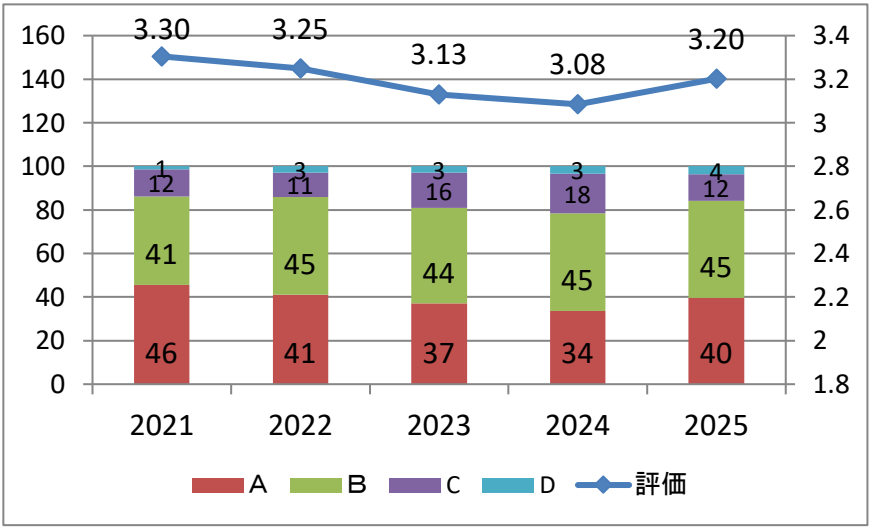
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



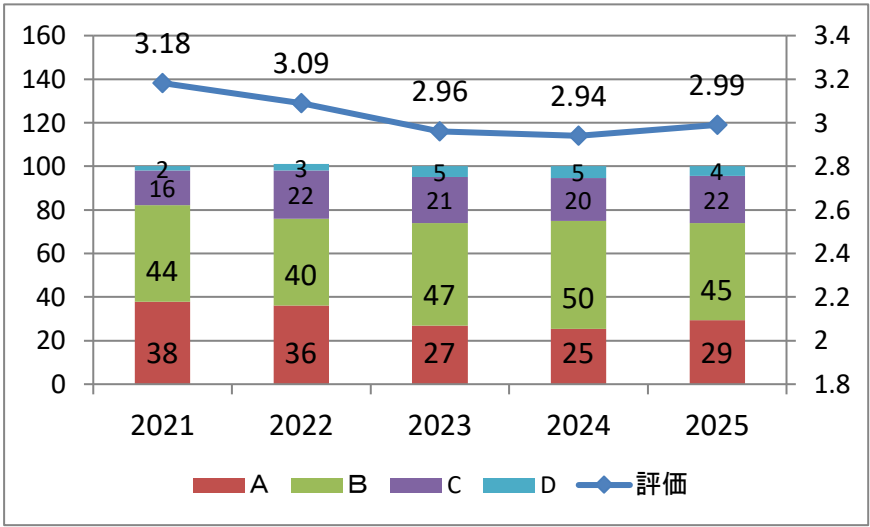
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



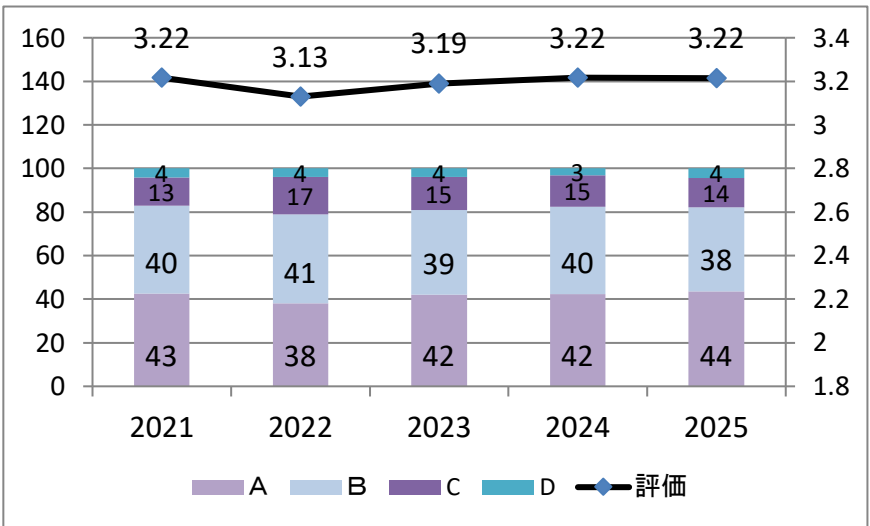
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



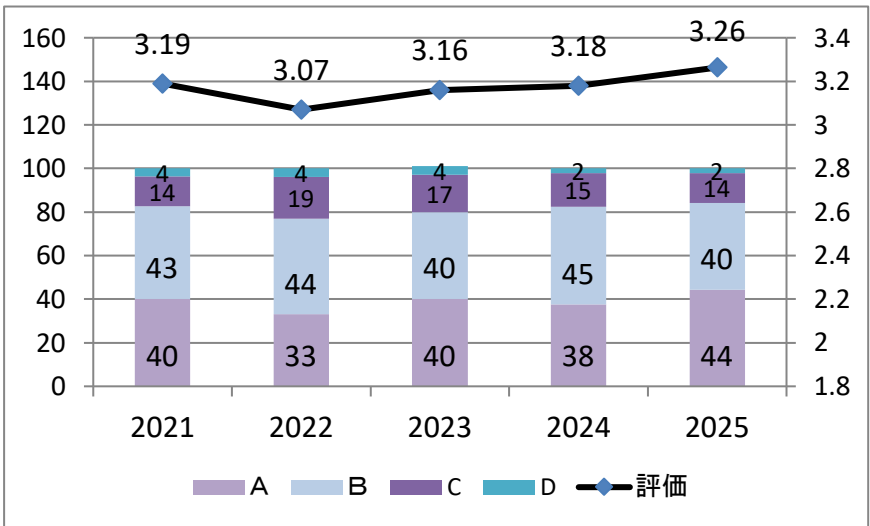
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



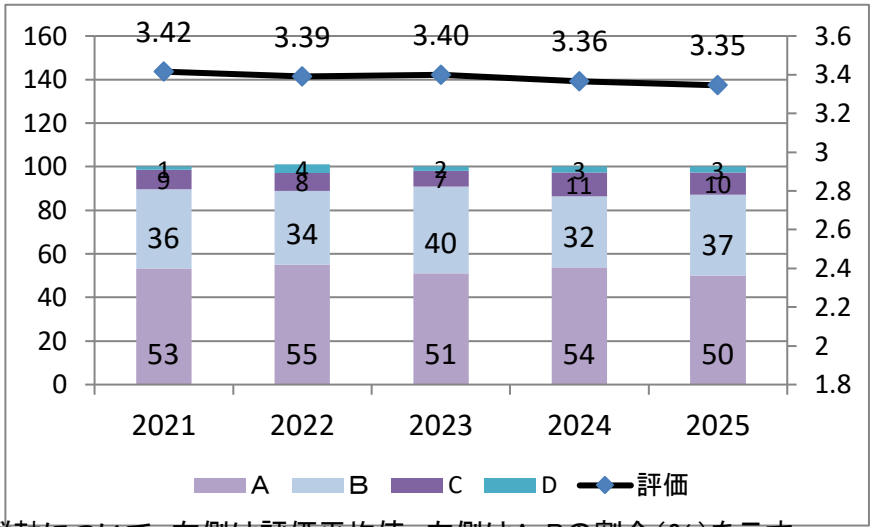
7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)



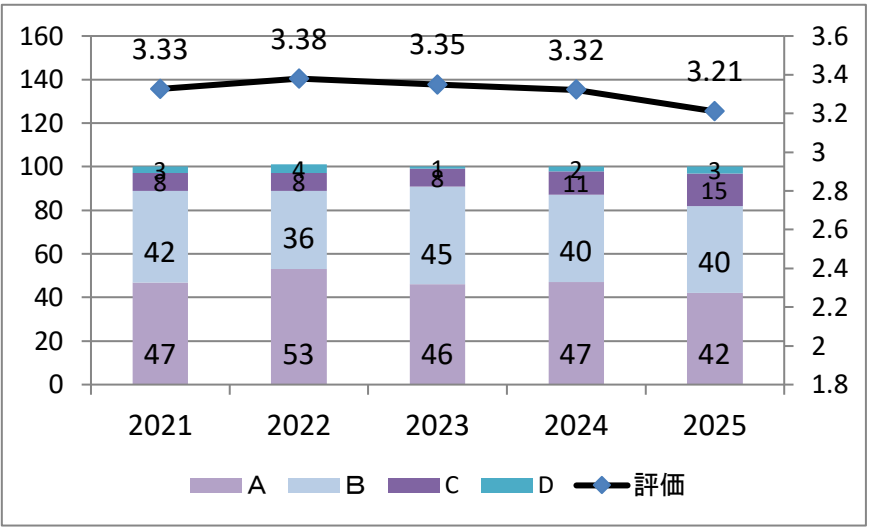
8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)



9 学習に関する保護者との連携(中学生対象)



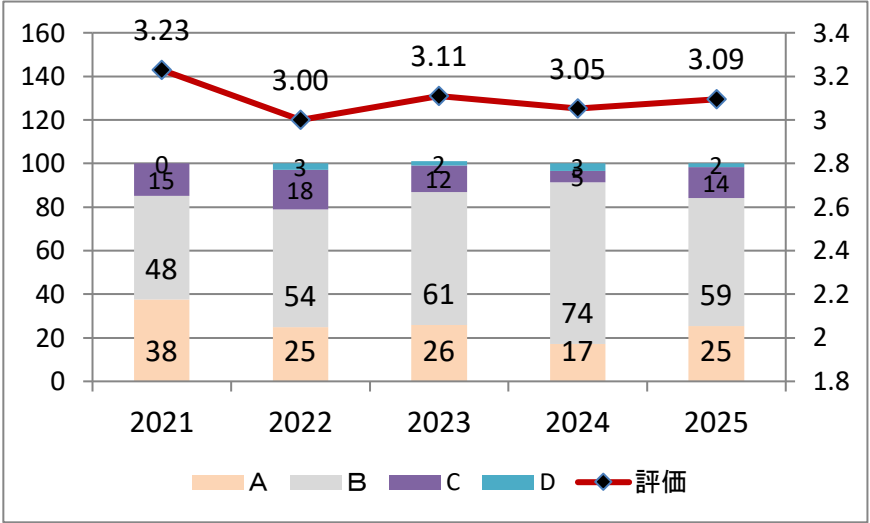
10 生徒指導における保護者との連携(中学生対象)



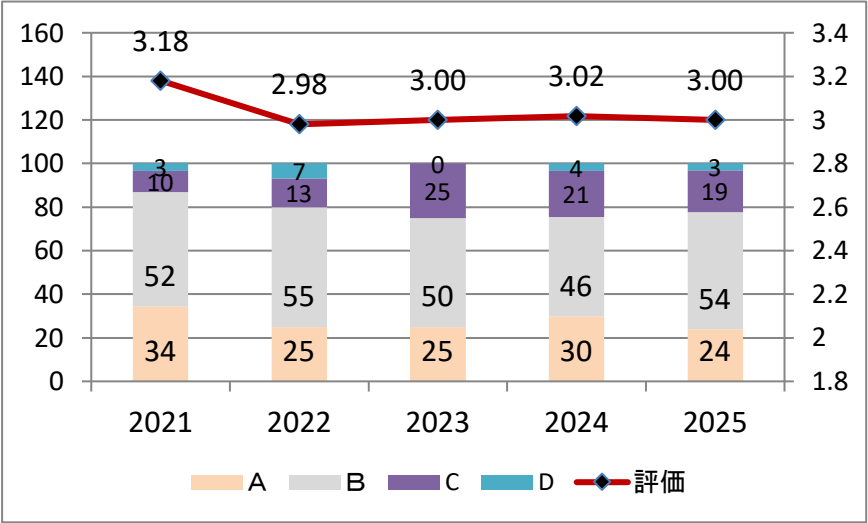
縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2021年～2025年）【グラフ ⑨】

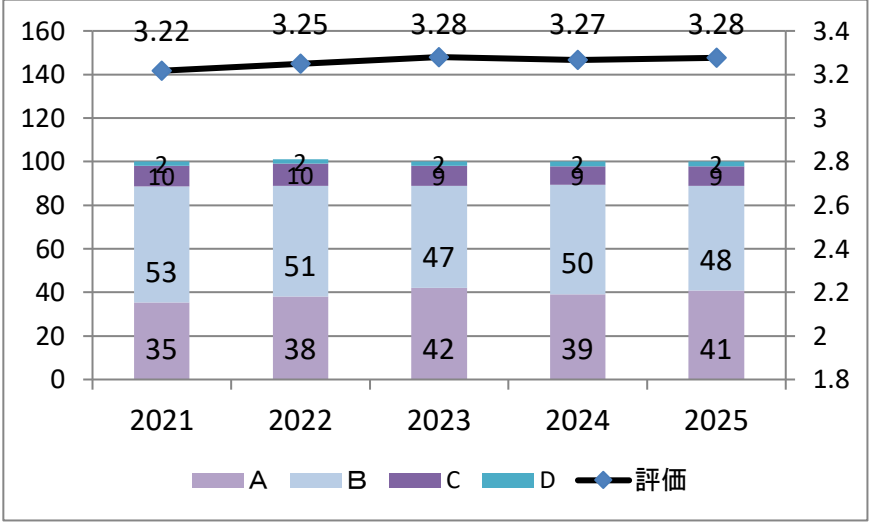
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員組織)



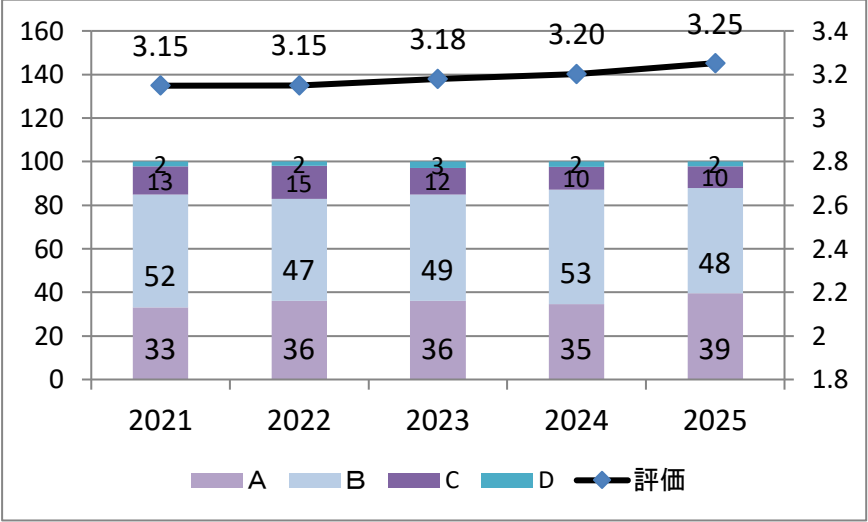
2 生徒指導方針の一貫性(教員組織)



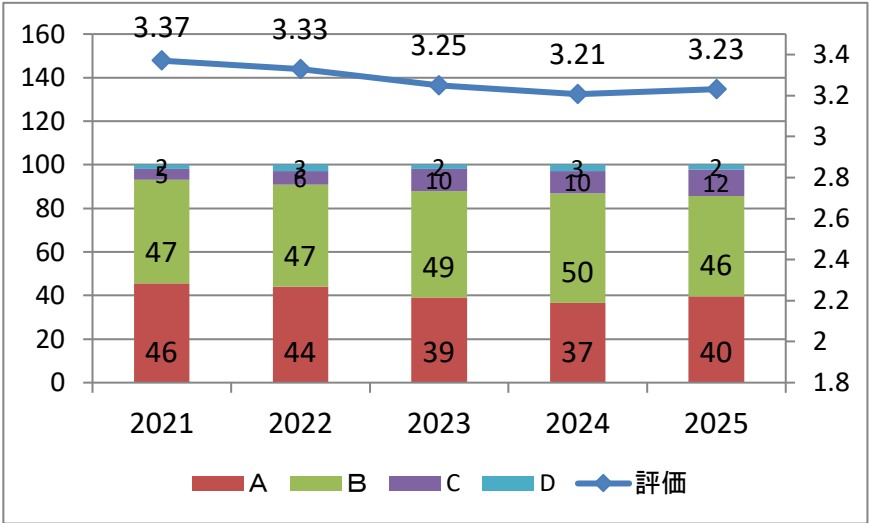
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



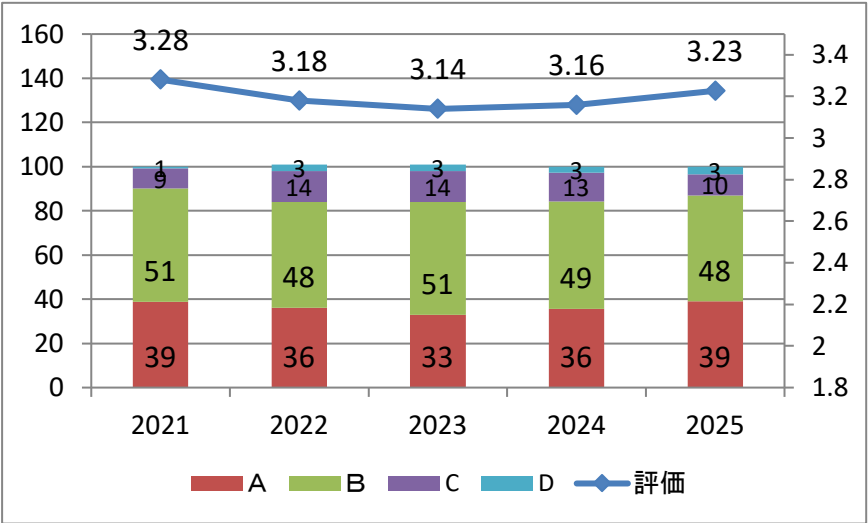
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



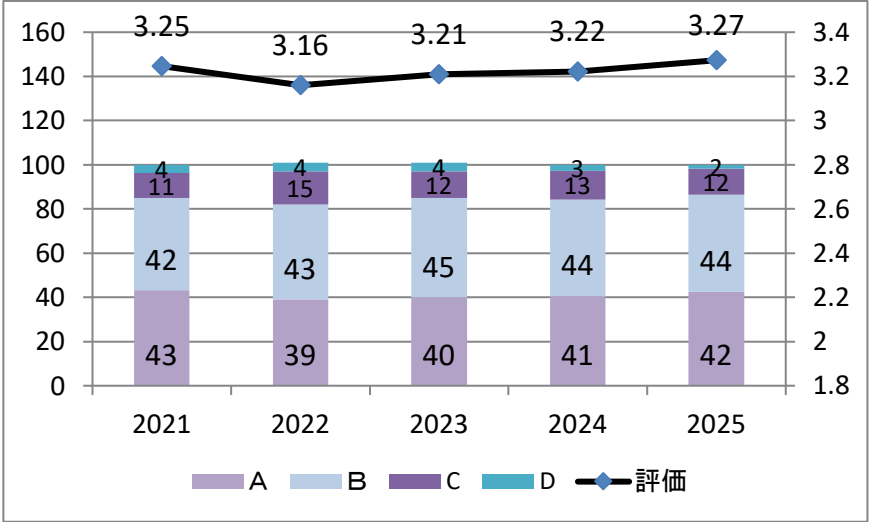
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



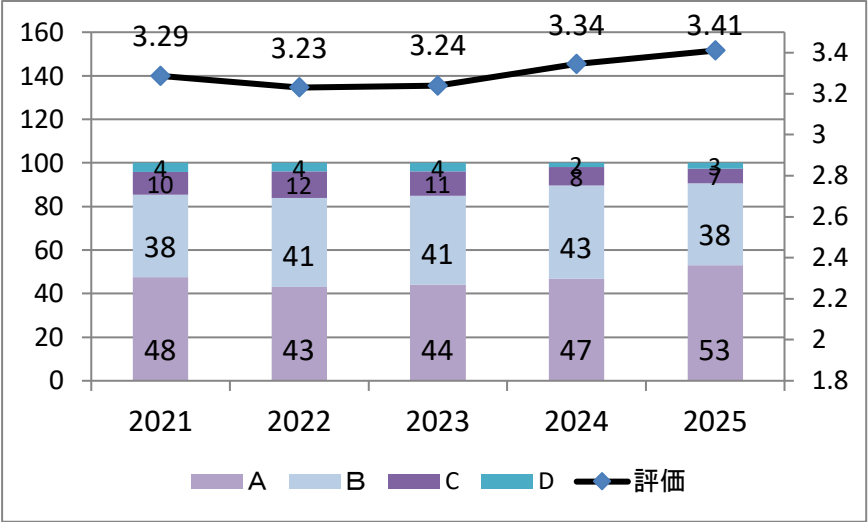
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



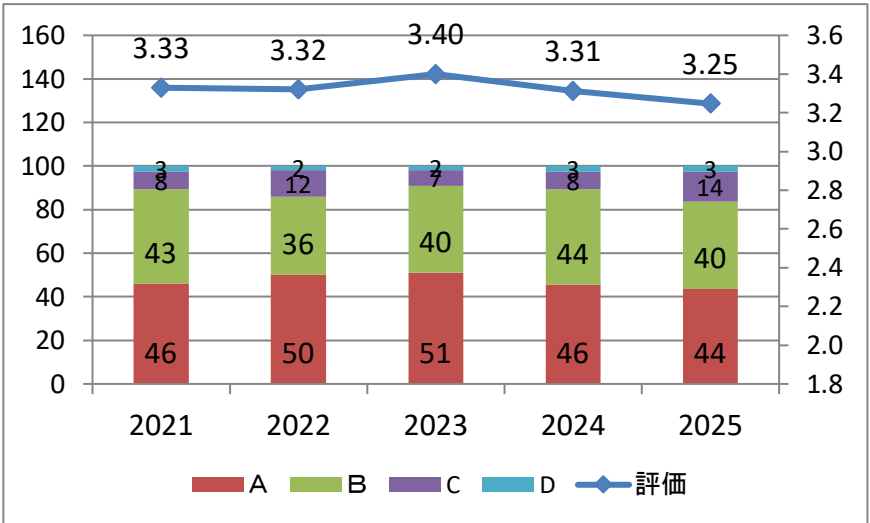
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



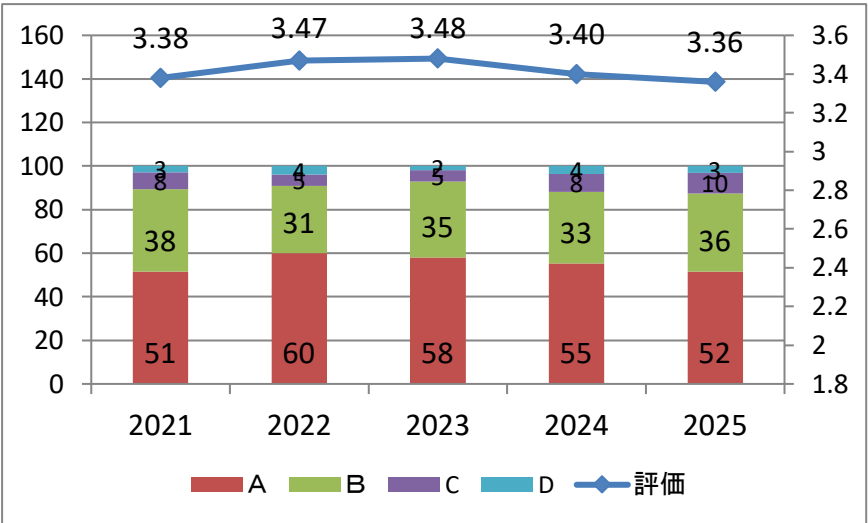
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)

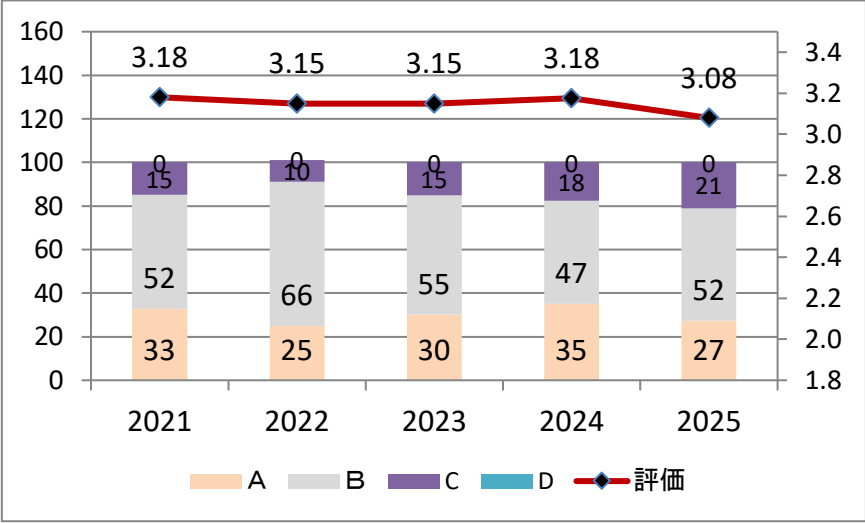
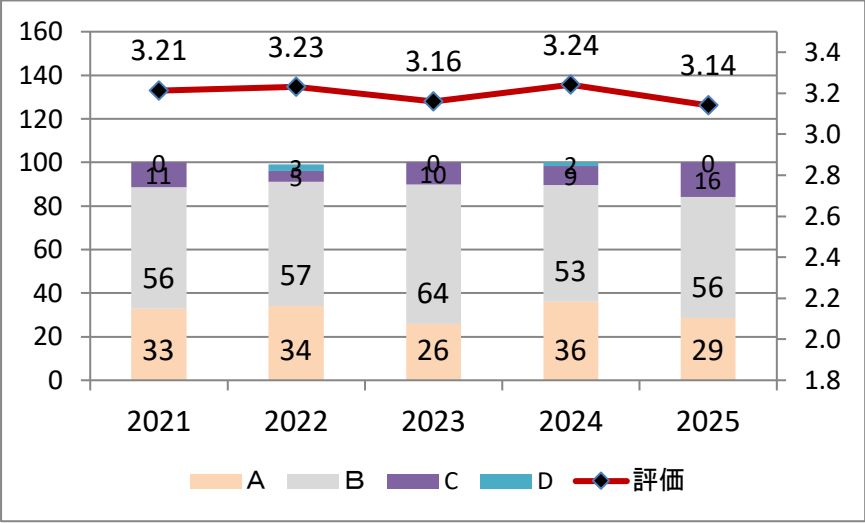


※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

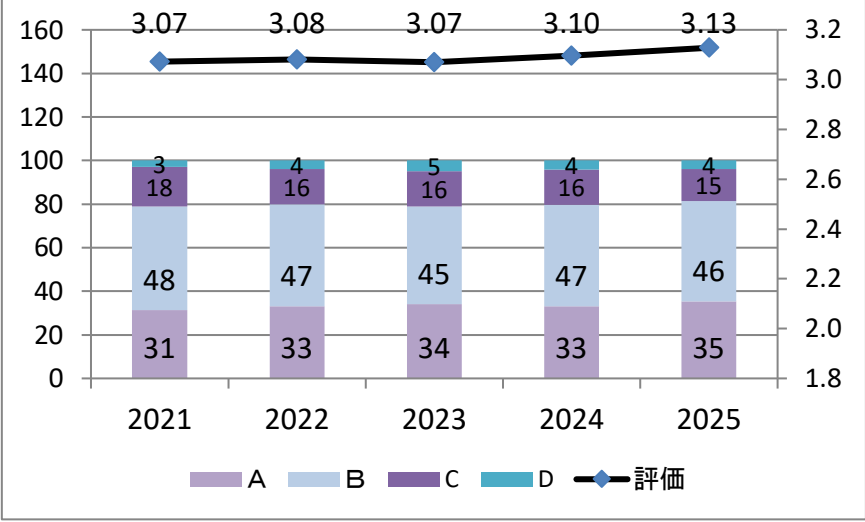
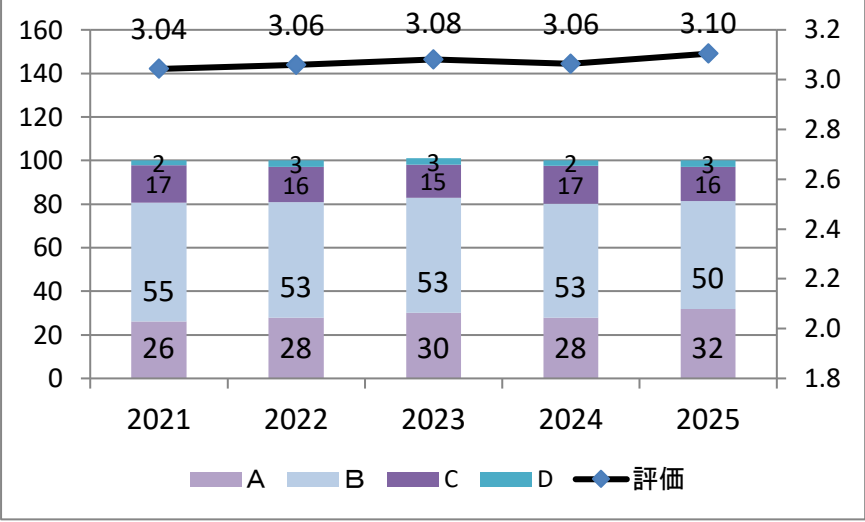
「進路指導体制」の推移（2021年～2025年）

【グラフ ⑩】

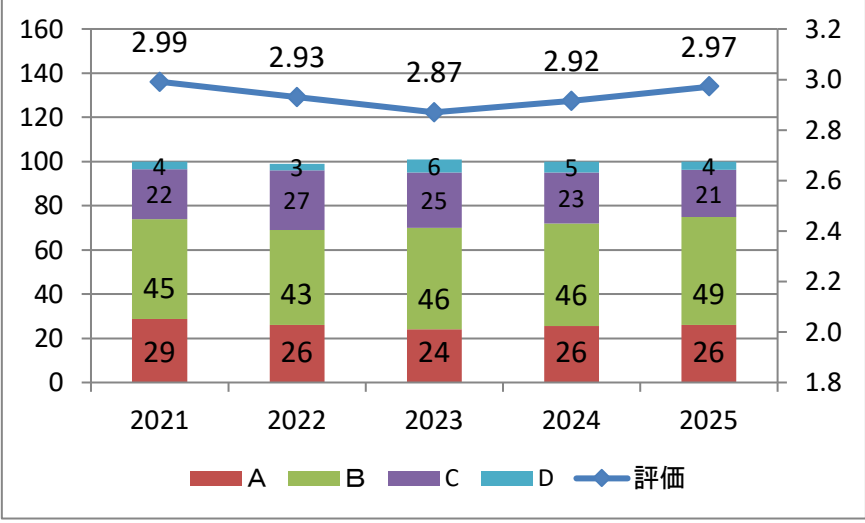
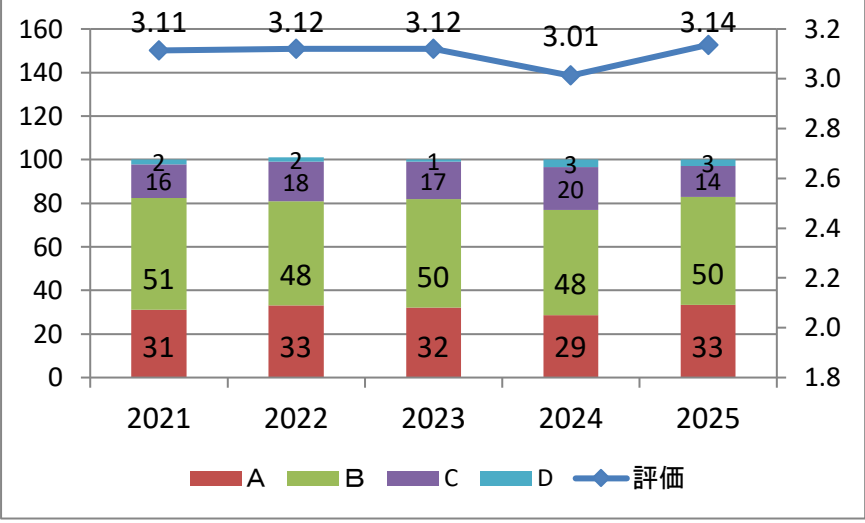
- 1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている(教員組織)
- 2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である(教員組織)



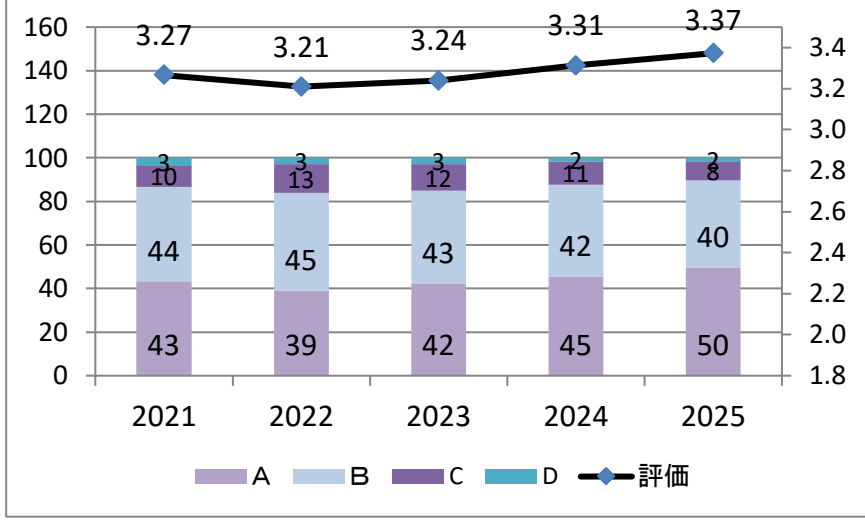
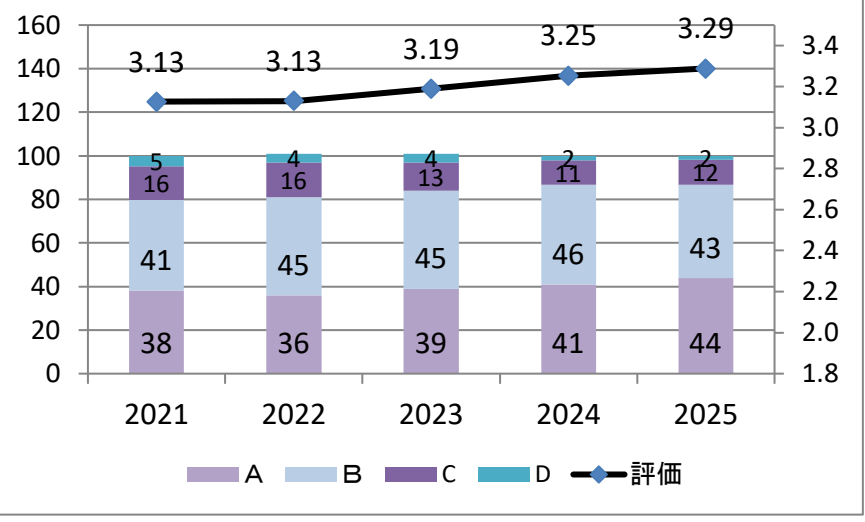
- 3 カウンセリングを受けられることを知っていますか(高校保護者対象)
- 4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(高校保護者対象)



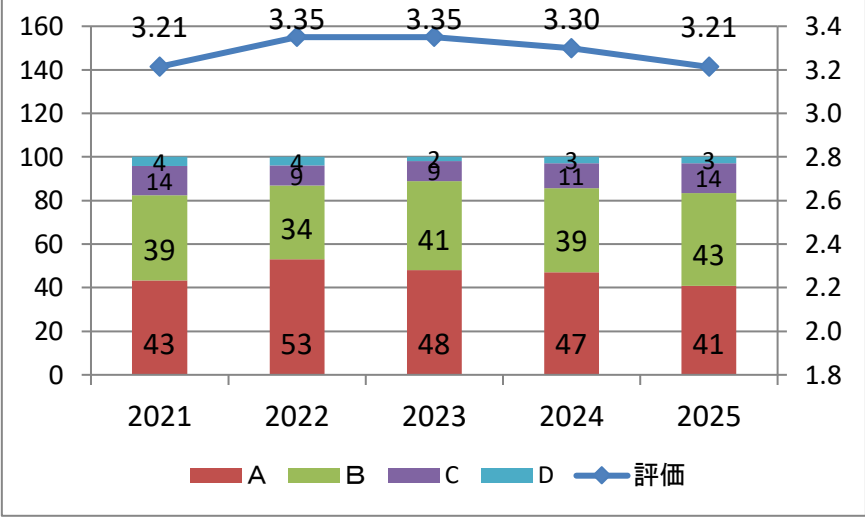
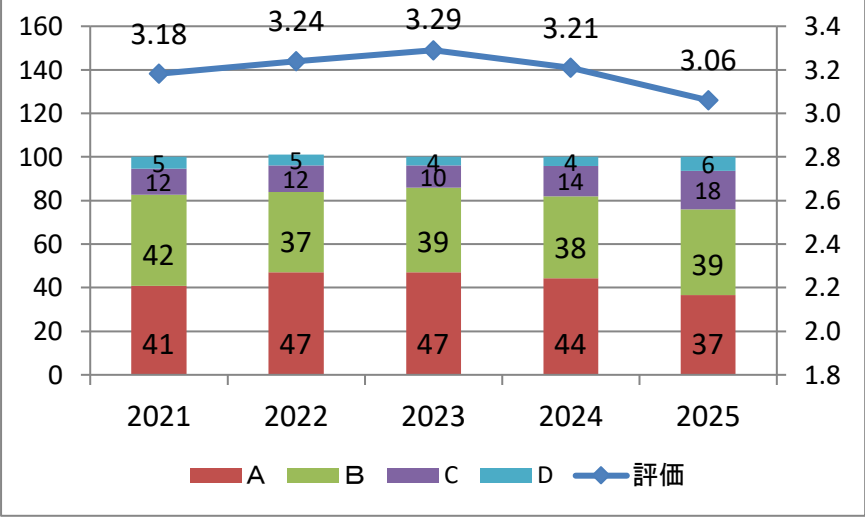
- 5 カウンセリングを受けられることを知っていますか(中学校保護者対象)
- 6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(中学校保護者対象)



- 7 カウンセリングを受けられることを知っていますか(高校生対象)
- 8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(高校生対象)



- 9 カウンセリングを受けられることを知っていますか(中学生対象)
- 10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか(中学生対象)

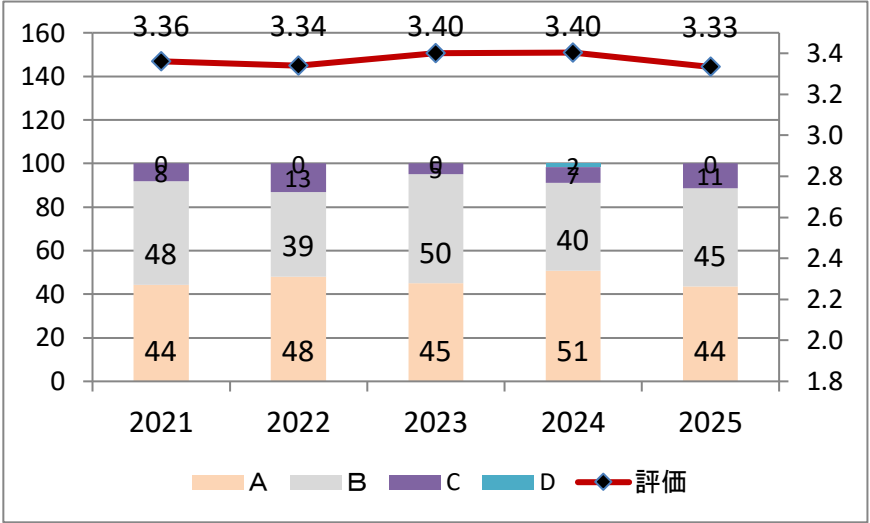


縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

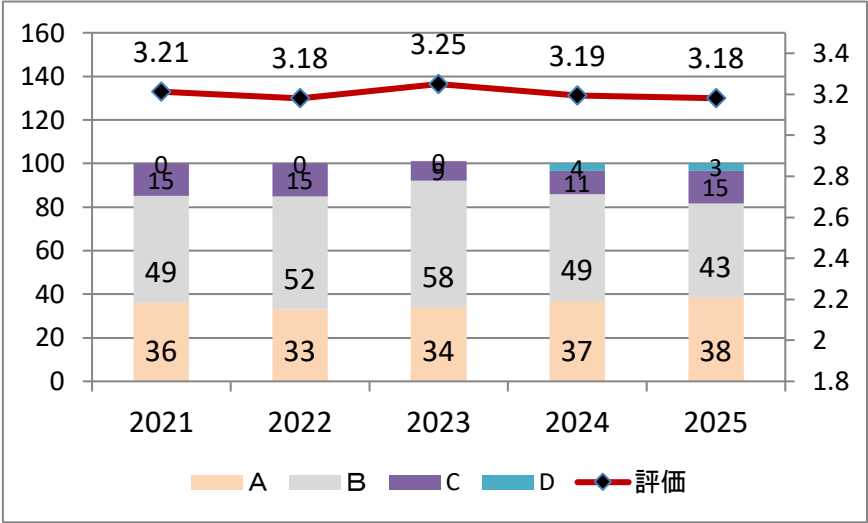
「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2021年～2025年）

【グラフ ⑪】

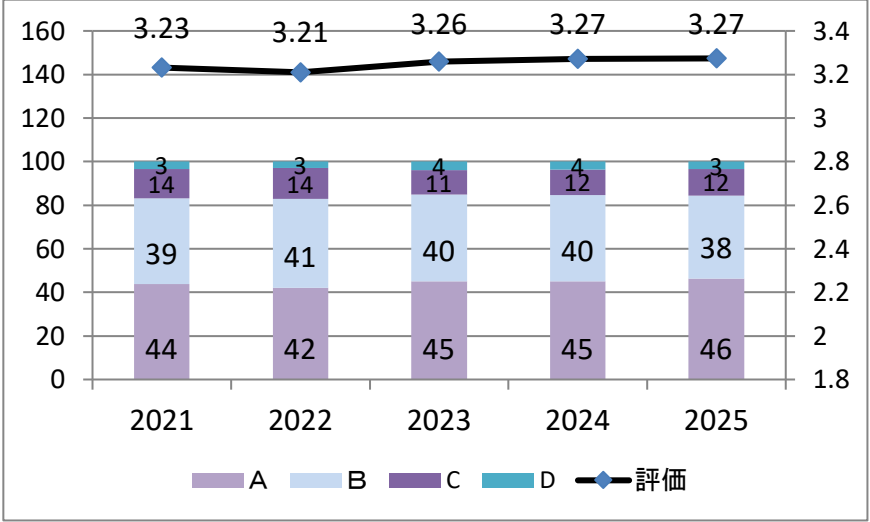
1 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(教員組織)



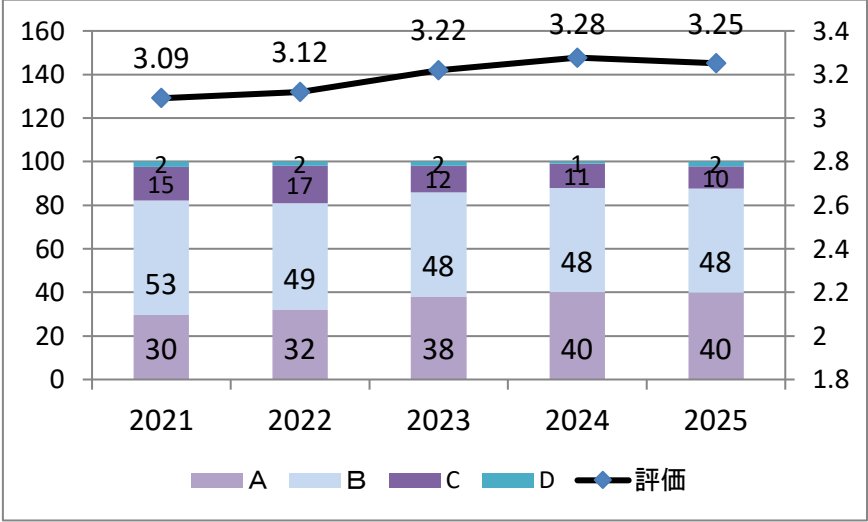
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員組織)



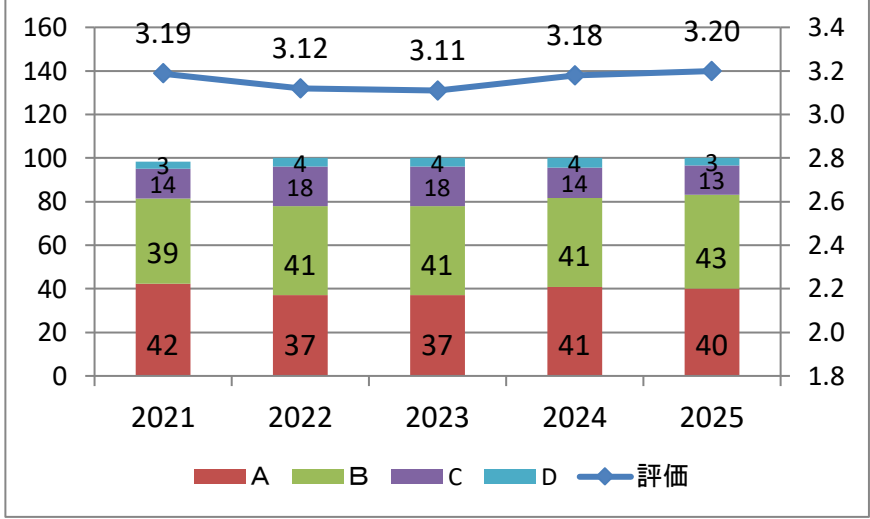
3 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援している(高校保護者対象)



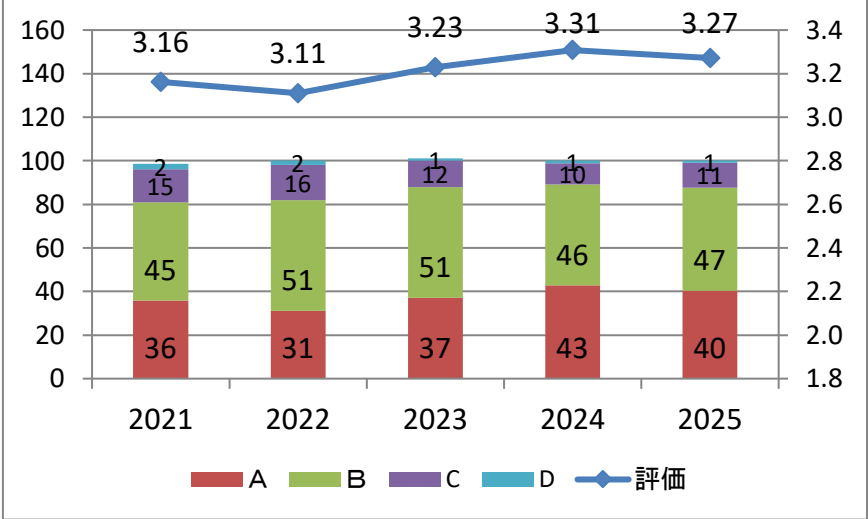
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



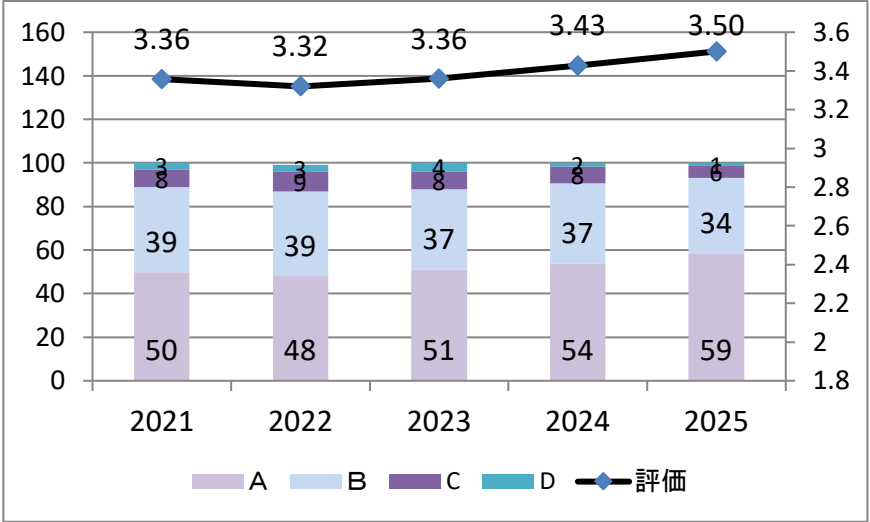
5 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



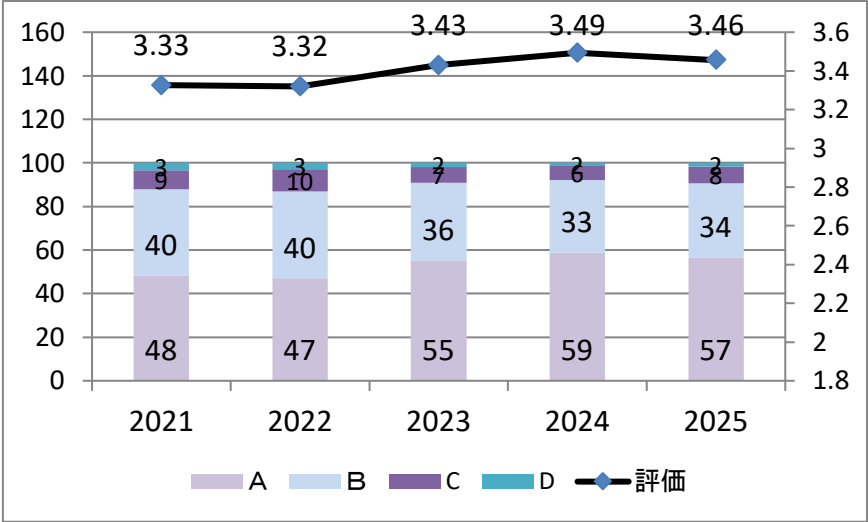
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



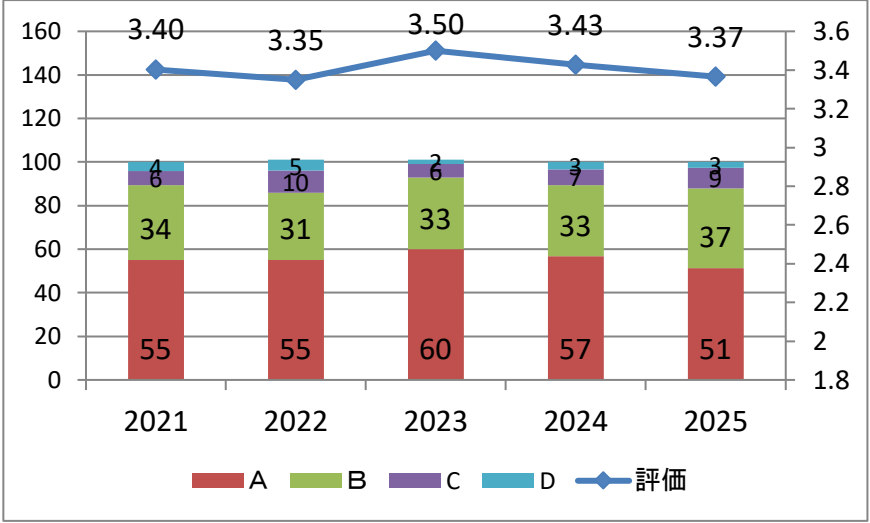
7 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



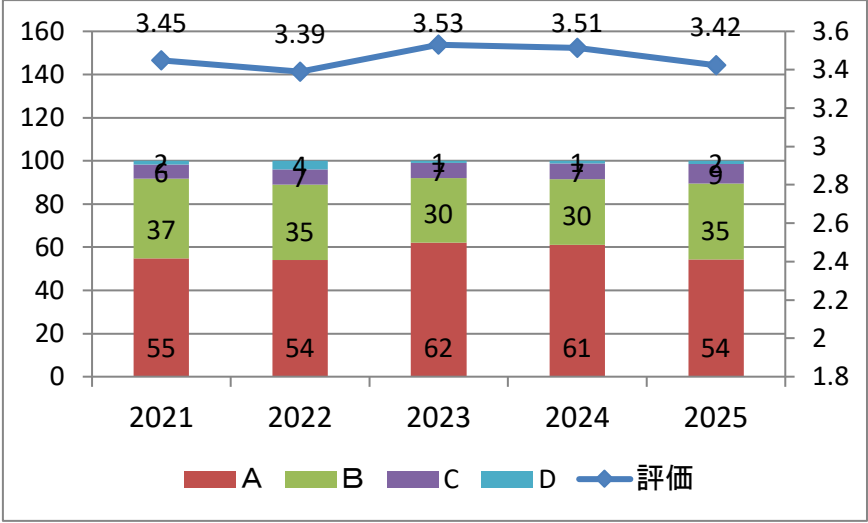
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できるよう学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。
$$\{4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})\} \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

分類	大項目	No.		小項目	設 問 30項目	評価	A	B	C	D
学校全般		○	1		本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	3.36	46.0	44.4	7.9	1.6
		○	2		本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	3.27	38.1	52.4	7.9	1.6
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	2.89	14.3	61.9	22.2	1.6
			4	合併の精神・併設校としての使命	関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。	3.13	31.7	50.8	15.9	1.6
	教職員間連携	○	5	管理職と教員、教職員同士の連携	管理職と教員あるいは教職員同士の間で信頼関係を築く努力がなされている。	2.83	19.0	49.2	25.4	6.3
			6	ミドルマネジメントによる組織運営	主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。	2.98	27.0	47.6	20.6	4.8
			7	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	3.00	28.6	44.4	23.8	3.2
			8	ハラスメントに関する研修	安心・安全な職場環境を形成するために、ハラスメントに対する注意喚起および定期的な研修が行われている。	2.80	19.0	44.4	31.7	4.8
	情報公開		9	ホームページの活用	本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。	2.91	25.4	41.3	30.2	3.2
	危機管理	○	10	初動対応	事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。	2.97	27.0	47.6	19.0	6.3
			11	避難訓練や安全対策	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	3.05	33.9	40.3	21.0	4.8
	地域との連携		12	地域連携の推進	自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。	2.48	15.9	33.3	34.9	15.9
教育内容	知 育	○	13	学力向上における組織的な取組	学力向上のための、組織的な取組を行っている。	2.86	14.3	57.1	27.0	1.6
		○	14	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	2.67	20.6	30.2	42.9	6.3
		○	15	保護者との連携	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	3.05	22.2	61.9	12.7	3.2
	徳 育	○	16	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、マナーやモラルを向上させる取組を行っている。	3.09	25.4	58.7	14.3	1.6
		○	17	いじめへの対応	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	3.06	28.6	49.2	20.6	1.6
			18	ボランティア活動の推進	生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。	2.83	23.8	42.9	27.0	6.3
	体 育	○	19	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	3.25	41.3	44.4	14.3	0.0
	人権教育		20	人権に対する指導体制	他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。	2.92	23.8	47.6	23.8	4.8
	学校間連携	○	21	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。	3.20	42.9	34.9	20.6	1.6
生徒支援	生徒指導		22	指導方針の一貫性	生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。	3.00	23.8	54.0	19.0	3.2
			23	組織的な指導体制・家庭との連携	生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。	2.98	23.8	49.2	27.0	0.0
	カウンセリング	○	24	カウンセリング体制	生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている。	3.14	28.6	55.6	15.9	0.0
	進路指導		25	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に行える体制ができています。	3.08	27.4	51.6	21.0	0.0
	生徒会活動		26	部活動支援状況	部活動を通じて生徒が成長できるよう学校全体で支援している。	3.33	43.5	45.2	11.3	0.0
			27	学校行事指導体制	学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるよう、学校と保護者が協力して支援している。	3.18	38.3	43.3	15.0	3.3
教員研修 資質向上	教員の研修活動	○	28	校内外における教員研修	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	2.68	18.0	41.0	31.1	9.8
			29	教員相互の資質向上体制	教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。	2.56	13.3	41.7	30.0	15.0
その他	国際化		30	国際理解	ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。	3.24	37.7	47.5	14.8	0.0

注: ○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%)

「評価」は評価基準(4段階)の平均

2025年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一人 関西大学北陽高等学校・中学校 【資料1-2】

分類	大項目	No.		設 問 25項目	評価	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。	3.19	34.4	51.6	12.5	1.6
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.38	46.9	45.3	6.3	1.6
	教育課程	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行なっている。	3.52	57.8	37.5	3.1	1.6
	教職員間連携	4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	3.22	42.2	40.6	14.1	3.1
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。	3.13	42.2	34.4	17.2	6.3
	危機管理	6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対して的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.38	50.8	38.1	9.5	1.6
	分掌と学年	7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.41	46.9	46.9	6.3	0.0
		8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.25	42.9	46.0	9.5	1.6
教育内容	知 育	9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.16	36.5	47.6	15.9	0.0
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.23	42.9	44.4	11.1	1.6
		11	模試や入試問題の活用	模擬試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	2.81	27.0	34.9	34.9	3.2
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.66	19.0	34.9	42.9	3.2
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	3.14	27.4	53.2	16.1	3.2
		14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.89	19.0	52.4	27.0	1.6
	徳 育	15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.27	43.8	40.6	14.1	1.6
	体 育	16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.33	42.2	48.4	9.4	0.0
	人権教育	17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互惠関係を築く努力をしている。	3.38	48.4	42.2	7.8	1.6
	学校間連携	18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対しての理解を深め、積極的に協力をしている。	3.19	42.2	39.1	14.1	4.7
生徒指導と支援	生徒指導	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができています。	3.19	29.7	60.9	7.8	1.6
		20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	3.25	35.9	54.7	7.8	1.6
	進路指導	21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	3.16	31.7	57.1	11.1	0.0
	生徒会指導	22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。	3.31	42.2	48.4	7.8	1.6
		23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.31	39.1	53.1	7.8	0.0
教員の 資質向上	教員研修	24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.83	19.0	47.6	30.2	3.2
		25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.81	16.1	54.8	22.6	6.5
その他	ICT教育	26	ICT教育の推進	iPadやロイロノートなどのICTツールを有効に活用している。	3.25	46.9	37.5	9.4	6.3

注：○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

3.18

学校評価(教員対象) ―「組織面の自己評価」の年次比較(過去4力年)―

【資料1-3】

			教員 組織面の自己評価																					
					2022年度					2023年度					2024年度					2025年度				
分類	大項目	小項目	NO.		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校 全般		学園生活	○	1	3.28	29.5	68.9	1.6	0.0	3.43	45.9	50.8	3.3	0.0	3.53	58.6	37.9	1.7	1.7	3.36	46.0	44.4	7.9	1.6
			○	2	3.07	13.1	80.3	6.6	0.0	3.13	16.4	80.3	3.3	0.0	3.26	31.0	65.5	1.7	1.7	3.27	38.1	52.4	7.9	1.6
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	○	3	2.79	8.2	65.6	23.0	3.3	2.84	13.1	59.0	26.2	1.6	2.84	13.8	60.3	22.4	3.4	2.89	14.3	61.9	22.2	1.6
		合併の精神・併設校としての使命		4	2.95	21.3	55.7	19.7	3.3	3.10	28.3	55.0	15.0	1.7	3.04	22.8	59.6	15.8	1.8	3.13	31.7	50.8	15.9	1.6
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画																						
	教職員間連携	管理職と教員、教職員同士の間の連携		5	2.75	13.1	57.4	21.3	8.2	2.78	13.3	56.7	25.0	5.0	2.68	10.5	56.1	24.6	8.8	2.83	19.0	49.2	25.4	6.3
		ミドルマネジメントの組織運営		6	2.80	18.0	49.2	27.9	4.9	2.92	21.7	51.7	23.3	3.3	2.77	15.8	54.4	21.1	8.8	2.98	27.0	47.6	20.6	4.8
		会議の有効性	○	7	2.84	14.8	55.7	27.9	1.6	2.93	26.2	45.9	23.0	4.9	2.81	20.7	48.3	22.4	8.6	3.00	28.6	44.4	23.8	3.2
		ハラスメントに関する研修		8	2.61	8.2	49.2	37.7	4.9	2.75	13.3	55.0	25.0	6.7	2.63	10.5	50.9	29.8	8.8	2.80	19.0	44.4	31.7	4.8
	情報公開	ホームページの活用	○	9	3.02	19.7	63.9	14.8	1.6	3.03	23.3	58.3	16.7	1.7	2.86	17.5	54.4	24.6	3.5	2.91	25.4	41.3	30.2	3.2
	危機管理	初動対応		10	3.02	29.5	47.5	18.0	4.9	2.97	26.7	48.3	20.0	5.0	2.82	19.3	50.9	22.8	7.0	2.97	27.0	47.6	19.0	6.3
		避難訓練や安全対策	○	11	3.34	44.3	45.9	9.8	0.0	3.25	42.6	39.3	18.0	0.0	3.22	36.2	51.7	10.3	1.7	3.05	33.9	40.3	21.0	4.8
	地域との連携	地域連携の推進		12	2.72	14.8	45.9	36.1	3.3	2.64	16.9	40.7	32.2	10.2	2.59	8.9	48.2	35.7	7.1	2.48	15.9	33.3	34.9	15.9
	分掌と学年	分掌における役割																						
学年における役割																								
教育内容	知 育	基礎学力の習得																						
		学力向上における組織的な取組	○	13	2.85	14.8	60.7	19.7	4.9	2.82	13.1	57.4	27.9	1.6	2.81	10.5	61.4	26.3	1.8	2.86	14.3	57.1	27.0	1.6
		模試や入試問題の活用																						
		スローラーナーへの対応	○	14	2.67	13.1	41.0	45.9	0.0	2.56	6.6	49.2	37.7	6.6	2.43	6.9	37.9	46.6	8.6	2.67	20.6	30.2	42.9	6.3
		授業評価の活用																						
	徳 育	保護者との連携	○	15	3.08	21.3	67.2	9.8	1.6	2.95	16.4	62.3	21.3	0.0	2.97	19.0	62.1	15.5	3.4	3.05	22.2	61.9	12.7	3.2
		社会規範の理解とモラルの醸成	○	16	3.00	24.6	54.1	18.0	3.3	3.11	26.2	60.7	11.5	1.6	3.05	17.2	74.1	5.2	3.4	3.09	25.4	58.7	14.3	1.6
		いじめへの対応		17	3.13	27.9	60.7	8.2	3.3	3.02	23.0	55.7	21.3	0.0	3.07	25.9	60.3	8.6	5.2	3.06	28.6	49.2	20.6	1.6
		ボランティア活動の推進		18	2.97	32.8	34.4	29.5	3.3	2.93	26.7	41.7	30.0	1.7	2.79	15.8	52.6	26.3	5.3	2.83	23.8	42.9	27.0	6.3
	体 育	健康な身体づくり	○	19	3.36	41.0	54.1	4.9	0.0	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0	3.17	32.8	53.4	12.1	1.7	3.25	41.3	44.4	14.3	0.0
	人権教育	人権に対する指導体制		20	3.10	21.7	66.7	11.7	0.0	3.02	26.7	50.0	21.7	1.7	2.84	14.0	63.2	15.8	7.0	2.92	23.8	47.6	23.8	4.8
学校間連携	中高大連携事業の実践	○	21	3.23	39.3	47.5	9.8	3.3	3.20	36.1	47.5	16.4	0.0	3.26	46.6	36.2	13.8	3.4	3.20	42.9	34.9	20.6	1.6	
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性		22	2.98	25.0	55.0	13.3	6.7	3.00	25.0	50.0	25.0	0.0	3.02	29.8	45.6	21.1	3.5	3.00	23.8	54.0	19.0	3.2
		家庭との連携状況・組織的な指導体制		23	2.93	21.3	57.4	14.8	6.6	2.92	21.7	51.7	23.3	3.3	2.88	25.0	42.9	26.8	5.4	2.98	23.8	49.2	27.0	0.0
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制	○	24	3.23	34.4	57.4	4.9	3.3	3.16	26.2	63.9	9.8	0.0	3.24	36.2	53.4	8.6	1.7	3.14	28.6	55.6	15.9	0.0
		進路指導		25	3.15	24.6	65.6	9.8	0.0	3.15	30.0	55.0	15.0	0.0	3.18	35.1	47.4	17.5	0.0	3.08	27.4	51.6	21.0	0.0
	生徒会活動	部活動支援状況		26	3.34	47.5	39.3	13.1	0.0	3.40	45.0	50.0	5.0	0.0	3.40	50.9	40.4	7.0	1.8	3.33	43.5	45.2	11.3	0.0
		学校行事指導体制		27	3.18	33.3	51.7	15.0	0.0	3.25	33.9	57.6	8.5	0.0	3.19	36.8	49.1	10.5	3.5	3.18	38.3	43.3	15.0	3.3
教員の 資質向 上	教員の研修活動	校内外における教員研修	○	28	2.88	16.7	60.0	18.3	5.0	2.62	11.7	48.3	30.0	10.0	2.74	17.2	48.3	25.9	8.6	2.68	18.0	41.0	31.1	9.8
		教員相互の資質向上体制		29	2.57	10.0	45.0	36.7	8.3	2.46	6.8	45.8	33.9	13.6	2.6	14	38.6	40.4	7.02	2.56	13.3	41.7	30.0	15.0
その他	国際化	国際理解		30	2.80	16.9	47.5	33.9	1.7	3.07	35.6	42.4	15.3	6.8	3.11	32.7	49.1	14.5	3.6	3.24	37.7	47.5	14.8	0.0

2.99

2.99

2.96

2.99

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

学校評価(教員対象) ―「個人面の自己評価」の年次比較(過去4力年)― 【資料1-4】

			教員 個人面の自己評価																				
				2022年度					2023年度					2024年度					2025年度				
分類	大項目	小項目		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校全般		学園生活																					
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	1	3.16	21.7	63.3	15.0	0.0	3.03	23.0	59.0	16.4	1.6	3.09	25.9	56.9	17.2	0.0	3.19	34.4	51.6	12.5	1.6
		合併の精神・併設校としての使命	2	3.31	39.3	55.7	1.6	3.3	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0	3.48	51.7	44.8	3.4	0.0	3.38	46.9	45.3	6.3	1.6
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画	3	3.46	50.8	44.3	4.9	0.0	3.48	47.5	52.5	0.0	0.0	3.41	46.6	48.3	5.2	0.0	3.52	57.8	37.5	3.1	1.6
	教職員間連携	教員間連携	4	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6	3.23	36.1	54.1	6.6	3.3	3.16	33.3	50.9	14.0	1.8	3.22	42.2	40.6	14.1	3.1
		管理職と教員との連携	5	3.16	29.5	60.7	6.6	3.3	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6	3.16	40.4	42.1	10.5	7.0	3.13	42.2	34.4	17.2	6.3
		会議の有効性																					
	情報公開	ホームページの活用																					
	危機管理	初動対応	6	3.37	43.3	51.7	3.3	1.7	3.25	37.7	49.2	13.1	0.0	3.37	49.1	40.4	8.8	1.8	3.38	50.8	38.1	9.5	1.6
		避難訓練や安全対策																					
	地域との連携	地域連携の推進																					
分掌と学年	分掌における役割	7	3.39	50.8	41.0	4.9	3.3	3.48	50.8	45.9	3.3	0.0	3.47	53.4	41.4	3.4	1.7	3.41	46.9	46.9	6.3	0.0	
	学年における役割	8	3.28	37.7	52.5	9.8	0.0	3.25	36.1	52.5	11.5	0.0	3.28	36.8	54.4	8.8	0.0	3.25	42.9	46.0	9.5	1.6	
教育内容	知 育	基礎学力の習得	9	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6	3.12	28.1	57.9	12.3	1.8	3.16	36.5	47.6	15.9	0.0
		学力向上における組織的な取組	10	3.23	36.1	50.8	13.1	0.0	3.34	41.0	52.5	6.6	0.0	3.37	49.1	40.4	8.8	1.8	3.23	42.9	44.4	11.1	1.6
		模試や入試問題の活用	11	2.87	21.3	47.5	27.9	3.3	2.92	24.6	47.5	23.0	4.9	2.93	31.0	36.2	27.6	5.2	2.81	27.0	34.9	34.9	3.2
		スローラーナーへの対応	12	2.52	9.8	39.3	44.3	6.6	2.51	8.2	42.6	41.0	8.2	2.47	12.3	35.1	40.4	12.3	2.66	19.0	34.9	42.9	3.2
		授業評価の活用	13	2.92	18.0	57.4	23.0	1.6	2.92	19.7	55.7	21.3	3.3	2.90	15.5	63.8	15.5	5.2	3.14	27.4	53.2	16.1	3.2
		保護者との連携	14	2.93	21.3	57.4	14.8	6.6	2.72	11.5	54.1	29.5	4.9	2.86	24.1	43.1	27.6	5.2	2.89	19.0	52.4	27.0	1.6
	徳 育	社会規範の理解とモラルの醸成	15	3.25	34.4	55.7	9.8	0.0	3.31	37.7	57.4	3.3	1.6	3.26	34.5	58.6	5.2	1.7	3.27	43.8	40.6	14.1	1.6
		いじめへの対応																					
		ボランティア活動の推進																					
	体 育	健康な身体づくり	16	3.28	44.3	39.3	16.4	0.0	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6	3.28	36.2	55.2	8.6	0.0	3.33	42.2	48.4	9.4	0.0
	人権教育	人権に対する指導体制	17	3.23	37.7	49.2	11.5	1.6	3.28	41.0	47.5	9.8	1.6	3.12	27.6	58.6	12.1	1.7	3.38	48.4	42.2	7.8	1.6
	学校間連携	中高大連携事業の実践	18	3.15	31.1	54.1	13.1	1.6	3.20	37.7	45.9	14.8	1.6	3.23	36.8	52.6	7.0	3.5	3.19	42.2	39.1	14.1	4.7
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性	19	3.31	37.7	57.4	3.3	1.6	3.23	32.8	59.0	6.6	1.6	3.07	19.0	70.7	8.6	1.7	3.19	29.7	60.9	7.8	1.6
		家庭との連携状況	20	3.13	34.4	47.5	14.8	3.3	3.11	27.9	57.4	13.1	1.6	3.05	24.6	59.6	12.3	3.5	3.25	35.9	54.7	7.8	1.6
組織的な指導体制																							
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制																					
	進路指導	進路指導体制	21	3.18	27.9	62.3	9.8	0.0	3.11	26.2	60.7	11.5	1.6	3.07	27.6	55.2	13.8	3.4	3.16	31.7	57.1	11.1	0.0
	生徒会活動	部活動支援状況	22	3.26	41.0	45.9	11.5	1.6	3.36	45.9	44.3	9.8	0.0	3.39	47.4	43.9	8.8	0.0	3.31	42.2	48.4	7.8	1.6
		学校行事指導体制	23	3.28	36.1	57.4	4.9	1.6	3.36	45.9	45.9	6.6	1.6	3.35	42.1	52.6	3.5	1.8	3.31	39.1	53.1	7.8	0.0
教員の資質向上	教員研修	教員研修体制	24	2.93	27.9	42.6	24.6	4.9	2.69	11.5	50.8	32.8	4.9	2.78	19.0	43.1	34.5	3.4	2.83	19.0	47.6	30.2	3.2
		教員相互の援助体制	25	2.67	16.7	41.7	33.3	8.3	2.59	11.5	47.5	29.5	11.5	2.75	15.8	49.1	29.8	5.3	2.81	16.1	54.8	22.6	6.5
その他	ICT教育	ICT教育の推進	26	3.05	31.7	46.7	16.7	5.0	3.28	45.9	39.3	11.5	3.3	3.34	48.2	37.5	14.3	0.0	3.25	46.9	37.5	9.4	6.3
				3.14					3.14					3.14					3.18				

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4): と思う B(3): どちらかといえばと思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2025年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート ―高中別― 【資料2①】

		設 問（保護者対象） 20項目	高等学校					中学校				
			評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われますか。	3.46	58.2	32.1	7.5	2.2	3.45	58.1	32.3	6.2	3.4
2		保護者として、この学校に入学させて良かったと思われますか。	3.51	60.4	30.8	7.6	1.1	3.41	55.3	32.6	9.9	2.2
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	3.14	31.8	52.7	12.9	2.6	3.22	36.8	49.8	12.5	0.9
4	HPの活用	本校のホームページは、教育活動を知るために有効だと思われますか。	3.22	40.0	45.0	12.3	2.7	3.20	38.2	45.7	14.6	1.6
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思われますか。	3.08	32.9	47.3	14.8	4.9	3.16	36.1	48.9	10.3	4.7
6	避難訓練や安全対策	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われますか。	3.02	27.3	51.7	16.4	4.6	3.09	29.0	55.5	12.5	3.1
7	学力向上における組織的な取組	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われますか。	3.13	34.9	46.9	15.0	3.2	3.11	36.9	41.3	17.5	4.4
8	スローラーナーへの対応	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われますか。	2.89	22.8	49.2	22.0	6.0	2.87	28.1	40.0	22.5	9.4
9	保護者との連携	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われますか。	3.21	39.0	45.8	12.5	2.7	3.20	39.5	44.8	12.0	3.7
10	社会規範の理解とモラルの醸成	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われますか。	3.28	40.8	48.2	8.9	2.1	3.23	39.7	45.9	12.2	2.2
11	いじめへの対応	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われますか。	3.15	31.6	53.4	13.1	2.0	3.17	34.3	51.7	10.6	3.4
12	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われますか。	3.37	47.8	42.3	8.6	1.2	3.36	44.3	47.7	7.7	0.3
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われますか。	3.43	52.6	39.1	7.3	1.0	3.36	50.9	36.6	10.2	2.2
14	指導方針の一貫性	学校としての明確な方針のもとで生徒指導が行われていると思われますか。	3.25	39.5	48.4	10.0	2.1	3.23	39.0	48.0	9.6	3.4
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思われますか。	3.06	30.1	48.2	18.8	2.8	2.99	29.3	44.8	21.6	4.3
16	カウンセリング体制	子供に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いますか。	3.10	31.8	49.7	15.6	2.9	3.14	33.4	49.5	14.2	2.8
17	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現するために、きめ細かな進路指導が行われていると思われますか。	3.13	35.4	46.0	14.7	4.0	2.97	26.1	48.8	21.4	3.7
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の心身の成長が図られるよう学校全体で支援していると思われますか。	3.27	46.3	38.2	12.2	3.3	3.20	40.2	42.9	13.5	3.4
19	学校行事指導体制	学校行事に対して生徒が積極的に活動できるよう、学校と保護者が協力して取り組んでいると思われますか。	3.25	39.7	47.9	10.1	2.2	3.27	40.4	47.2	11.4	0.9
20	教員研修体制	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われますか。	3.10	31.2	50.3	16.2	2.3	3.08	30.5	50.8	15.3	3.4
21	事務室の対応	本校の事務室の対応（窓口・電話）は適切であり、誠意をもって対応していると思われますか。	3.42	50.2	42.1	5.4	2.3	3.31	44.3	46.1	6.2	3.4
22	家庭への連絡体制	メール配信やホームページなどで学校の情報が家庭へ適切に伝えられている。	3.44	52.3	40.4	6.3	1.1	3.38	49.7	40.0	8.4	1.9

評価平均	2025年度	3.22	3.20
	2024年度	3.18	3.17
	2023年度	3.19	3.17
	2022年度	3.18	3.20
	2021年度	3.15	3.25

2025年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) 一過去4力年比較― 【資料2-1】

				高等学校																				
				2022年度					2023年度					2024年度					2025年度					
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.41	53.2	36.5	8.1	2.3	3.44	55.6	34.7	7.8	1.9	3.43	56.6	32.9	8.1	2.3	3.46	58.2	32.1	7.5	2.2
		○	2		3.42	54.0	35.5	8.8	1.7	3.45	56.4	34.2	7.1	2.3	3.48	57.4	34.7	6.5	1.3	3.51	60.4	30.8	7.6	1.1
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	3.13	29.2	55.7	13.6	1.5	3.10	28.8	55.4	13.5	2.3	3.11	29.9	53.9	13.9	2.3	3.14	31.8	52.7	12.9	2.6
	情報公開	○	4	HPの活用	3.16	35.1	48.2	14.9	1.8	3.14	35.1	47.3	15.0	2.6	3.09	31.3	51.6	13.5	3.6	3.22	40.0	45.0	12.3	2.7
	危機管理		5	初動対応	3.16	33.2	52.1	12.1	2.6	3.11	31.9	49.9	15.5	2.7	3.06	30.2	51.1	14.4	4.4	3.08	32.9	47.3	14.8	4.9
		○	6	避難訓練や安全対策	3.12	29.0	55.6	13.9	1.5	3.11	29.7	53.5	14.3	2.4	3.08	26.0	58.3	13.3	2.4	3.02	27.3	51.7	16.4	4.6
教育内容	知 育	○	7	学力向上における組織的な取組	3.08	32.0	47.7	16.9	3.3	3.06	31.2	48.4	16.0	4.5	3.05	30.4	48.5	17.0	4.1	3.13	34.9	46.9	15.0	3.2
		○	8	スローラーナーへの対応	2.85	22.0	46.8	25.3	5.8	2.83	21.0	47.9	24.4	6.7	2.78	19.2	47.1	26.4	7.3	2.89	22.8	49.2	22.0	6.0
		○	9	保護者との連携	3.18	37.4	46.3	12.9	3.4	3.17	37.7	44.3	14.8	3.2	3.19	37.6	46.8	13.3	2.3	3.21	39.0	45.8	12.5	2.7
	徳 育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.25	37.5	51.2	9.7	1.6	3.28	42.0	46.6	9.4	2.1	3.26	39.2	50.2	8.5	2.1	3.28	40.8	48.2	8.9	2.1
		○	11	いじめへの対応	3.16	31.9	53.9	12.3	1.9	3.12	29.7	55.4	12.4	2.5	3.09	28.6	54.8	13.6	3.0	3.15	31.6	53.4	13.1	2.0
	体 育	○	12	健康な身体づくり	3.30	41.9	47.5	9.6	1.0	3.32	42.5	47.9	8.4	1.2	3.32	42.8	48.1	8.1	1.1	3.37	47.8	42.3	8.6	1.2
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.29	43.4	44.6	10.1	2.0	3.37	49.2	40.5	9.2	1.1	3.39	49.6	41.5	7.1	1.7	3.43	52.6	39.1	7.3	1.0
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	3.15	35.8	46.8	15.1	2.4	3.18	36.1	48.5	12.3	3.1	3.19	34.7	52.5	10.4	2.4	3.25	39.5	48.4	10.0	2.1
			15	家庭との連携状況	3.00	28.3	47.3	20.2	4.1	2.98	27.0	48.6	19.8	4.7	2.97	27.0	47.0	21.9	4.1	3.06	30.1	48.2	18.8	2.8
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	3.06	28.3	52.9	16.2	2.6	3.08	29.5	52.6	14.6	3.3	3.05	27.8	52.5	17.3	2.4	3.10	31.8	49.7	15.6	2.9
	進路指導		17	進路指導体制	3.08	32.7	47.0	16.2	4.1	3.07	33.6	44.8	16.4	5.2	3.08	33.1	46.7	16.2	4.1	3.13	35.4	46.0	14.7	4.0
	生徒会活動		18	部活動支援状況	3.21	41.7	41.4	13.6	3.3	3.26	45.2	39.9	11.3	3.7	3.26	45.1	39.6	11.7	3.5	3.27	46.3	38.2	12.2	3.3
			19	学校行事指導体制	3.12	32.2	49.3	16.5	2.1	3.22	38.1	47.9	11.8	2.2	3.27	40.0	47.8	11.2	1.0	3.25	39.7	47.9	10.1	2.2
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	3.06	26.8	55.4	15.2	2.7	3.02	27.6	50.6	18.4	3.4	3.05	28.2	51.7	17.0	3.1	3.10	31.2	50.3	16.2	2.3
その他	窓口対応		21	事務室の対応	3.38	46.9	46.4	5.2	1.5	3.43	53.2	39.0	5.7	2.2	3.38	47.6	45.6	4.9	1.9	3.42	50.2	42.1	5.4	2.3
			22	家庭への連絡体制	3.40	49.1	42.9	6.8	1.2	3.41	51.4	39.7	7.3	1.6	3.39	50.9	39.7	8.1	1.3	3.44	52.3	40.4	6.3	1.1

注：○は併設校共通項目 3.18 3.19 3.18 3.22

評価基準について A: と思う B: どちらかといえばと思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2025年度 学校評価 自己点検・評価項目

保護者対象アンケート(中学校)

ー過去4カ年比較ー

【資料2-2】

中学校																								
					2022年度				2023年度					2024年度					2025年度					
分類	大項目	NO		小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.35	49.0	39.5	8.6	2.9	3.41	52.1	38.1	8.2	1.5	3.47	55.0	38.1	5.7	1.3	3.45	58.1	32.3	6.2	3.4
		○	2		3.39	52.4	35.1	11.2	1.3	3.35	48.0	40.7	9.4	1.8	3.36	48.9	40.1	8.8	2.2	3.41	55.3	32.6	9.9	2.2
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	3.21	34.0	54.8	9.0	2.2	3.15	32.0	52.4	14.9	0.6	3.24	36.1	53.6	8.5	1.9	3.22	36.8	49.8	12.5	0.9
	情報公開	○	4	HPの活用	3.23	38.5	47.1	12.7	1.6	3.26	39.8	47.7	10.6	1.8	3.18	36.9	45.9	15.6	1.6	3.20	38.2	45.7	14.6	1.6
	危機管理		5	初動対応	3.20	38.7	46.0	12.5	2.9	3.22	40.7	42.9	14.0	2.4	3.10	34.3	47.2	13.5	5.0	3.16	36.1	48.9	10.3	4.7
		○	6	避難訓練や安全対策	3.23	35.1	53.4	10.9	0.6	3.16	31.3	54.7	12.8	1.2	3.15	33.5	50.5	13.5	2.5	3.09	29.0	55.5	12.5	3.1
教育内容	知 育	○	7	学力向上における組織的な取組	3.15	39.2	40.4	16.6	3.8	3.10	36.2	40.7	19.8	3.3	3.12	35.8	44.3	15.7	4.1	3.11	36.9	41.3	17.5	4.4
		○	8	スローラーナーへの対応	2.88	26.2	42.8	23.3	7.7	2.87	25.9	42.7	25.0	6.4	2.82	25.6	41.0	24.6	8.8	2.87	28.1	40.0	22.5	9.4
		○	9	保護者との連携	3.25	41.4	44.9	11.1	2.5	3.13	36.5	43.8	16.4	3.3	3.08	33.5	44.8	18.2	3.4	3.20	39.5	44.8	12.0	3.7
	徳 育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.33	44.1	47.0	6.4	2.6	3.25	38.9	49.2	10.0	1.8	3.21	36.7	50.2	10.3	2.8	3.23	39.7	45.9	12.2	2.2
		○	11	いじめへの対応	3.13	35.4	47.1	12.7	4.8	3.02	26.2	53.7	16.5	3.7	3.10	30.7	52.2	13.9	3.2	3.17	34.3	51.7	10.6	3.4
	体 育	○	12	健康な身体づくり	3.35	45.0	46.3	7.7	1.0	3.40	48.5	44.5	5.8	1.2	3.37	45.7	46.7	6.6	0.9	3.36	44.3	47.7	7.7	0.3
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.19	38.7	43.1	16.6	1.6	3.29	44.4	41.3	13.1	1.2	3.30	45.9	40.5	11.7	1.9	3.36	50.9	36.6	10.2	2.2
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	3.18	36.3	47.5	13.7	2.5	3.14	33.1	50.5	13.7	2.7	3.16	35.5	48.7	12.9	2.8	3.23	39.0	48.0	9.6	3.4
			15	家庭との連携状況	3.09	35.8	39.9	21.7	2.6	2.96	27.4	46.6	21.3	4.6	2.94	25.3	49.7	19.6	5.4	2.99	29.3	44.8	21.6	4.3
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	3.12	32.9	47.9	17.6	1.6	3.12	32.0	49.7	17.4	0.9	3.01	28.7	48.3	19.6	3.5	3.14	33.4	49.5	14.2	2.8
	進路指導		17	進路指導体制	2.93	26.4	43.3	27.1	3.2	2.87	23.5	46.0	24.7	5.8	2.92	25.6	46.4	23.0	5.0	2.97	26.1	48.8	21.4	3.7
	生徒会活動		18	部活動支援状況	3.12	37.4	41.0	17.7	3.9	3.11	37.1	40.7	18.2	4.0	3.18	40.8	40.8	13.9	4.4	3.20	40.2	42.9	13.5	3.4
			19	学校行事指導体制	3.11	31.3	50.5	16.3	1.9	3.23	36.5	51.1	11.6	0.9	3.31	42.9	46.3	9.5	1.3	3.27	40.4	47.2	11.4	0.9
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	3.10	31.8	47.5	19.1	1.6	3.03	25.6	54.0	18.3	2.1	3.05	29.3	51.6	15.3	3.8	3.08	30.5	50.8	15.3	3.4
その他	窓口対応		21	事務室の対応	3.32	44.9	45.2	8.3	1.6	3.36	48.6	41.9	6.1	3.3	3.30	46.0	43.2	7.6	3.2	3.31	44.3	46.1	6.2	3.4
			22	家庭への連絡体制	3.51	58.3	35.4	5.7	0.6	3.40	50.2	41.3	7.0	1.5	3.31	47.6	41.7	7.5	3.3	3.38	49.7	40.0	8.4	1.9
注：○は併設校共通項目					3.20	3.17					3.17					3.20								

評価基準について

A: と思う B: どちらかといえばと思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2025年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート ―高中別― 【資料2②】

			高等学校全体					中学校全体				
	小項目	設 問（生徒対象） 20項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	学校生活は楽しいと感じていますか。	3.52	62.0	30.0	6.2	1.7	3.51	60.4	32.9	3.6	3.0
2		この学校に入学して良かったと思いますか。	3.35	49.5	38.7	9.2	2.6	3.43	53.6	37.9	6.7	1.8
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針を理解していますか。	3.02	30.4	45.8	19.5	4.3	2.98	29.0	46.8	16.9	7.3
4	HPの活用	本校のホームページは、学校行事などの必要な情報がタイムリーに更新されていますか。	3.28	44.5	41.0	12.7	1.8	3.18	37.7	44.6	15.7	2.1
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思いますか。	3.12	38.5	40.6	15.5	5.4	3.23	42.0	41.1	14.1	2.7
6	避難訓練や安全対策	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	3.39	50.8	39.1	8.5	1.6	3.42	53.2	37.8	7.3	1.8
7	学力向上における組織的な取組	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	3.23	40.3	45.7	11.2	2.8	3.25	41.1	45.3	10.5	3.0
8	スローラーナーへの対応	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	3.07	35.0	41.8	18.6	4.6	3.22	43.2	38.7	14.4	3.6
9	保護者との連携	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	3.22	43.7	38.4	13.6	4.3	3.35	50.2	36.9	10.2	2.7
10	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	3.27	42.5	44.1	11.7	1.7	3.25	43.7	40.1	13.6	2.7
11	いじめへの対応	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	3.23	43.6	39.2	14.1	3.1	3.13	40.5	37.8	15.3	6.3
12	健康な身体づくり	基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	3.44	54.1	37.7	6.9	1.4	3.45	54.7	37.2	6.9	1.2
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	3.50	60.8	29.7	8.1	1.3	3.53	63.6	26.5	9.0	0.9
14	指導方針の一貫性	守るべき学校のルールやマナーについて、よくわかるように説明と指導を受けていますか。	3.41	53.0	37.5	6.9	2.5	3.36	51.7	35.6	9.7	3.0
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思いますか。	3.26	44.2	40.0	13.6	2.1	3.21	42.2	39.8	15.1	3.0
16	カウンセリング体制	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていますか。	3.29	43.8	43.0	11.5	1.7	3.06	36.6	39.3	17.8	6.3
17	進路指導体制	生徒一人ひとりの進路を実現させるために、きめ細かな進路指導を行っていると思いますか。	3.37	49.5	40.2	8.3	2.0	3.21	40.8	42.6	13.5	3.0
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の成長が図られるよう学校全体で支援していると思いますか。	3.50	58.6	34.5	5.5	1.5	3.37	51.4	36.6	9.3	2.7
19	学校行事指導体制	学園祭などの学校行事に対して、生徒が積極的に活動できるように配慮していると感じますか。	3.46	56.6	34.0	7.8	1.6	3.42	54.4	35.1	9.0	1.5
20	校内外における教員研修	工夫された授業やおもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	3.10	35.2	44.6	15.7	4.5	3.21	45.3	35.7	13.2	5.7
21	国際理解	ネイティブとの授業(オンライン学習含む)、語学研修等により、国際理解を深める機会がありますか。	3.42	53.5	36.3	8.4	1.8	3.25	45.4	37.5	13.4	3.7

評価平均	2025年度	3.31	3.29
	2024年度	3.26	3.36
	2023年度	3.23	3.42
	2022年度	3.17	3.37
	2021年度	3.22	3.35

2025年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） ―3カ年の推移―

【資料2-3】

				2023年度					学年別評価			2024年度					学年別評価			2025年度					学年別評価			
分類	大項目	NO		小項目	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.43	54.6	36.3	6.8	2.4	3.38	3.42	3.49	3.49	58.9	32.5	7.2	1.4	3.43	3.46	3.59	3.52	62.0	30.0	6.2	1.7	3.50	3.47	3.60
		○	2		3.19	40.3	42.8	12.8	4.2	3.15	3.06	3.38	3.27	43.4	42.5	11.5	2.6	3.14	3.24	3.44	3.35	49.5	38.7	9.2	2.6	3.31	3.22	3.53
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	2.97	26.7	48.9	19.1	5.3	2.92	2.89	3.12	2.91	24.5	47.2	23.0	5.4	2.89	2.82	3.02	3.02	30.4	45.8	19.5	4.3	3.02	2.92	3.14
	情報公開	○	4	HPの活用	3.20	39.5	44.6	12.8	3.1	3.25	3.14	3.20	3.17	38.1	44.0	14.9	3.0	3.13	3.15	3.24	3.28	44.5	41.0	12.7	1.8	3.24	3.23	3.38
	危機管理		5	初動対応	3.20	39.4	45.0	12.4	3.2	3.25	3.15	3.19	3.18	38.5	44.8	13.2	3.6	3.22	3.15	3.17	3.12	38.5	40.6	15.5	5.4	3.10	3.07	3.20
			6	避難訓練や安全対策	3.35	48.2	40.8	8.4	2.6	3.39	3.30	3.34	3.41	51.6	39.1	7.8	1.4	3.41	3.42	3.39	3.39	50.8	39.1	8.5	1.6	3.35	3.34	3.49
教育内容	知 育	○	7	学力向上における組織的な取組	3.07	31.3	48.4	16.0	4.3	3.05	2.96	3.20	3.15	36.2	45.9	15.0	2.9	3.09	3.10	3.26	3.23	40.3	45.7	11.2	2.8	3.22	3.12	3.39
		○	8	スローラーナーへの対応	2.96	29.7	42.1	22.4	5.8	2.93	2.80	3.16	2.98	30.2	42.6	21.9	5.3	2.95	2.98	3.00	3.07	35.0	41.8	18.6	4.6	3.09	2.96	3.18
		○	9	保護者との連携	3.19	42.2	38.9	15.1	3.8	3.21	3.10	3.26	3.22	42.5	39.9	14.5	3.2	3.24	3.21	3.19	3.22	43.7	38.4	13.6	4.3	3.27	3.15	3.23
	徳 育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.21	39.9	45.1	11.5	3.5	3.27	3.16	3.21	3.22	40.6	43.8	13.0	2.7	3.27	3.20	3.19	3.27	42.5	44.1	11.7	1.7	3.29	3.18	3.36
		○	11	いじめへの対応	3.12	37.4	42.6	14.6	5.4	3.17	3.04	3.16	3.16	38.7	42.0	15.9	3.4	3.21	3.07	3.20	3.23	43.6	39.2	14.1	3.1	3.27	3.16	3.27
	体 育	○	12	健康な身体づくり	3.35	47.0	42.5	8.5	2.0	3.43	3.30	3.30	3.41	51.9	38.1	8.8	1.2	3.41	3.37	3.45	3.44	54.1	37.7	6.9	1.4	3.49	3.33	3.52
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.39	52.8	36.1	8.7	2.4	3.44	3.40	3.33	3.44	56.0	33.7	9.1	1.3	3.45	3.43	3.45	3.50	60.8	29.7	8.1	1.3	3.51	3.46	3.54
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	3.24	44.0	40.5	11.4	4.1	3.34	3.15	3.24	3.34	46.9	42.7	8.4	2.0	3.39	3.29	3.34	3.41	53.0	37.5	6.9	2.5	3.44	3.29	3.52
			15	家庭との連携状況	3.16	39.8	40.2	16.5	3.5	3.18	3.07	3.24	3.18	37.6	44.9	15.3	2.2	3.22	3.12	3.19	3.26	44.2	40.0	13.6	2.1	3.29	3.15	3.36
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	3.19	38.7	45.1	12.5	3.8	3.22	3.17	3.17	3.25	40.9	46.0	11.2	2.0	3.30	3.21	3.24	3.29	43.8	43.0	11.5	1.7	3.29	3.20	3.38
	進路指導		17	進路指導体制	3.24	42.1	43.3	11.5	3.1	3.31	3.15	3.27	3.31	45.3	42.3	10.8	1.6	3.29	3.30	3.35	3.37	49.5	40.2	8.3	2.0	3.39	3.26	3.49
	生徒会活動		18	部活動支援状況	3.36	51.2	37.3	7.8	3.7	3.39	3.35	3.34	3.43	53.7	36.9	7.7	1.7	3.44	3.42	3.43	3.50	58.6	34.5	5.5	1.5	3.49	3.47	3.55
			19	学校行事指導体制	3.43	54.6	36.0	7.3	2.1	3.48	3.41	3.39	3.49	58.8	33.3	6.4	1.5	3.50	3.51	3.46	3.46	56.6	34.0	7.8	1.6	3.51	3.39	3.48
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	2.97	31.0	41.9	20.5	6.5	2.98	2.82	3.13	3.01	32.3	41.6	21.4	4.7	3.02	2.96	3.05	3.10	35.2	44.6	15.7	4.5	3.05	3.01	3.27
その他	国際理解		21	国際理解を深める機会	3.51	60.9	31.7	5.1	2.3	3.58	3.44	3.52	3.35	49.0	39.5	8.8	2.7	3.19	3.43	3.45	3.42	53.5	36.3	8.4	1.8	3.23	3.44	3.58

注：○は併設校共通項目

評価基準について A(4): と思う B(3): どちらかといえばと思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2025年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) ―3カ年の推移―

【資料2-4】

				2023年度(全学年)					学年別評価			2024年度(全学年)					学年別評価			2025年度(全学年)					学年別評価			
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	
学校生活	満足度	○	1	学園生活	3.52	62.7	28.3	6.9	2.0	3.52	3.64	3.39	3.58	66.0	27.8	4.1	2.1	3.44	3.59	3.70	3.51	60.4	32.9	3.6	3.0	3.55	3.44	3.53
		○	2		3.42	55.2	32.9	10.1	1.7	3.48	3.49	3.28	3.48	58.0	33.4	7.1	1.5	3.38	3.46	3.60	3.43	53.6	37.9	6.7	1.8	3.54	3.44	3.33
学校運営	私学の独自性	○	3	教育方針・教育目標	3.11	33.7	48.0	13.7	4.7	3.12	3.18	3.03	3.06	35.1	44.0	13.7	7.1	2.91	2.98	3.32	2.98	29.0	46.8	16.9	7.3	3.10	2.90	2.93
	情報公開	○	4	HPの活用	3.36	49.1	40.2	8.7	2.0	3.33	3.55	3.24	3.31	45.2	41.4	12.2	1.2	3.19	3.25	3.49	3.18	37.7	44.6	15.7	2.1	3.33	3.12	3.09
	危機管理		5	初動対応	3.39	52.6	35.3	10.7	1.4	3.43	3.50	3.25	3.31	47.9	37.5	12.5	2.1	3.21	3.25	3.49	3.23	42.0	41.1	14.1	2.7	3.36	3.18	3.15
		○	6	避難訓練や安全対策	3.53	60.3	32.8	6.4	0.6	3.46	3.63	3.50	3.41	54.9	32.6	10.7	1.8	3.31	3.38	3.53	3.42	53.2	37.8	7.3	1.8	3.49	3.39	3.39
教育内容	知 育	○	7	学力向上における組織的な取組	3.34	49.9	38.6	7.8	3.8	3.27	3.49	3.29	3.33	48.1	38.6	11.6	1.8	3.25	3.23	3.52	3.25	41.1	45.3	10.5	3.0	3.23	3.31	3.21
		○	8	スローラーナーへの対応	3.38	53.3	34.2	9.9	2.6	3.46	3.46	3.23	3.31	47.8	37.1	13.1	2.1	3.07	3.33	3.50	3.22	43.2	38.7	14.4	3.6	3.27	3.17	3.21
		○	9	保護者との連携	3.37	51.2	36.7	10.4	1.7	3.28	3.58	3.29	3.36	53.9	32.4	11.0	2.7	3.18	3.28	3.65	3.35	50.2	36.9	10.2	2.7	3.42	3.32	3.30
	徳 育	○	10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.40	51.2	39.6	7.2	2.0	3.38	3.51	3.32	3.31	45.5	43.8	8.0	2.7	3.26	3.20	3.49	3.25	43.7	40.1	13.6	2.7	3.33	3.21	3.21
		○	11	いじめへの対応	3.32	48.6	37.0	11.8	2.6	3.23	3.51	3.23	3.25	44.8	39.2	12.5	3.6	3.15	3.11	3.51	3.13	40.5	37.8	15.3	6.3	3.26	3.05	3.08
	体 育	○	12	健康な身体づくり	3.56	61.2	33.9	4.3	0.6	3.58	3.67	3.43	3.51	60.3	31.9	7.5	0.3	3.31	3.55	3.67	3.45	54.7	37.2	6.9	1.2	3.55	3.41	3.38
	学校間連携	○	13	中高大連携事業の実践	3.60	66.2	27.5	6.1	0.3	3.59	3.73	3.48	3.54	64.8	26.9	6.2	2.1	3.51	3.46	3.68	3.53	63.6	26.5	9.0	0.9	3.56	3.56	3.47
生徒指導・生徒支援	生徒指導		14	指導方針の一貫性	3.48	57.7	35.1	5.2	2.0	3.50	3.60	3.35	3.40	55.4	32.7	8.3	3.6	3.28	3.41	3.50	3.36	51.7	35.6	9.7	3.0	3.46	3.32	3.30
			15	家庭との連携状況	3.35	45.7	44.8	8.4	1.2	3.25	3.43	3.38	3.32	47.0	40.2	10.7	2.1	3.20	3.27	3.50	3.21	42.2	39.8	15.1	3.0	3.26	3.12	3.25
	カウンセリング	○	16	カウンセリング体制	3.29	47.0	39.1	10.1	3.8	3.12	3.51	3.28	3.21	44.2	37.7	13.9	4.2	2.93	3.25	3.45	3.06	36.6	39.3	17.8	6.3	3.25	2.88	3.06
	進路指導		17	進路指導体制	3.35	47.8	41.2	9.0	2.0	3.33	3.50	3.24	3.30	47.2	38.6	11.3	3.0	3.00	3.33	3.57	3.21	40.8	42.6	13.5	3.0	3.23	3.14	3.26
	生徒会活動		18	部活動支援状況	3.50	59.5	32.7	6.1	1.7	3.45	3.57	3.49	3.43	56.7	32.6	7.4	3.3	3.35	3.32	3.63	3.37	51.4	36.6	9.3	2.7	3.38	3.40	3.32
			19	学校行事指導体制	3.53	61.7	30.1	7.2	0.9	3.60	3.63	3.35	3.51	61.1	30.3	7.4	1.2	3.38	3.49	3.68	3.42	54.4	35.1	9.0	1.5	3.46	3.39	3.42
教員研修	教員の研修活動	○	20	教員研修体制	3.42	55.2	33.5	9.0	2.3	3.46	3.57	3.23	3.31	49.6	34.3	13.7	2.4	3.06	3.34	3.53	3.21	45.3	35.7	13.2	5.7	3.36	3.00	3.26
その他	国際理解		21	国際理解を深める機会	3.62	68.5	25.6	5.1	0.9	3.56	3.73	3.57	3.26	47.6	34.3	14.5	3.6	2.83	3.32	3.62	3.25	45.4	37.5	13.4	3.7	2.97	3.41	3.35

注：○は併設校共通項目

評価基準について 4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: どちらかといえばそう思わない 1: そう思わない

2025年度 授業評価分析資料(教科別)

2025年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-1】

設問\評価	国 語					社 会					数 学					理 科					英 語				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.47	3.52	3.51	3.65	3.64	3.64	3.56	3.55	3.70	3.75	3.48	3.51	3.44	3.46	3.49	3.57	3.58	3.49	3.58	3.58	3.53	3.49	3.53	3.58	3.59
1	3.74	76.3%	21.8%	1.7%	0.3%	3.86	86.7%	12.5%	0.8%	0.0%	3.61	66.3%	29.3%	3.5%	0.9%	3.70	72.8%	24.8%	1.6%	0.8%	3.70	72.7%	24.8%	2.1%	0.4%
2	3.72	75.5%	21.3%	2.7%	0.4%	3.86	86.7%	12.1%	1.2%	0.0%	3.59	67.1%	26.6%	4.4%	1.9%	3.68	73.4%	22.4%	3.0%	1.2%	3.68	71.4%	25.7%	2.6%	0.3%
3	3.46	58.5%	30.1%	10.2%	1.2%	3.52	62.9%	28.1%	7.3%	1.7%	3.27	45.9%	37.7%	13.9%	2.5%	3.36	53.2%	32.1%	12.1%	2.6%	3.40	52.6%	36.8%	8.8%	1.8%
授業評価	3.57	3.69	3.56	3.70	3.71	3.75	3.71	3.61	3.72	3.62	3.64	3.66	3.57	3.67	3.60	3.61	3.71	3.71	3.61	3.76	3.67	3.69	3.67	3.69	3.65
4	3.76	79.6%	17.0%	2.9%	0.5%	3.82	84.6%	13.3%	1.7%	0.4%	3.63	70.1%	25.5%	2.1%	2.4%	3.83	86.5%	10.9%	2.2%	0.4%	3.75	79.3%	17.3%	2.4%	1.0%
5	3.73	77.2%	19.3%	2.6%	0.9%	3.87	87.9%	11.5%	0.6%	0.0%	3.67	72.1%	24.4%	2.1%	1.4%	3.81	83.1%	15.7%	0.8%	0.4%	3.69	74.8%	20.8%	3.3%	1.1%
6	3.65	73.2%	19.8%	5.4%	1.6%	3.82	84.0%	14.6%	1.0%	0.4%	3.54	65.3%	25.5%	6.8%	2.4%	3.73	77.8%	18.1%	3.0%	1.0%	3.59	69.1%	23.4%	4.7%	2.8%
7	3.64	73.5%	19.8%	4.1%	2.6%	3.79	81.3%	16.7%	1.7%	0.2%	3.54	66.4%	24.6%	6.0%	3.0%	3.76	79.8%	16.7%	2.6%	0.8%	3.64	74.4%	17.8%	5.2%	2.6%
8	3.76	79.8%	17.2%	2.2%	0.8%	3.82	84.0%	14.0%	1.9%	0.0%	3.67	72.6%	22.8%	3.3%	1.3%	3.78	80.8%	16.7%	2.0%	0.4%	3.70	75.9%	19.4%	3.1%	2.4%
9	3.68	74.4%	19.9%	4.8%	0.9%	3.81	83.7%	14.4%	1.5%	0.4%	3.65	70.9%	23.7%	4.4%	0.9%	3.73	77.8%	18.8%	2.2%	1.2%	3.60	70.4%	21.5%	5.7%	2.4%
10	3.72	76.8%	19.3%	3.0%	0.9%	3.85	85.8%	13.3%	1.0%	0.0%	3.72	75.6%	21.5%	1.6%	1.3%	3.80	81.9%	16.7%	1.2%	0.2%	3.69	74.4%	21.4%	2.8%	1.4%
11	3.71	76.7%	18.8%	3.8%	0.8%	3.80	81.9%	16.5%	1.2%	0.4%	3.68	72.2%	24.5%	2.1%	1.3%	3.75	77.6%	20.8%	1.0%	0.6%	3.67	73.6%	21.3%	3.7%	1.5%
12	3.74	78.5%	18.3%	2.5%	0.8%	3.82	83.7%	15.0%	1.2%	0.2%	3.58	66.3%	27.5%	4.3%	1.9%	3.72	75.2%	21.8%	2.4%	0.6%	3.71	75.6%	21.0%	2.4%	1.0%
13	3.78	81.8%	15.1%	2.7%	0.4%	3.80	82.3%	15.8%	1.5%	0.4%	3.56	65.2%	27.8%	4.7%	2.2%	3.75	79.6%	17.1%	2.2%	1.0%	3.70	76.4%	18.4%	3.7%	1.5%
14	3.65	72.1%	21.9%	4.7%	1.4%	3.79	81.2%	16.9%	1.5%	0.4%	3.39	56.2%	30.2%	10.4%	3.2%	3.64	70.7%	23.8%	4.4%	1.0%	3.54	64.6%	27.5%	5.5%	2.4%
15	3.70	76.7%	18.2%	3.5%	1.6%	3.81	82.3%	16.8%	0.8%	0.2%	3.58	67.2%	25.5%	5.4%	1.9%	3.75	77.0%	21.6%	1.0%	0.4%	3.60	69.1%	23.9%	4.4%	2.5%
16	3.69	75.2%	20.1%	3.5%	1.2%	3.80	81.7%	16.7%	1.3%	0.2%	3.55	64.6%	27.6%	5.7%	2.1%	3.78	80.1%	18.1%	1.4%	0.4%	3.59	68.7%	23.9%	4.8%	2.7%

設問\評価	保健体育					芸 術					情 報					技術・家庭				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.74	3.74	3.72	3.78	3.74	3.75	###	3.73	###	###	3.92	3.72	3.62	3.88	3.85	3.66	3.58	3.73	3.72	3.60
1	3.85	86.9%	11.9%	0.5%	0.7%	#####	#####	#####	#####	#####	3.94	93.6%	6.4%	0.0%	0.0%	3.71	73.1%	24.6%	2.3%	0.0%
2	3.80	82.1%	16.8%	0.7%	0.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.92	93.6%	5.1%	1.3%	0.0%	3.77	80.0%	16.9%	3.1%	0.0%
3	3.57	65.4%	27.7%	5.4%	1.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.69	73.1%	24.4%	1.3%	1.3%	3.32	48.5%	36.9%	12.3%	2.3%
授業評価	3.80	3.80	3.79	3.84	3.80	3.80	###	3.86	###	###	3.94	3.77	3.81	3.92	3.90	3.62	3.61	3.81	3.82	3.67
4	3.81	85.5%	11.4%	2.1%	1.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.95	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	3.76	80.0%	17.7%	0.8%	1.5%
5	3.82	84.5%	13.9%	1.1%	0.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.90	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%	3.68	74.6%	20.8%	3.1%	1.5%
6	3.80	83.2%	14.2%	2.1%	0.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.90	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%	3.68	73.8%	22.3%	2.3%	1.5%
7	3.72	79.3%	15.3%	3.9%	1.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.94	93.6%	6.4%	0.0%	0.0%	3.58	69.2%	23.8%	3.1%	3.8%
8	3.83	85.3%	12.7%	1.3%	0.7%	#####	#####	#####	#####	#####	3.87	87.2%	12.8%	0.0%	0.0%	3.70	75.4%	20.8%	2.3%	1.5%
9	3.81	83.5%	14.4%	1.6%	0.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.88	88.5%	11.5%	0.0%	0.0%	3.76	80.8%	16.2%	1.5%	1.5%
10	3.81	83.2%	14.8%	1.5%	0.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.95	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	3.72	77.7%	17.7%	3.1%	1.5%
11	3.79	82.7%	14.9%	1.5%	1.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.88	89.7%	9.0%	1.3%	0.0%	3.70	76.2%	19.2%	3.1%	1.5%
12	3.85	86.8%	12.2%	0.5%	0.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.79	82.1%	15.4%	2.6%	0.0%	3.78	82.3%	14.6%	1.5%	1.5%
13	3.75	79.3%	17.1%	2.9%	0.7%	#####	#####	#####	#####	#####	3.91	91.0%	9.0%	0.0%	0.0%	3.53	66.2%	23.8%	6.9%	3.1%
14	3.76	80.6%	16.0%	2.4%	1.0%	#####	#####	#####	#####	#####	3.85	87.2%	10.3%	2.6%	0.0%	3.60	69.2%	24.6%	3.1%	3.1%
15	3.80	83.7%	13.9%	1.6%	0.8%	#####	#####	#####	#####	#####	3.92	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	3.62	71.5%	22.3%	3.1%	3.1%
16	3.77	81.5%	14.7%	3.3%	0.5%	#####	#####	#####	#####	#####	3.95	94.9%	5.1%	0.0%	0.0%	3.65	72.3%	21.5%	4.6%	1.5%

※自己評価と授業評価

黄色の帯のところは、過去5年間の推移
2020年→2021年→2022年→2023年→2024年※A～Dの数値は構成比
単位は%※芸術科の音楽担当教諭が育休の部分
は #####となっています。

No.設 問△は実習科目における設問			高等学校				中学校					
			評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)
生徒自身の自己評価			自己評価平均値:3.65 (昨年 3.67)				自己評価平均値: 3.49(昨年 3.48)					
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。		3.75	77.5%	20.6%	1.4%	0.5%	3.64	70.1%	24.6%	5.1%	0.3%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。		3.74	77.1%	20.2%	2.1%	0.6%	3.59	66.8%	26.3%	5.8%	1.0%
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。		3.45	57.6%	31.7%	9.0%	1.7%	3.23	44.0%	38.2%	14.8%	3.1%
教員に対する授業評価			授業評価平均値:3.73 (昨年 3.75)				授業評価平均値:3.62 (昨年 3.57)					
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。		3.78	81.7%	15.3%	2.0%	1.0%	3.67	72.3%	23.4%	3.8%	0.5%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。		3.76	79.5%	17.7%	1.9%	0.9%	3.75	77.7%	20.3%	1.8%	0.3%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。		3.69	76.0%	18.6%	3.8%	1.6%	3.58	65.5%	28.2%	5.3%	1.0%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。		3.70	77.2%	17.5%	3.4%	1.9%	3.45	59.4%	28.7%	9.6%	2.3%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。		3.77	80.9%	16.2%	1.9%	0.9%	3.59	65.3%	28.4%	6.1%	0.3%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。		3.69	75.7%	19.3%	3.7%	1.3%	3.59	66.5%	26.3%	6.6%	0.6%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。		3.80	83.1%	14.8%	1.5%	0.7%	3.87	88.3%	10.4%	1.3%	0.0%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に応えていましたか。		3.77	80.5%	16.8%	1.8%	0.9%	3.64	67.6%	28.9%	3.3%	0.3%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。		3.73	77.4%	19.1%	2.4%	1.0%	3.58	63.0%	32.9%	3.5%	0.6%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。		3.79	82.5%	14.8%	1.6%	1.1%	3.78	80.3%	17.1%	2.6%	0.0%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。		3.73	76.8%	20.1%	2.2%	1.0%	3.57	65.7%	27.0%	5.7%	1.6%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。		3.83	85.5%	12.9%	0.9%	0.5%	3.87	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。		3.73	78.0%	18.0%	2.8%	1.2%	3.60	66.8%	27.2%	5.4%	0.6%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。		3.72	77.8%	17.6%	3.5%	1.1%	3.82	83.1%	15.6%	1.3%	0.0%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。		3.61	69.4%	23.8%	5.1%	1.8%	3.46	58.7%	30.2%	9.2%	1.9%
	△担当の先生は、グランドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。		3.73	78.5%	17.3%	2.8%	1.3%	3.88	88.3%	11.7%	0.0%	0.0%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。		3.69	74.7%	20.7%	3.0%	1.5%	3.60	66.9%	26.8%	5.4%	1.0%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。		3.78	82.1%	14.8%	1.9%	1.2%	3.87	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。		3.69	75.5%	19.8%	3.4%	1.3%	3.64	70.1%	24.5%	4.7%	0.8%

資料1 年度内の生徒の推移(7月→3月)はマイナビのレーダーチャートの画像で

資料2 社会人基礎力 | 過年度比較 (2025年度 7月バージョン)

年度-実施月	2025-7	2026-7	2027-7	2028-7	2029-7	2030-7
A. 前に踏み出す力 (アクション)	5.45					
B. 考え抜く力 (シンキング)	5.53					
C. チームで働く力 (チームワーク)	5.4					

5.46 #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0!

資料3 社会人基礎力 | 過年度比較 (2025年度 3月バージョン)

年度-実施月	2025-3	2026-3	2027-3	2028-3	2029-3	2030-3
A. 前に踏み出す力 (アクション)	5.51					5.4
B. 考え抜く力 (シンキング)	5.56					5.8
C. チームで働く力 (チームワーク)	5.43					5.7

5.5 #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! 5.633333

